

平成 29 年度
浦安市児童育成クラブに係る評価事業
報 告 書

平成 30 年 3 月
浦 安 市

目 次

第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像.....	1
1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要.....	2
2. 事業者自己評価の考え方.....	3
3. 利用者調査の考え方.....	9
4. 公表・フィードバックの考え方.....	12
第2章 平成29年度 児童育成クラブに係る評価結果.....	19
1. 調査の概要.....	20
2. 事業者自己評価の結果.....	21
3. 利用者調査の結果.....	27
4. 放課後異年齢児交流促進事業についての調査結果.....	30
5. クラブ別評価結果.....	33
資料.....	85
1. 平成29年度 事業者自己評価シート.....	86
2. 平成29年度 利用者調査.....	96

第 1 章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

第1章 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の全体像

1. 浦安市児童育成クラブに係る評価事業の概要

(1) 評価事業の目的

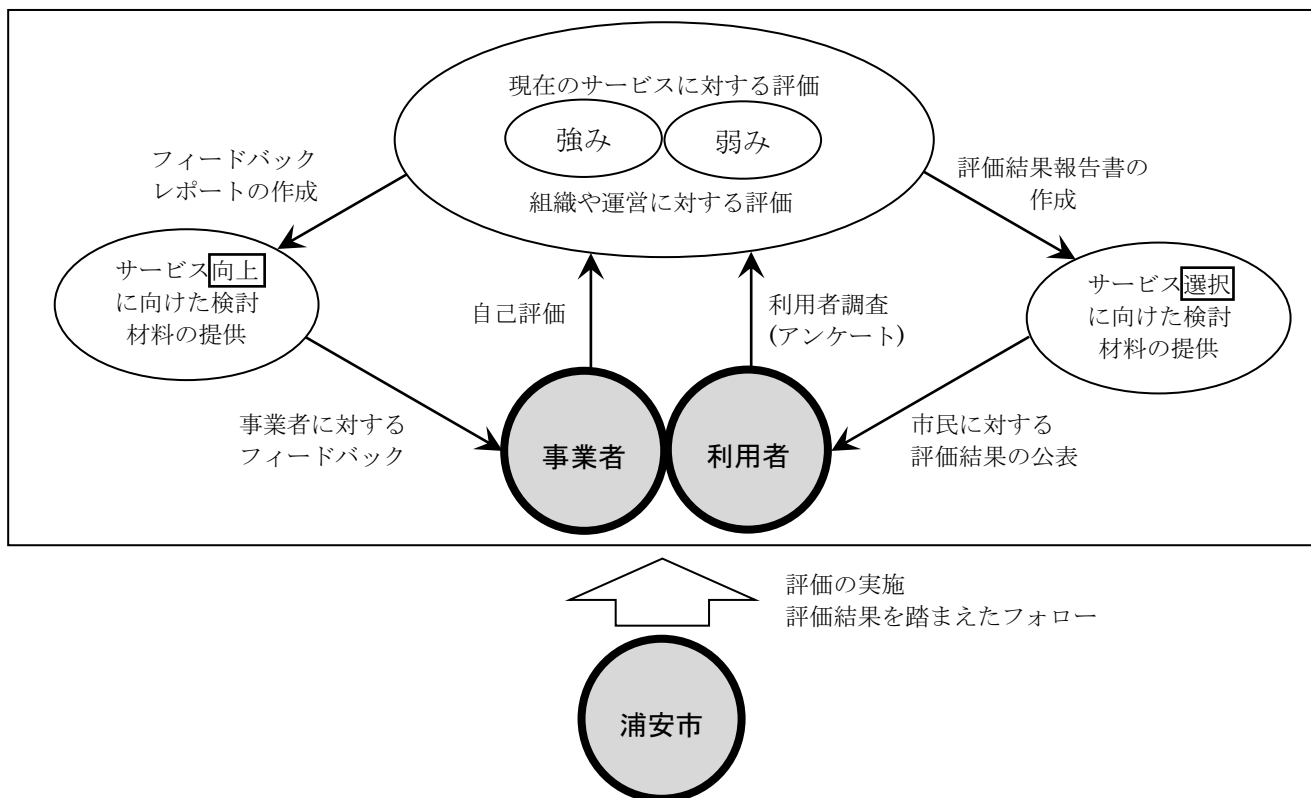
浦安市児童育成クラブに係る評価事業（以下、「本事業」と言う。）は、浦安市が提供する福祉サービスの質の向上と、利用希望者への適切な情報提供を目指すものであり、具体的には次の目的を達成する。

- (1) 利用者が、福祉サービスを選択するにあたっての検討材料となる情報を提供する。自分が利用しているサービスの状況や事業者のサービス向上への取り組み状況を確認するのに役立つ情報を提供する。
- (2) 各クラブにおけるサービスの強み（サービスの特徴）や弱み（改善の方向性）を洗い出すことで、事業者がサービスを改善するにあたり、検討するための情報を提供する。

(2) 評価の仕組み

本事業では、児童育成クラブの運営事業者に対し事業者自己評価を、児童育成クラブの利用者（児童）とその保護者に対し利用者調査を実施することで、“事業者”と“利用者”の二者から見た評価を行った。

<本事業の全体イメージ>



2. 事業者自己評価の考え方

(1) 目的

事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。

(2) 評価の対象

市内の児童育成クラブ 17 クラブに対して実施した。

(3) 事業者自己評価の実施方法

市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。実施方針については、以下のとおりである。

①事業者自己評価における客観性の確保

事業者自己評価を実施するにあたり、客観性を確保するために、事業責任者が単独で行うのではなく、可能な限り職員の参加による評価を行うことを前提とし、事業責任者およびサービスに関わる複数の職員、場合によっては全職員が相談をしながら評価を行い、評価シートに記入する方法を採用した。なお、ここでいう職員には、非常勤のほかに、常勤者と同等にサービスに関わっている非常勤職員を含む。

<実施体制の例>

- ア. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行う。
- イ. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行う。
- ウ. その他（ア、イ以外の方法で自己評価を行う）

②具体的な取り組みの事実に基づく評価

今回実施するこの事業者自己評価は、あくまで事業者の自己責任で実施するものであり、原則として、公開対象となっている項目は、記載内容をそのまま公表する。このため、事業者には具体的な取り組みの事実に基づいて評価を実施することを求めた。

(4) 事業者自己評価シートの構成

事業者自己評価シートの構成は、以下のとおりである。

①総合評価と事業プロフィール

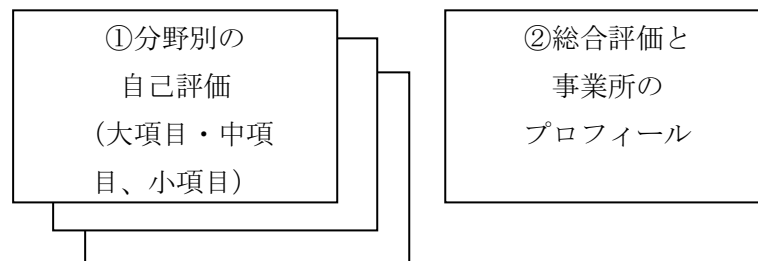
・総合評価

大項目のそれぞれについて総合的な評価を行う。大項目別の自己評価の結果に基づき、当該事業所の強みとサービス改善に向けた取り組みを具体的に記述し、大項目別に達成度を5段階で評価する。

・事業プロフィール

名称、所在地、連絡先、事業規模、サービスにあたって大切にしていることなど、当該事業所の概要を記述する。

<事業者自己評価シートの構成>



②分野別の自己評価

大項目ごとに中項目、小項目を設定し、当該事業所の運営およびサービス提供について詳細な自己評価を行う。小項目ごとに設定された評価の視点（判断基準）と当該事業所における具体的な取り組みの事実を照らし合わせ、達成度を評価する。

(5) 評価項目

評価項目は、以下のとおりである。

大項目は3項目、中項目は21項目、小項目は66項目で構成される。

I 組織と運営

中項目(5項目)	小項目(24項目)
1 運営	① 理念・方針の職員への周知
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり
	④ 利用者意見に対する適切な対応
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映
	⑥ 全職員でのサービス改善への取り組み
	⑦ 市との連携や情報共有
	⑧ 学校との連携や情報共有
2 人事	① 職員研修の開催
	② 日常的な職員の意向把握
	③ 職員の適正な採用
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供
	③ 情報公開仕組み
4 危機管理	① 災害・緊急時の対策
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処
	③ ケガや急病に対する救護対策
	④ 衛生管理(感染症の拡大防止)
	⑤ 衛生管理(食中毒の防止)
	⑥ ケガや事故の再発防止
5 個人情報保護	① 守秘義務の研修
	② 守秘義務のための取り組み
	③ 個人情報利用の利用者への説明
	④ プライバシーの確保

II サービス提供のプロセス

中項目(7項目)	小項目(17項目)
1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ、分かりやすい説明対応
	② 重要事項に関する書面による同意
	③ 説明資料の読みやすさ
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意見を反映した計画作成
	② 利用書への計画説明及び同意
	③ 実施計画の定期的な見直し
3 サービスの標準化	① 個々のサービスに応じたマニュアル作成
	② 新人職員に対する実地指導
4 苦情解決	① 苦情の受付体制、職員への周知、サービスへの反映
	② 苦情の迅速な解決
	③ 苦情に関する情報共有
5 利用者の家族に対するサポート	① 保護者からの相談対応
6 人権の尊重	① 虐待防止のための具体的な仕組み
	② 家庭等の虐待兆候の早期発見及び見守り
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動範囲を広げるための取り組み
	② ボランティア・実習生に対する事前説明
	③ 関係諸機関・団体との連携のための取り組み

Ⅲ サービスの内容

中項目(9項目)	小項目(25項目)
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助
	② 子どもの状況や要望に応じた支援
	③ 提供したサービスの記録
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映
4 健康管理	① 適切な服薬管理
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告
	③ アレルギー疾患への配慮
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援
7 おやつを提供	① 質の高いおやつの提供
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつの提供
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮
	② 施設内の清掃・整理
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導

(6) 事業者自己評価の基準

◆事業者自己評価は、小項目、中項目、大項目の順に行うこととした。

◆小項目では、評価の視点（判断基準）の達成度を4段階で評価した。

[小項目の評価基準]

- 4 優れた取組ができている
- 3 おおむねできている
- 2 あまりできていない
- 1 まったくできていない

◆中項目では、小項目の評価点の平均値をもとに、4段階で評価した。

[中項目の評価基準]

- 4 優れた取組ができている : 小項目の評価点の平均が 3.25 以上
- 3 おおむねできている : 小項目の評価点の平均が 2.50 以上 3.25 未満
- 2 あまりできていない : 小項目の評価点の平均が 1.75 以上 2.50 未満
- 1 まったくできていない : 小項目の評価点の平均が 1.75 未満

◆大項目では、中項目の評価点の平均値をもとに、5段階で評価した。

[大項目の評価基準]

- A 大変優れている : 中項目の評価点の平均が 3.40 以上
- B 優れている : 中項目の評価点の平均が 2.80 以上 3.40 未満
- C 普通 通 : 中項目の評価点の平均が 2.20 以上 2.80 未満
- D やや不十分である : 中項目の評価点の平均が 1.60 以上 2.20 未満
- E 極めて不十分である : 中項目の評価点の平均が 1.60 未満

◆小項目、中項目の評価点をつける中で気づいたこと、具体的な取り組みの事実などを勘案しながら、良いと思う点、改善が必要だと思う点について、コメントを記述できるようにした。

3. 利用者調査の考え方

(1) 目的

サービスについて利用者が日頃感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。

(2) 評価の対象

各児童育成クラブの利用者及び保護者を対象に実施した。

(3) 利用者調査の実施方法

無記名のアンケート方式により実施した。

調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

(4) 調査項目

平成 29 年度の利用者調査における調査項目は、以下のとおりである。

調査項目	質問番号	質問事項
利用している クラブの組織と 運営について 【◆保護者◆】	Q1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q2	支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。
	Q3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組みがなされていると思いますか。
	Q4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。
	Q5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。
	Q6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。
サービス提供の 手順について 【◆保護者◆】	Q7	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。
	Q8	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。
	Q9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。
	Q10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。
	Q11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。

調査項目	質問番号	質問事項
子どもの発達援助について 【◆保護者◆】	Q12	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。
	Q13	支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。
	Q14	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。
	Q15	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。
	Q16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。
	Q17	クラブにおいての発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。
	Q18	支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。
	Q19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。
放課後異年齢児交流促進事業について 【◆保護者◆】	Q20	この事業を知っていますか。
	Q21	この事業を利用したことがありますか。
	Q22	この事業と児童育成クラブとの交流は十分に図られていると思いますか。
	Q23	今後この事業を利用したいと思いますか。
	Q24	Q23.で「どちらともいえない」「いいえ」とお答えした方にお聞きします。この事業を利用する上で支障となることは何ですか。
自由記述 【◆保護者◆】	「放課後異年齢児交流促進事業」についてご意見があればご自由にお書きください。	
サービス提供の 手順及び発達援助について 【◇児童◇】	Q25	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。
	Q26	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。
	Q27	じどういくせいクラブはたのしいですか。
	Q28	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらよいか、いっしょにかんがえてくれましたか。
	Q29	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。
自由記述 【◇児童◇】	じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。	

(5) 利用者調査の基準

- ◆各質問について、利用者（児童）及び保護者が3段階で評価する。
- ◆回答結果を次のとおり点数換算し、全回答者の設問別平均点を算出する。
(-1点~1点の範囲)

[回答の判断基準]			
1	は	い	(肯定的評価) ⇒ <u>1点</u> 換算
2	どちらともいえない		(中間的評価) ⇒ <u>0点</u> 換算
3	い	い	え (否定的評価) ⇒ <u>-1点</u> 換算

- ◆設問別平均点を基に、次のテーマ別に平均点を算出する。その結果を基に、「テーマ別評価」を行う。

[評価区分]

評価者	テーマ	設問数	テーマ別平均点
◆保護者◆	◆利用しているクラブの組織と運営について	6問	-1点 } 1点
	◆サービス提供の手順について	5問	
	◆子どもの発達援助について	8問	
◇児童◇	◇サービス提供の手順および発達援助について	5問	

[テーマ別評価の算出方法]	
A 大変優れている	: 設問別平均点が全て0.75点以上
B 優れている	: テーマ別平均点が0.5点以上 (テーマ別評価Aとなる場合を省く)
C 普通	: テーマ別平均点が0.0点以上0.5点未満
D やや不十分である	: テーマ別平均点が-0.5点以上0.0点未満
E 極めて不十分である	: テーマ別平均点が-0.5点未満

4. 公表・フィードバックの考え方

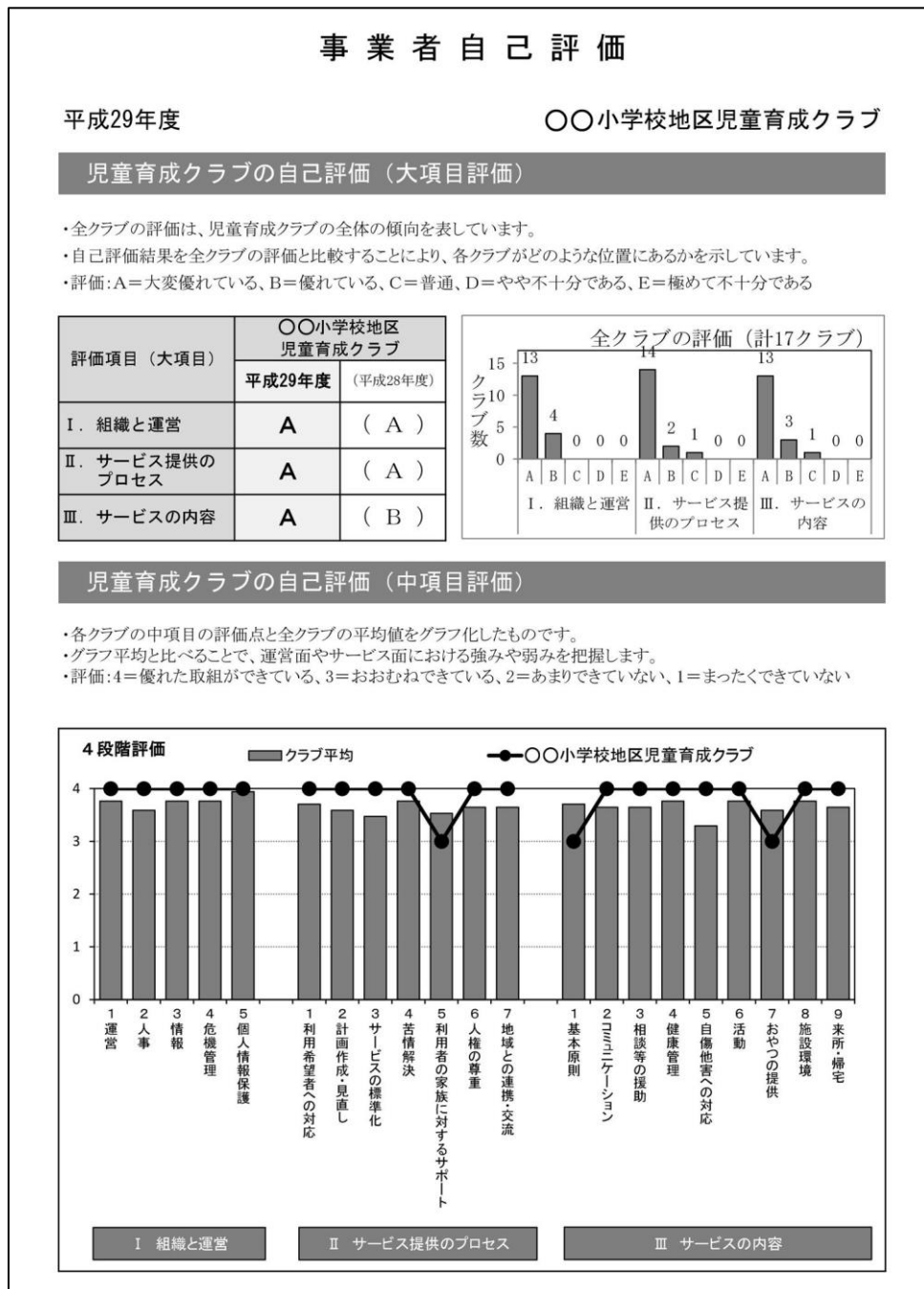
(1) 事業者へのフィードバックに関する考え方

事業者自己評価シートの構成は以下のとおりである。

①事業者自己評価のフィードバック

事業者自己評価の結果については、サービスごとの全体集計結果と当該事業所の自己評価結果を対比できる資料を作成し、フィードバックする。これにより、自己評価を実施した事業者全体における当該事業所の位置づけを伝える。

[事業者へのフィードバックレポートのイメージ（自己評価）]



児童育成クラブの自己評価（小項目評価）

・各クラブの小項目の評価点と全クラブの平均値、平成28年度における評価点を示したものです。
 ・評価:4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない

I 組織と運営

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成28年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成28年度	差
1 運営	① 理念・方針の職員への周知	4	3.3	↑	4	
	② 重要な意思決定時における職員や利用者への説明	4	3.6	↑	4	
	③ 職員が意見や提案を発言しやすい雰囲気づくり	4	3.7	↑	3	△ 1
	④ 利用者意見に対する適切な対応	4	3.7	↑	4	
	⑤ 利用者意向の事業計画への反映	3	3.5		3	
	⑥ 全職員でのサービス改善への取り組み	4	3.7	↑	4	
	⑦ 市との連携や情報共有	4	3.6	↑	4	
	⑧ 学校との連携や情報共有	4	3.5	↑	4	
2 人事	① 職員研修の開催	3	3.3		3	
	② 日常的な職員の意向把握	3	3.2		3	
	③ 職員の適正な採用	4	3.5	↑	4	
3 情報	① 指示・連絡・報告・相談の体制	4	3.6	↑	4	
	② 利用者の家族に対する定期的な情報提供	4	3.6	↑	4	
	③ 情報公開の仕組み	3	3.4		3	
4 危機管理	① 災害・緊急時の対策	4	3.4	↑	4	
	② 施設や設備の安全点検及び危険箇所への対処	4	3.6	↑	4	
	③ ケガや急病に対する救護対策	4	3.6	↑	3	△ 1
	④ 衛生管理(感染症の拡大防止)	3	3.5		3	
	⑤ 衛生管理(食中毒の防止)	3	3.5		3	
	⑥ ケガや事故の再発防止	4	3.8	↑	3	△ 1
5 個人情報保護	① 守秘義務の研修	4	3.8	↑	4	
	② 守秘義務のための取り組み	4	3.9	↑	4	
	③ 個人情報利用の利用者への説明	4	3.7	↑	4	
	④ プライバシーの確保	4	3.8	↑	4	

II サービス提供のプロセス

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成28年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成28年度	差

1 利用希望者への対応	① 見学者の受け入れ					
	② 重要事項に関する説明					
	③ 説明資料の読解					
2 計画作成・見直し	① 子どもや保護者の意向					
	② 利用者への計画の共有					
	③ 実施計画の定期的な見直し					
3 サービスの標準化	① 個々のサービスの標準化					
	② 新人職員に対する標準化の指導					
4 苦情解決	① 苦情の受付体制					
	② 苦情の迅速な対応					
	③ 苦情に関する対応					
5 利用者の家族に対するサポート	① 保護者からの苦情の受付					
6 人権の尊重	① 虐待防止のための対応					
	② 家庭等での虐待防止					
7 地域との連携・交流	① 施設外での活動					
	② ボランティアの活用					
	③ 関係諸機関との連携					

III サービスの内容

中項目	小項目	自己評価	全クラブとの比較		平成28年度との比較	
			平均	平均より上=↑	平成28年度	差
1 基本原則	① 子どもの主体的な活動の援助	3	3.5		3	
	② 子どもの状況や要望に応じた支援	3	3.5		3	
	③ 提供したサービスの記録	3	3.7		3	
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定の促進・受け止め	4	3.6	↑	4	
	② 子どもの人格や価値観を尊重した対応	4	3.5	↑	4	
3 相談等の援助	① 子どもからの相談対応	4	3.6	↑	3	△ 1
	② 子どもの生活状況の把握、職員間の情報共有、支援への反映	3	3.6		3	
4 健康管理	① 適切な服薬管理	3	3.6		3	
	② 子どものケガや急病時の対応及び報告	4	3.8	↑	4	
	③ アレルギー疾患への配慮	3	3.6		3	
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などに対する適切な対応	3	3.0		3	
	② 専門家の協力を得た支援方法の工夫	4	3.3	↑	4	
6 活動	① 活動メニューの多様性や、子どもが選んで参加できる仕組み	3	3.4		3	
	② 子どもが自由に遊べる時間の確保	4	3.6	↑	3	△ 1
	③ 学習活動を自主的に行える環境整備	4	3.6	↑	3	△ 1
	④ 子どもの豊かな人間関係が育つような配慮	3	3.5		3	
	⑤ 互いに認め合い尊重し合える人間性が育つための支援	3	3.5		3	
	⑥ 障がいのある子どもが活動する際の支援	3	3.4		3	
7 おやつ提供	① 質の高いおやつ提供	3	3.5		3	
	② 子どもの嗜好や成長に合わせたおやつ提供	3	3.5		3	
	③ おやつを楽しむことが出来るような配慮	3	3.6		3	
8 施設環境	① 子どもが快適に生活するための施設環境の配慮	4	3.5	↑	3	△ 1
	② 施設内の清掃・整理	4	3.6	↑	3	△ 1
	③ 安全に活動するための設備・備品への配慮	4	3.6	↑	3	△ 1
9 来所・帰宅	① 子どもひとりでの来所・帰宅に対する安全指導	4	3.6	↑	3	△ 1

②利用者調査結果のフィードバック

利用者調査の結果については、当該事業所の項目別・分野別に見た利用評価が分かる資料を作成し、フィードバックする。ただし、サンプル数および回収数が極端に少なく、利用者が特定される可能性のある場合は非公開とする。

利用者の自由意見については、利用者が特定される意見を除き、全て事業者に報告する。

[事業者へのフィードバックレポートのイメージ（利用者調査）]

利用者調査

平成29年度 〇〇小学校地区児童育成クラブ

児童育成クラブの利用者調査（テーマ別評価）

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価:A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成29年度 (平成28年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営	B (B)
	サービス提供の手順	B (B)
	子どもの発達援助	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助	B (B)

全クラブの評価（計17クラブ）

評価	利用しているクラブの組織と運営					サービス提供の手順					子どもの発達援助					サービス提供の手順及び発達援助				
	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
保護者の評価	4	13	0	0	0	3	14	0	0	0	1	16	0	0	0	1	16	0	0	0
児童の評価																				

児童育成クラブの利用者調査（設問別評価）

- ・設問別の評価について、本クラブと全クラブの回答(はいの割合)、平成29年度における本クラブの回答(はいの割合)を示したものです。

I 保護者の回答		本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成28年度】との比較		差
テーマ	設問	はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。	82.8%	0.0%	86.2%	0.5%		76.7%	4.9%	△6.1%
	② 支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。	60.2%	5.4%	66.2%	2.7%		56.3%	9.7%	△3.9%
	③ 出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組みがなされていると思いますか。	75.3%	4.3%	85.0%	2.1%		78.6%	4.9%	▼3.4%
	④ クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。	79.6%	0.0%	82.7%	1.2%		80.6%	1.0%	▼1.0%
	⑤ 支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。	81.7%	2.2%	86.1%	0.8%		72.8%	2.9%	△8.9%
	⑥ 学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。	77.4%	5.4%	76.3%	2.8%	↑	75.7%	1.9%	△1.7%

I 保護者の回答		本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成28年度】との比較		
テーマ	設問	はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順について	① 支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	82.8%	0.0%	89.7%	0.7%		87.4%	1.9%	▼4.6%
	② あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	69.9%	5.4%	71.5%	4.3%		61.2%	9.7%	△8.7%
	③ 連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	71.0%	5.4%	71.1%	6.0%		68.0%	10.7%	△3.0%
	④ お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	83.9%	3.2%	83.7%	2.9%	↑	80.6%	6.8%	△3.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	78.5%	3.2%	83.0%	1.6%		84.5%	3.9%	▼6.0%
子どもの発達援助について	① 支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	65.6%	3.2%	80.8%	1.1%		68.9%	6.8%	▼3.3%
	② 支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	65.6%	4.3%	80.6%	1.7%		68.9%	5.8%	▼3.3%
	③ 支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。	67.7%	9.7%	69.0%	5.4%		75.7%	3.9%	▼8.0%
	④ 支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	61.3%	5.4%	70.6%	1.8%		68.9%	2.9%	▼7.6%
	⑤ 季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	96.8%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	94.2%	0.0%	△2.6%
	⑥ クラブにおいての発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	82.8%	2.2%	88.0%	1.0%		88.3%	1.9%	▼5.6%
	⑦ 支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	76.3%	2.2%	82.8%	1.4%		70.9%	4.9%	△5.5%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	63.4%	2.2%	61.9%	1.4%	↑	76.7%	1.9%	▼13.3%

II 利用児童の回答		本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成28年度】との比較		
テーマ	設問	はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。	55.9%	6.5%	77.1%	2.3%		68.9%	4.9%	▼13.0%
	② じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。	66.7%	5.4%	73.6%	3.7%		69.9%	1.9%	▼3.2%
	③ じどういくせいクラブはたのしいですか。	73.1%	5.4%	81.8%	2.3%		68.9%	4.9%	△4.2%
	④ じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらよいか、いっしょにかんがえてくれましたか。	67.7%	5.4%	65.7%	2.4%	↑	66.0%	4.9%	△1.7%
	⑤ じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	60.2%	7.5%	63.3%	3.7%		68.9%	2.9%	▼8.7%

I 保護者の意見・II 利用児童の意見

別紙にて提供

(2) 評価結果の公表に関する考え方

①市民への公表

事業者自己評価および利用者調査の結果は、市のホームページ等を通じて市民に公表する。公表の範囲は、「クラブ・運営事業者のプロフィール」、「運営事業者のサービス提供方針」、「運営事業者による自己評価結果」、「利用者による評価結果」をそれぞれ掲載する。

[公表フォームのイメージ]

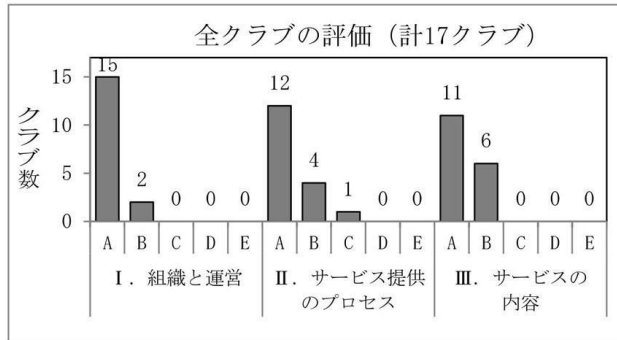
評 価 結 果											
平成 29 年度				〇〇小学校地区児童育成クラブ							
クラブ・運営事業者のプロフィール											
事業者の名称											
クラブの所在地											
クラブの連絡先		電 話			F A X						
当該クラブの運営開始日											
開設場所											
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員			人			利 用 者 数		人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	人		うち、男性		人		うち、女性		人
		有資格者数	人		保育士	人		幼稚園 教諭	人		幼稚園以 外の教諭
	非常勤	職員数	人		うち、男性		人		うち、女性		人
		有資格者数	人		保育士	人		幼稚園 教諭	人		幼稚園以 外の教諭
運営事業者のサービス提供方針											
サービスの提供に あたって大切に していること											
		事業者の強み アピールしたい取り組み				サービス改善に向けた取組 今後の展望					
I 組織と運営	1 運営										
	2 人事										
	3 情報										
	4 危機管理										
	5 個人情報保護										
II サービス提供の プロセス	1 利用希望者への対応										
	2 計画作成・見直し										
	3 サービスの標準化										
	4 苦情解決										
	5 利用者家族へのサポート										
	6 人権の尊重										
	7 地域との連携・交流										
III サービスの 内容	1 基本原則										
	2 コミュニケーション										
	3 相談等の援助										
	4 健康管理										
	5 自傷他害への対応										
	6 活動										
	7 おやつ提供										
	8 施設環境										
	9 来所・帰宅										

運営事業者による自己評価結果

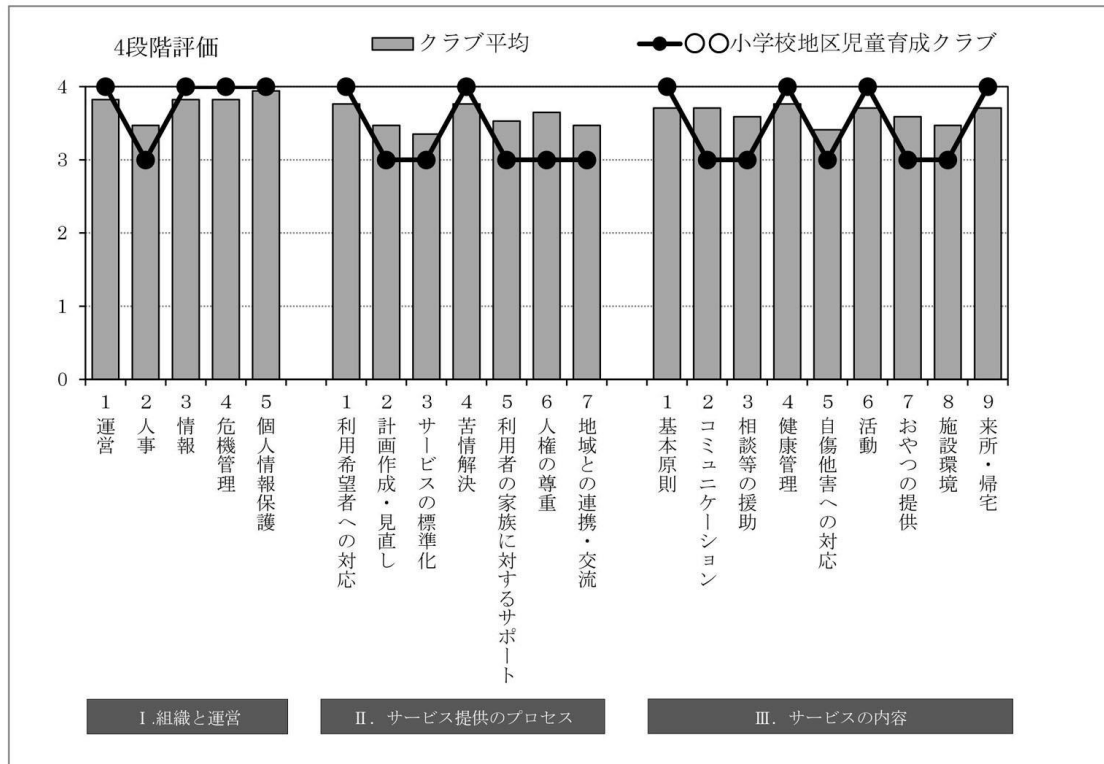
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
Ⅰ. 組織と運営	A
	(B)
Ⅱ. サービス提供の プロセス	B
	(B)
Ⅲ. サービスの内容	A
	(B)



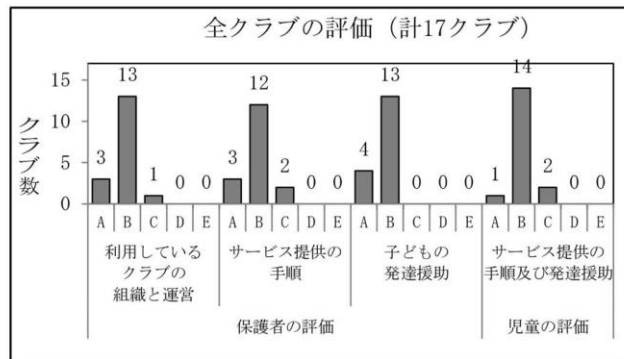
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度 (平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	A (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	86.9%	0.0%	84.1%	1.1%	↑	81.8%	0.0%	△5.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	83.6%	0.0%	65.7%	3.8%	↑	81.8%	1.8%	△1.8%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	96.7%	0.0%	85.6%	1.8%	↑	94.5%	0.0%	△2.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	93.4%	0.0%	80.7%	1.8%	↑	89.1%	0.0%	△4.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	83.6%	0.0%	82.5%	1.2%	↑	87.3%	0.0%	▼3.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	88.5%	0.0%	89.0%	1.0%		87.3%	0.0%	△1.3%
	② 支援員同士の情報共有	78.7%	0.0%	70.2%	5.4%	↑	76.4%	0.0%	△2.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	75.4%	4.9%	68.3%	7.5%	↑	74.5%	3.6%	△0.9%
	④ 支援員への相談のしやすさ	93.4%	1.6%	83.2%	3.8%	↑	92.7%	0.0%	△0.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	91.8%	0.0%	82.1%	3.0%	↑	89.1%	0.0%	△2.7%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	86.9%	0.0%	79.5%	2.1%	↑	87.3%	1.8%	▼0.4%
	② 遊びを通した自主性や人間関係が育つような配慮	88.5%	0.0%	79.1%	1.9%	↑	90.9%	0.0%	▼2.4%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	80.3%	1.6%	72.6%	4.8%	↑	76.4%	5.5%	△4.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	78.7%	0.0%	74.2%	2.5%	↑	81.8%	0.0%	▼3.1%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.7%	0.0%	95.1%	0.6%	↑	98.2%	1.8%	▼1.5%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	93.4%	3.3%	86.4%	1.5%	↑	89.1%	1.8%	△4.4%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	90.2%	0.0%	80.7%	2.0%	↑	92.7%	0.0%	▼2.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	78.7%	3.3%	64.2%	1.2%	↑	61.8%	1.8%	△16.9%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	85.2%	0.0%	79.4%	1.4%	↑	78.2%	0.0%	△7.1%
	② へややとこれのきもちよさ	82.0%	3.3%	72.8%	3.3%	↑	72.7%	0.0%	△9.2%
	③ クラブのたのしさ	91.8%	0.0%	78.3%	2.3%	↑	85.5%	1.8%	△6.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	68.9%	3.3%	66.6%	2.9%	↑	70.9%	3.6%	▼2.1%
	⑤ 先生がきもちをわかってきているか	80.3%	0.0%	66.7%	2.1%	↑	74.5%	1.8%	△5.8%

②評価結果の問い合わせ対応

今回の評価結果について、公表後に、利用者や市民から問い合わせがあった場合には、事業者既に設置されている問い合わせ窓口や担当者を通じて対処頂く。また、調査実施方法や全クラブ共通の事項については、市青少年課が窓口となって対処する。

第2章 平成29年度児童育成クラブに係る評価結果

第2章 平成29年度児童育成クラブに係る評価結果

1. 調査の概要

(1) 事業者自己評価

①目的	事業所の職員がサービスの内容について振り返り、良い点、改善が必要な点を把握することを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブ 17 クラブ
③期間	平成30年1月16日(火)～平成30年1月26日(金)
④方法	事業者自己評価は、市が定めた事業者自己評価シートを使用して実施し、評価シートは、電子メールにより配布・回収した。

(2) 利用者調査

①目的	サービスについて利用者が日ごろ感じていることを把握し、サービス改善に向けた手がかりとしていくことを目的とする。
②対象	市が設置する児童育成クラブの利用者(児童)及び保護者
③期間	平成30年1月16日(火)～平成30年1月26日(金)
④方法	無記名のアンケート方式により実施した。 調査票は、事業所から利用者へ直接配布し、郵送により回収した。

(3) 各調査の実施状況

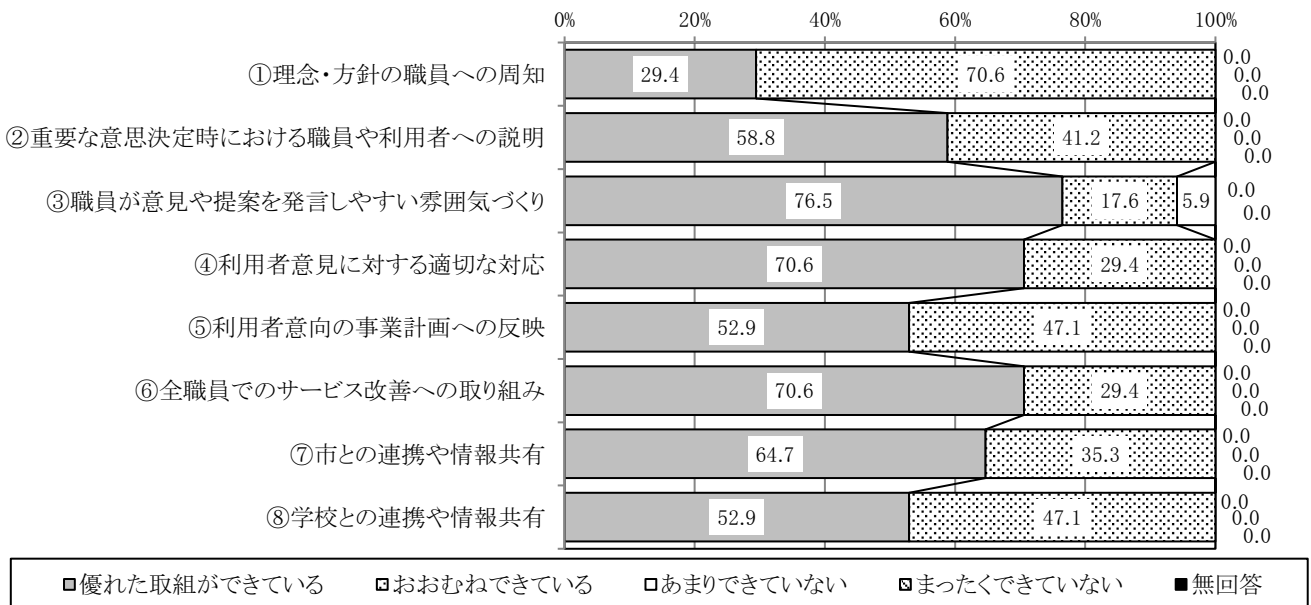
No.	児童育成クラブ名	事業者調査	利用者調査		
		回収状況	配布数	回収数	回収率
1	浦安小学校地区児童育成クラブ	○	68	39	57.4%
2	南小学校地区児童育成クラブ	○	176	95	54.0%
3	北部小学校地区児童育成クラブ	○	178	93	52.2%
4	見明川小学校地区児童育成クラブ	○	120	62	51.7%
5	富岡小学校地区児童育成クラブ	○	81	64	79.0%
6	美浜南小学校地区児童育成クラブ	○	55	34	61.8%
7	東小学校地区児童育成クラブ	○	159	102	64.2%
8	舞浜小学校地区児童育成クラブ	○	136	87	64.0%
9	美浜北小学校地区児童育成クラブ	○	44	29	65.9%
10	日の出小学校地区児童育成クラブ	○	125	69	55.2%
11	明海小学校地区児童育成クラブ	○	72	45	62.5%
12	高洲小学校地区児童育成クラブ	○	148	84	56.8%
13	日の出南小学校地区児童育成クラブ	○	110	59	53.6%
14	明海南小学校地区児童育成クラブ	○	73	53	72.6%
15	高洲北小学校地区児童育成クラブ	○	110	71	64.5%
16	東野小学校地区児童育成クラブ	○	155	104	67.1%
17	入船小学校地区児童育成クラブ	○	101	60	59.4%
合計		17 施設	1,911	1,150	60.2%

2. 事業者自己評価の結果

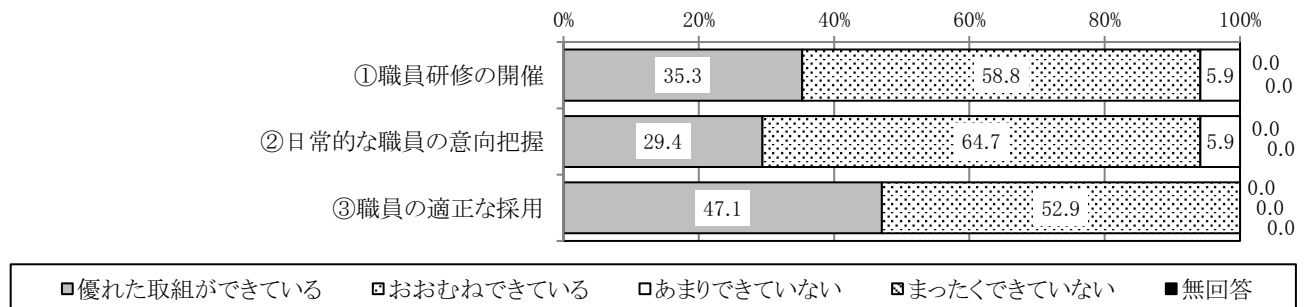
事業者自己評価について、全 17 クラブの単純集計の結果は以下のとおりである。

(1) 組織と運営

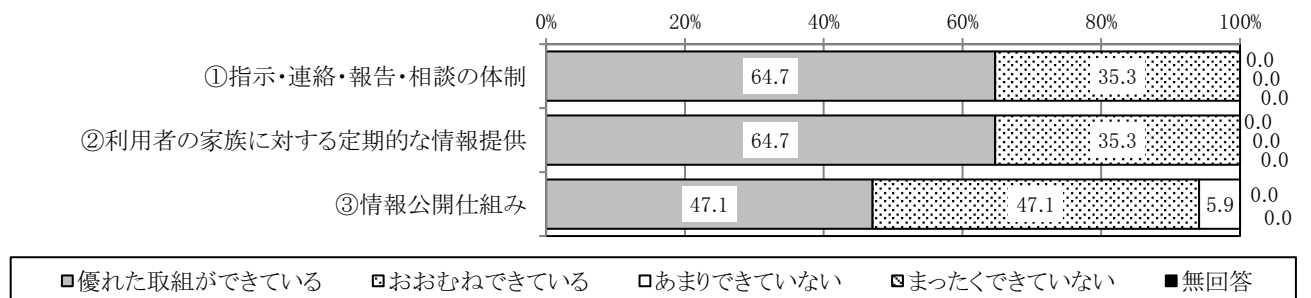
①運営



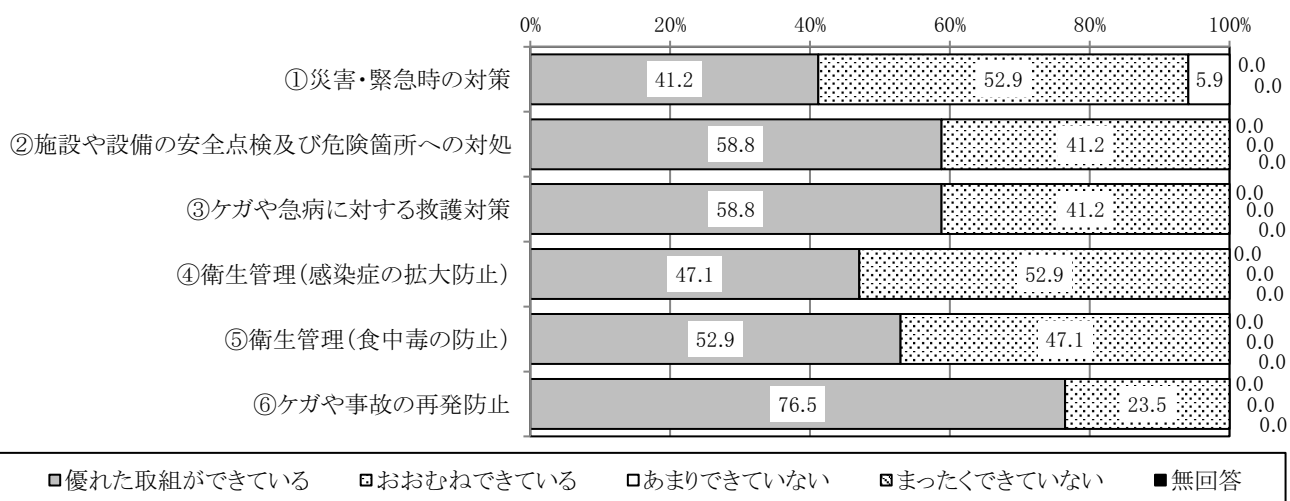
②人事



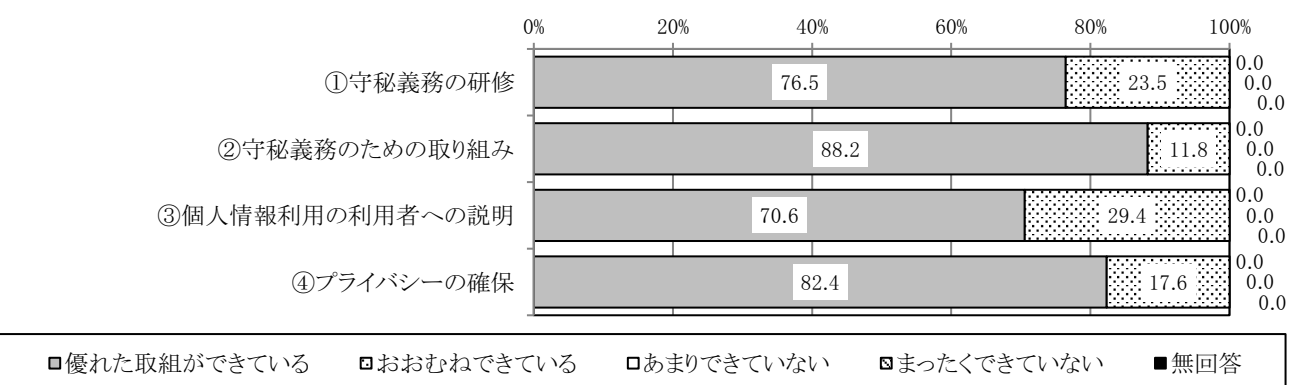
③情報



④危機管理

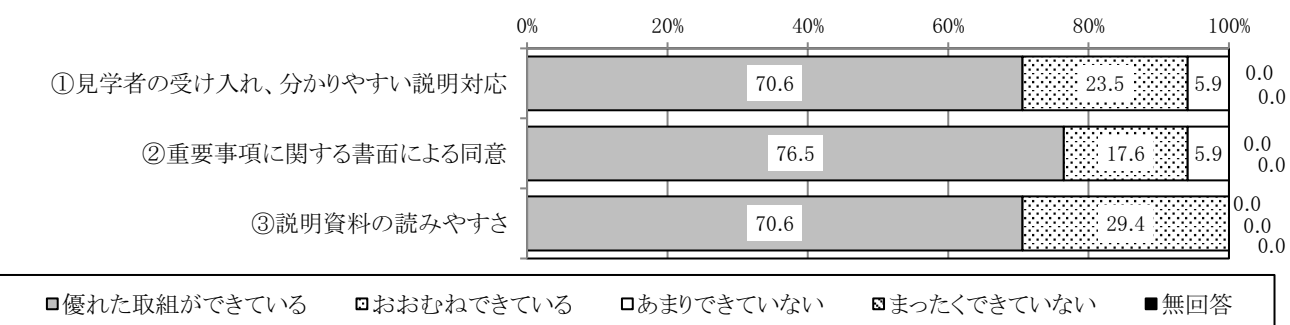


⑤個人情報保護

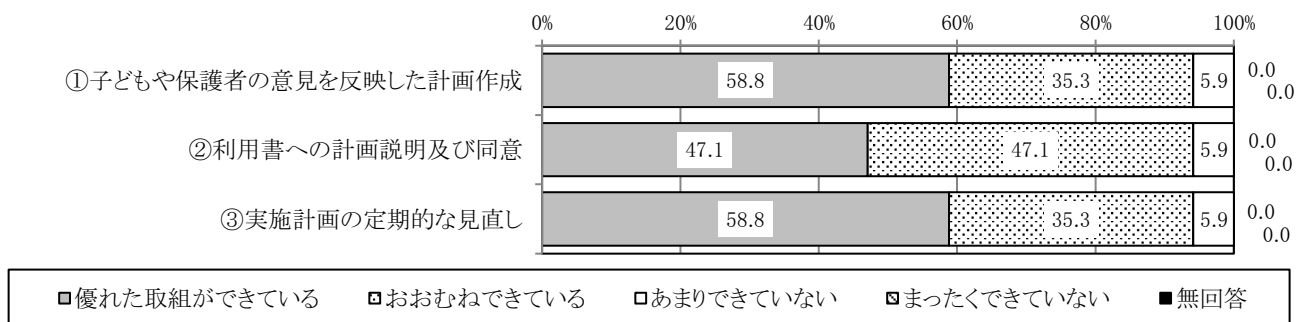


(2) サービス提供のプロセス

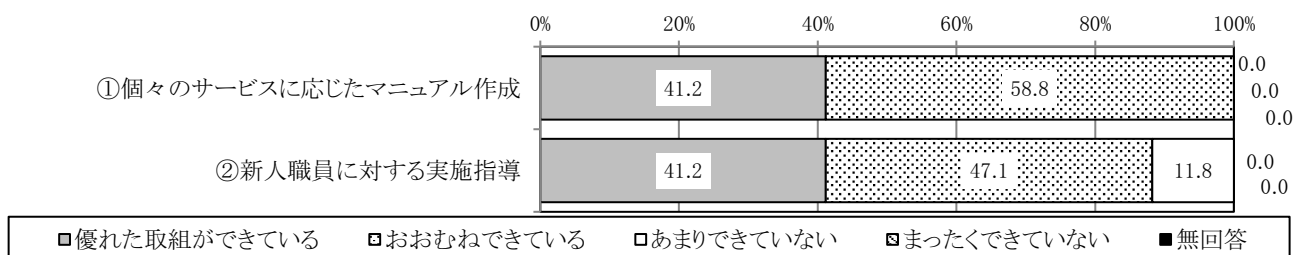
①利用希望者への対応



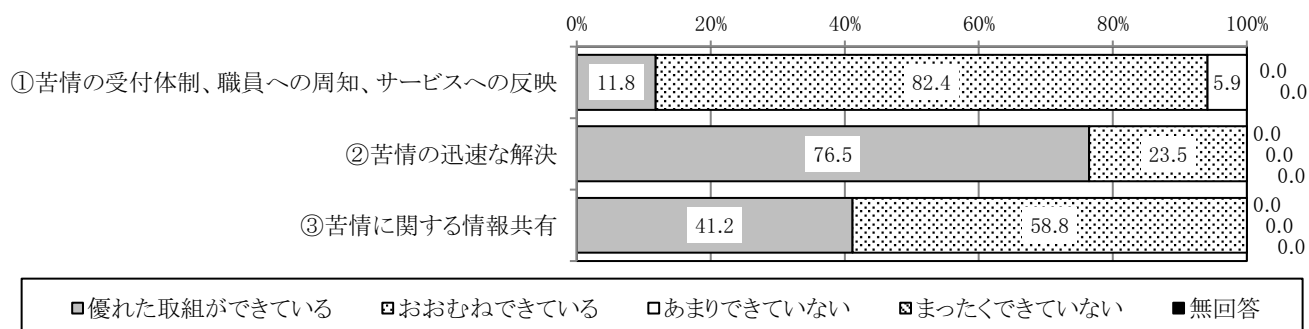
②計画作成・見直し



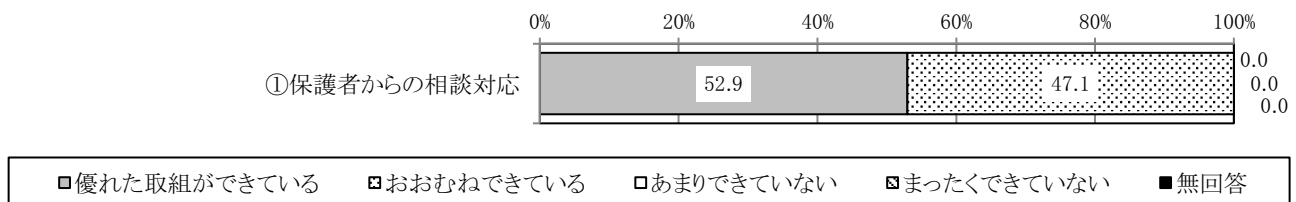
③サービスの標準化



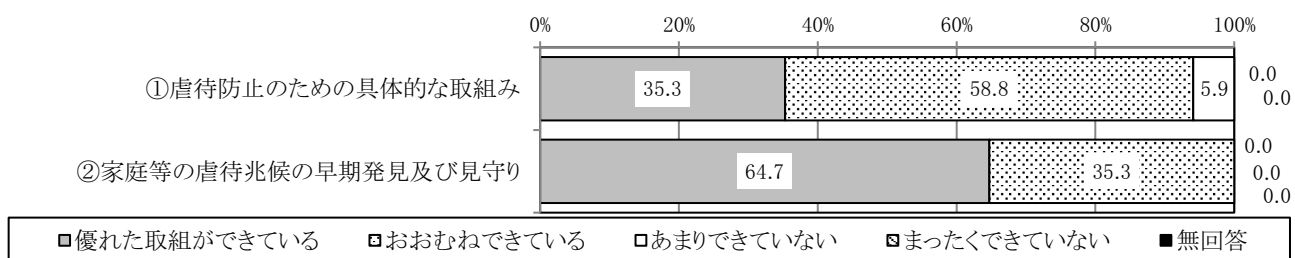
④苦情解決



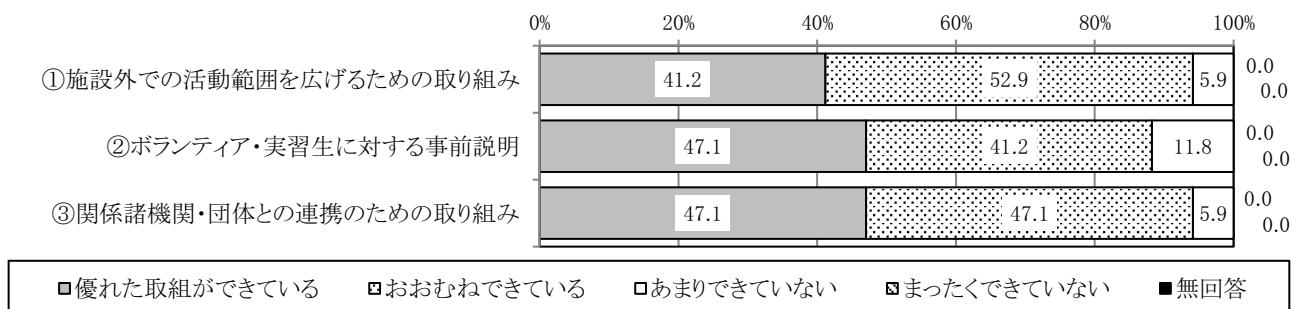
⑤利用者の家族に対するサポート



⑥人権の尊重

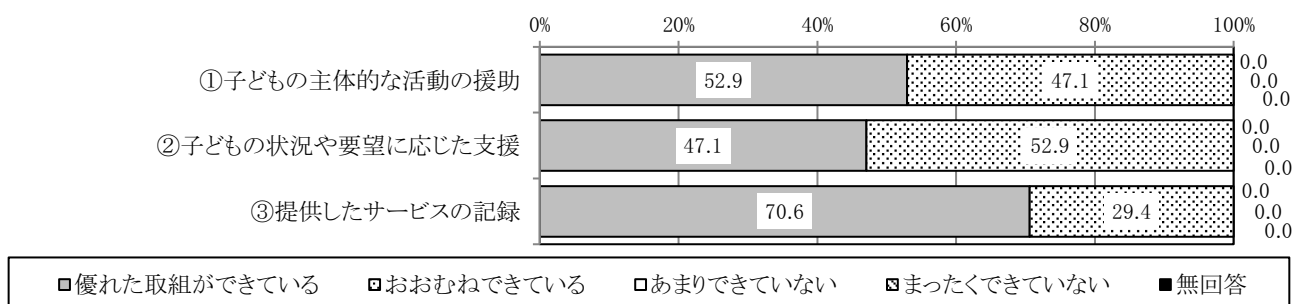


⑦地域との連携・交流

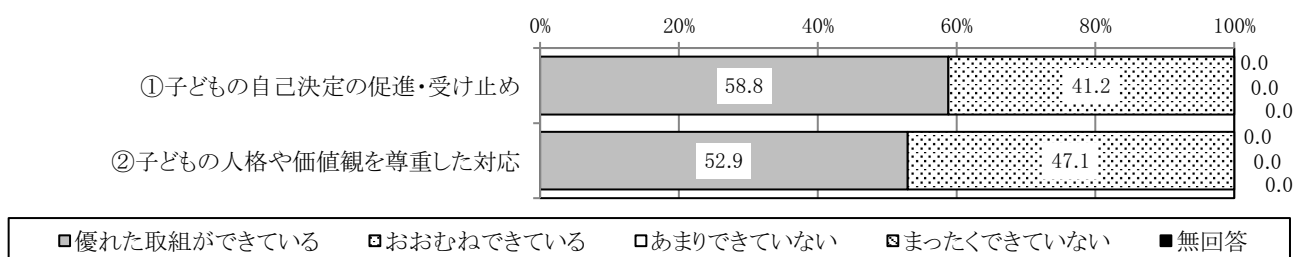


(3) サービスの内用

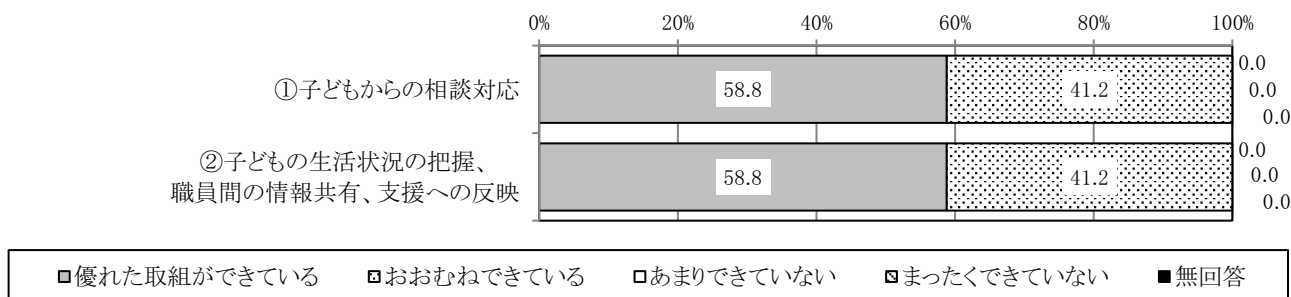
①基本原則



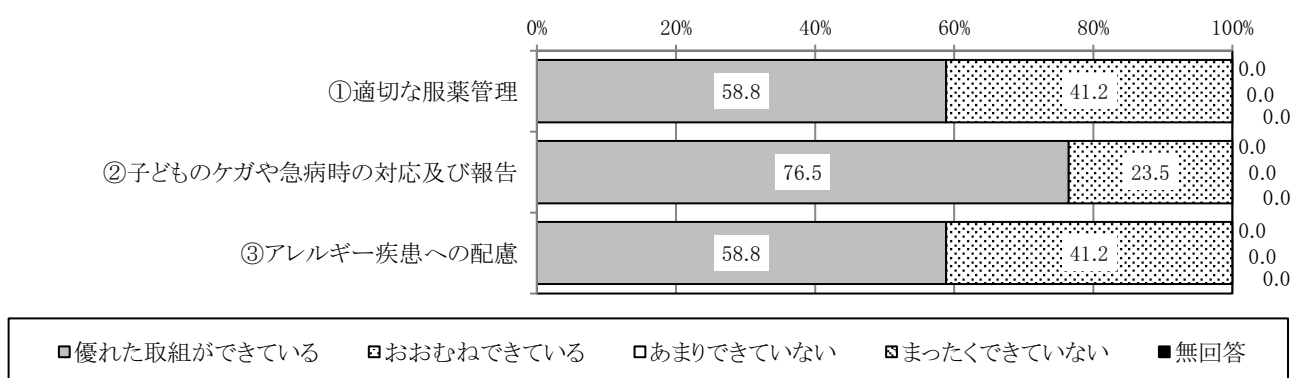
②コミュニケーション



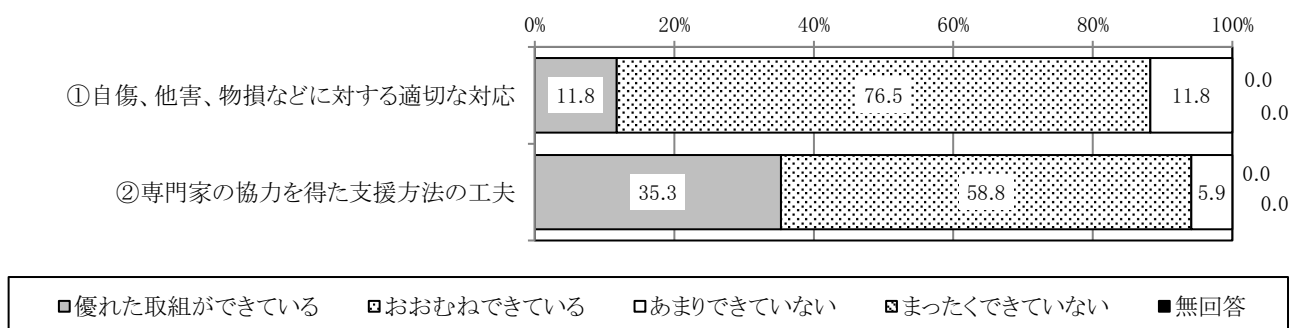
③相談等の援助



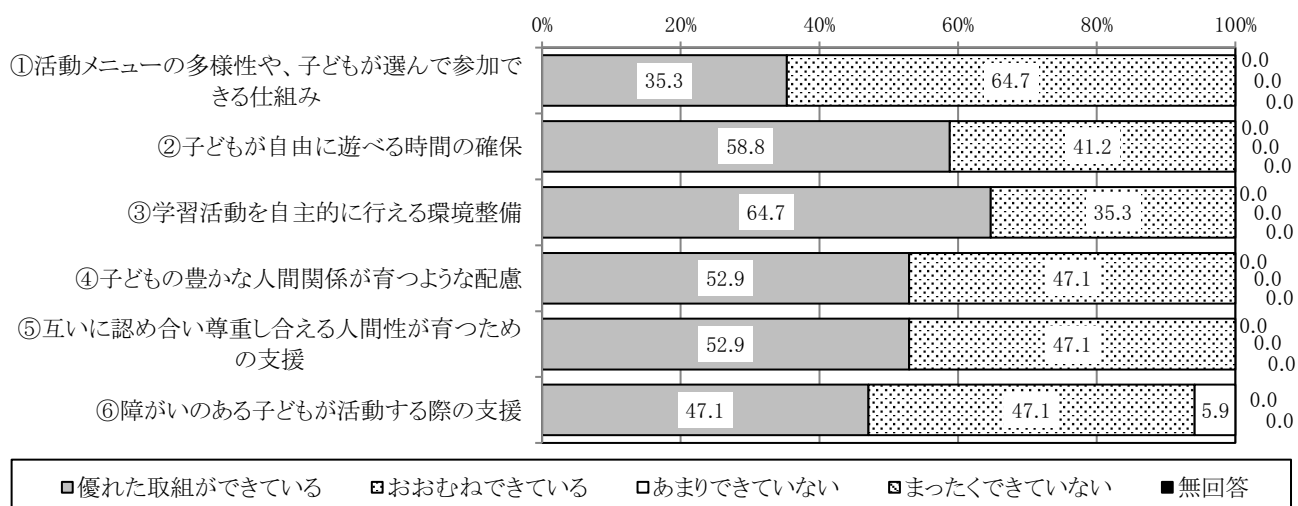
④健康管理



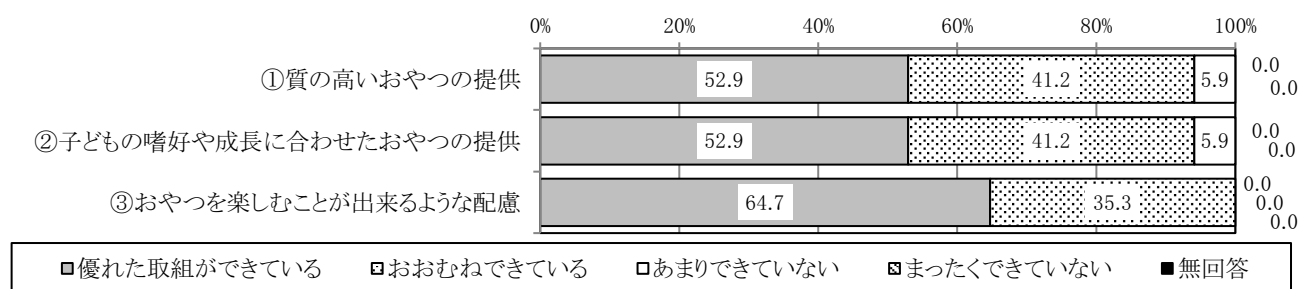
⑤自傷他害への対応



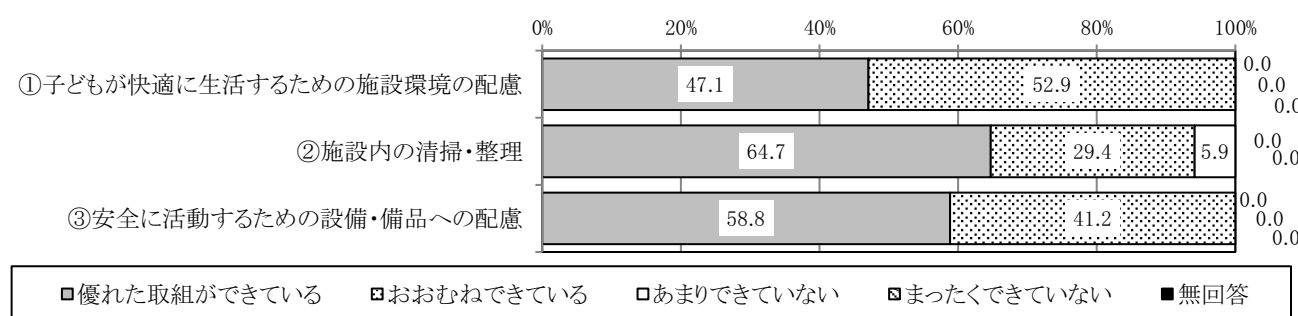
⑥活動



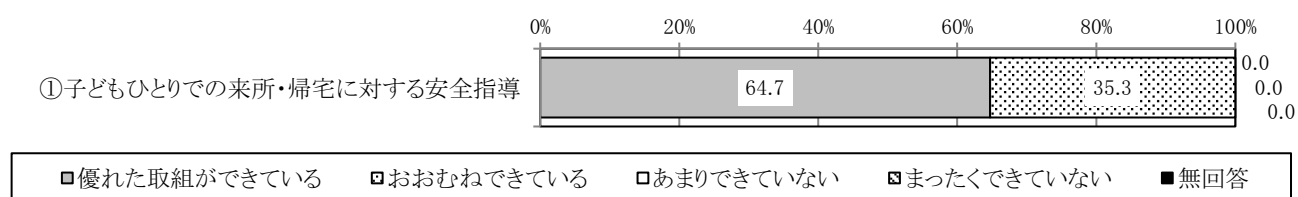
⑦おやつを提供



⑧施設環境



⑨来所・帰宅



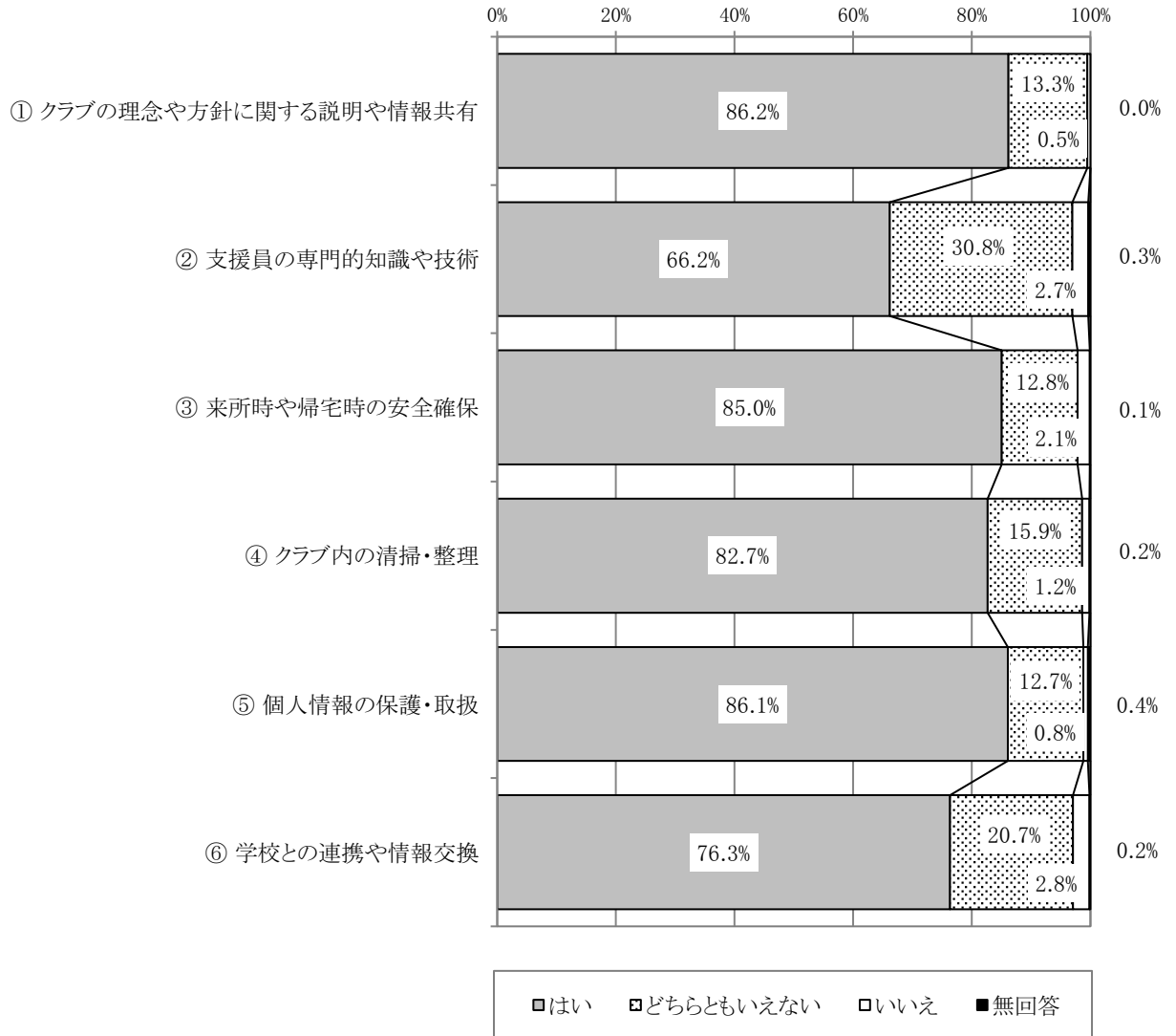
3. 利用者調査の結果

利用者調査について、全回答者の単純集計の結果は以下のとおりである。

(1) 利用しているクラブの組織と運営について

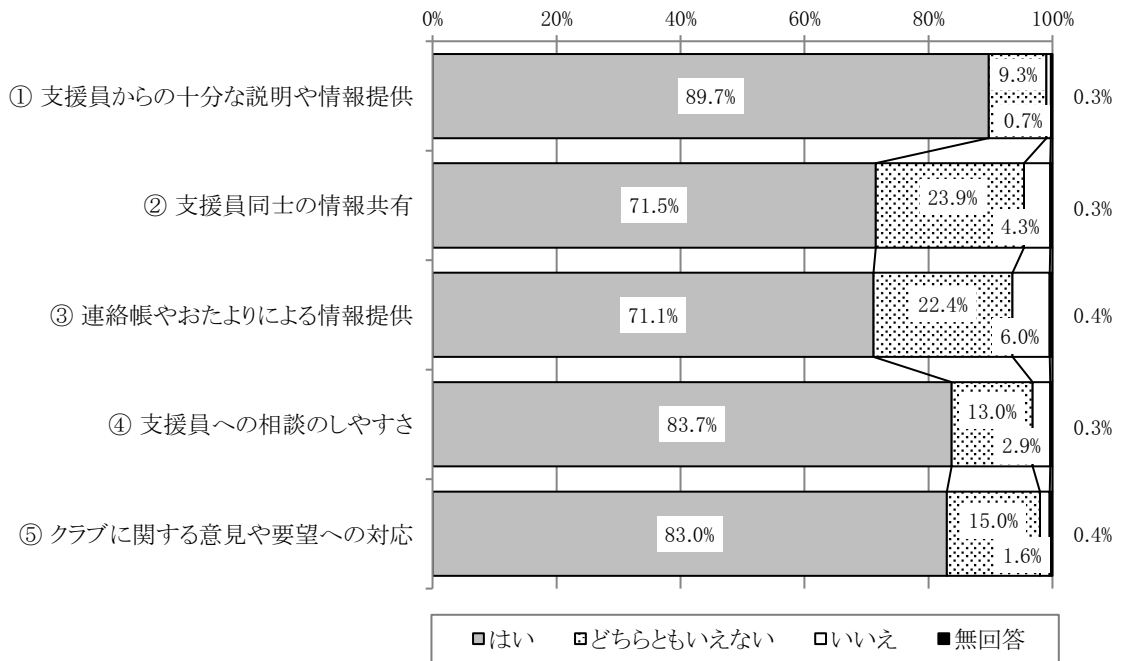
[◆保護者◆]

回答者数=1,150件



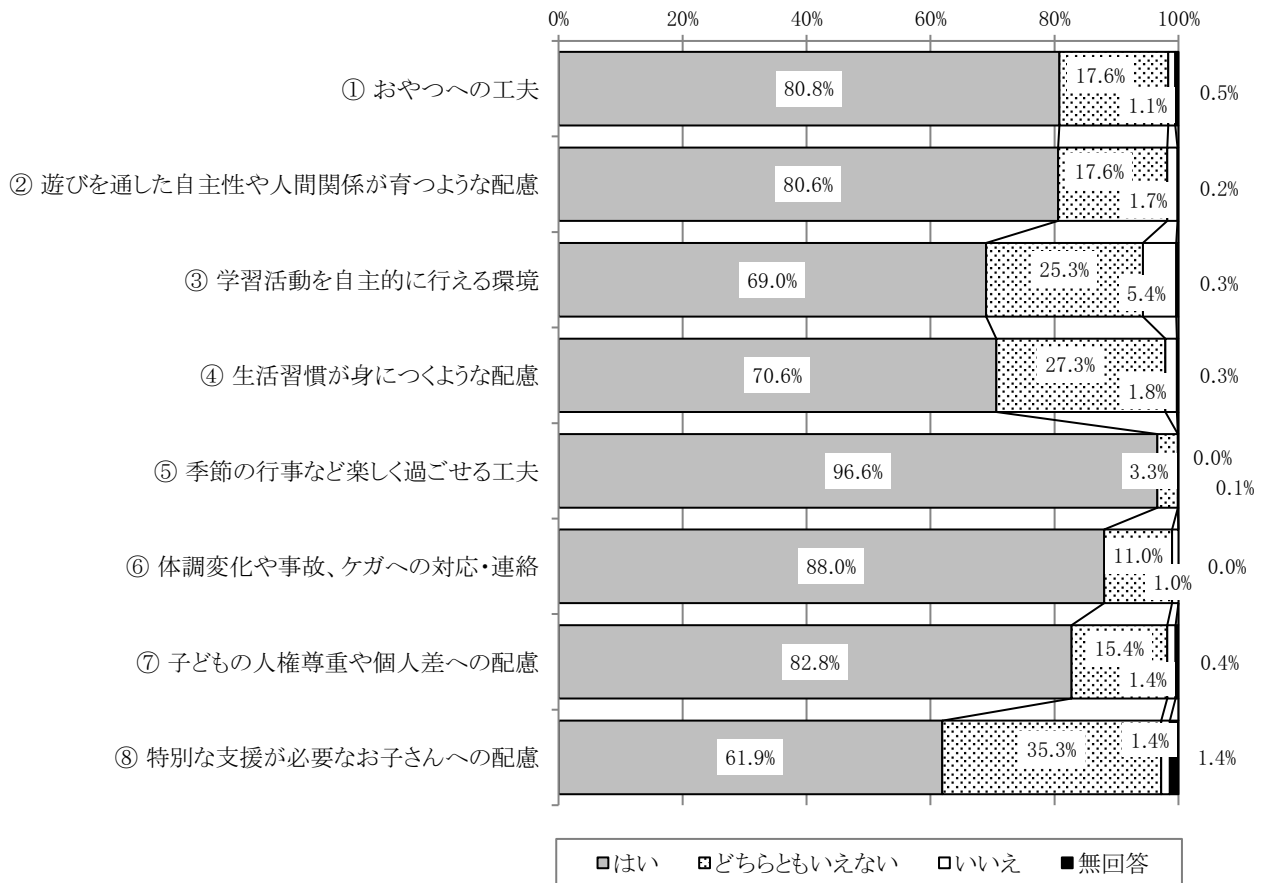
(2) サービス提供の手順について [◆保護者◆]

回答者数=1,150件



(3) 子どもの発達援助について [◆保護者◆]

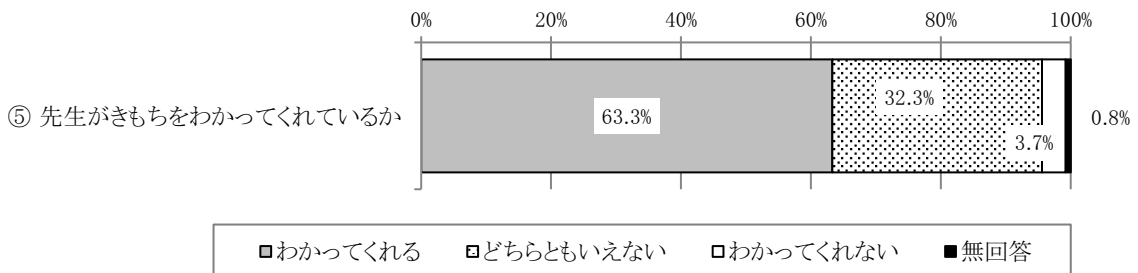
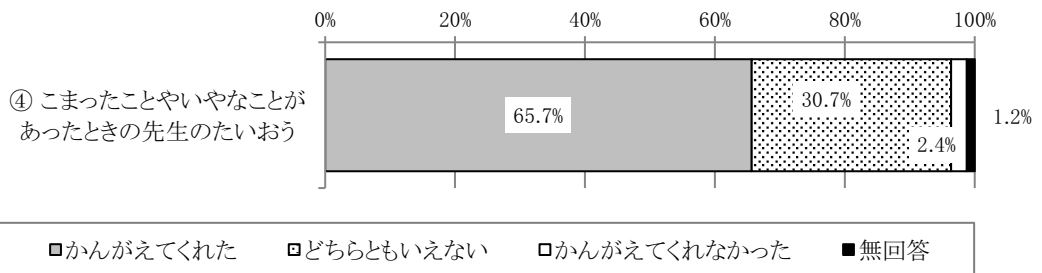
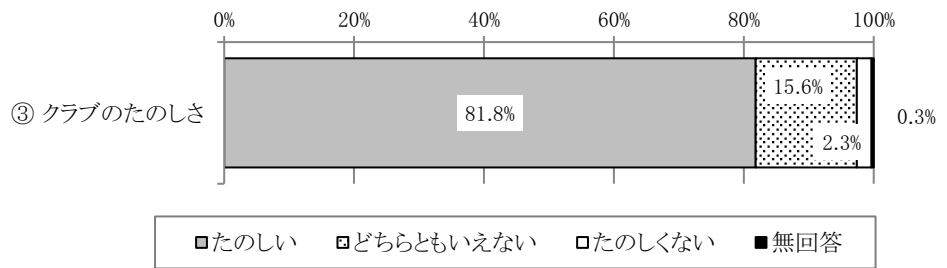
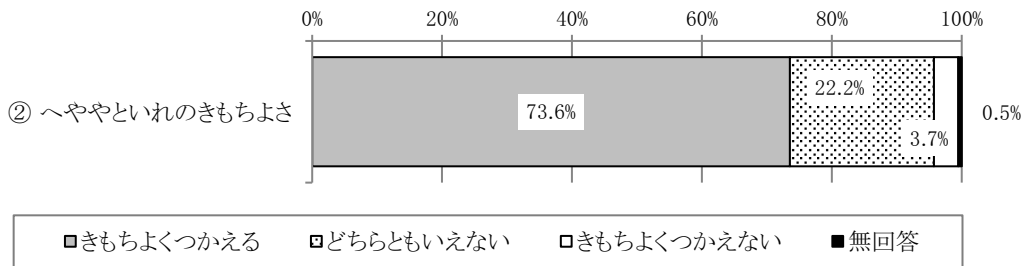
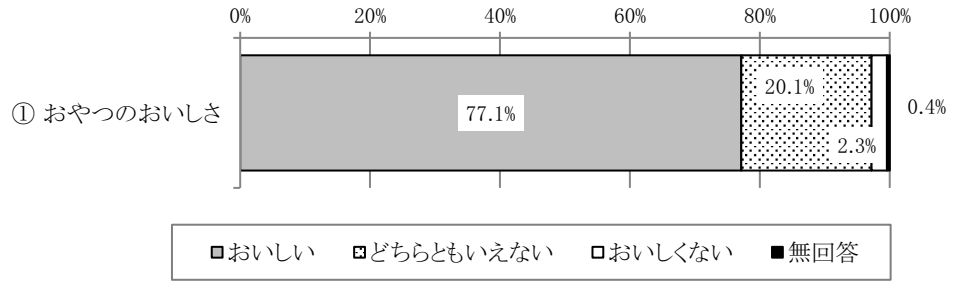
回答者数=1,150件



(4) サービスの提供の手順および発達援助について

[◇児童◇]

回答者数=1,150件



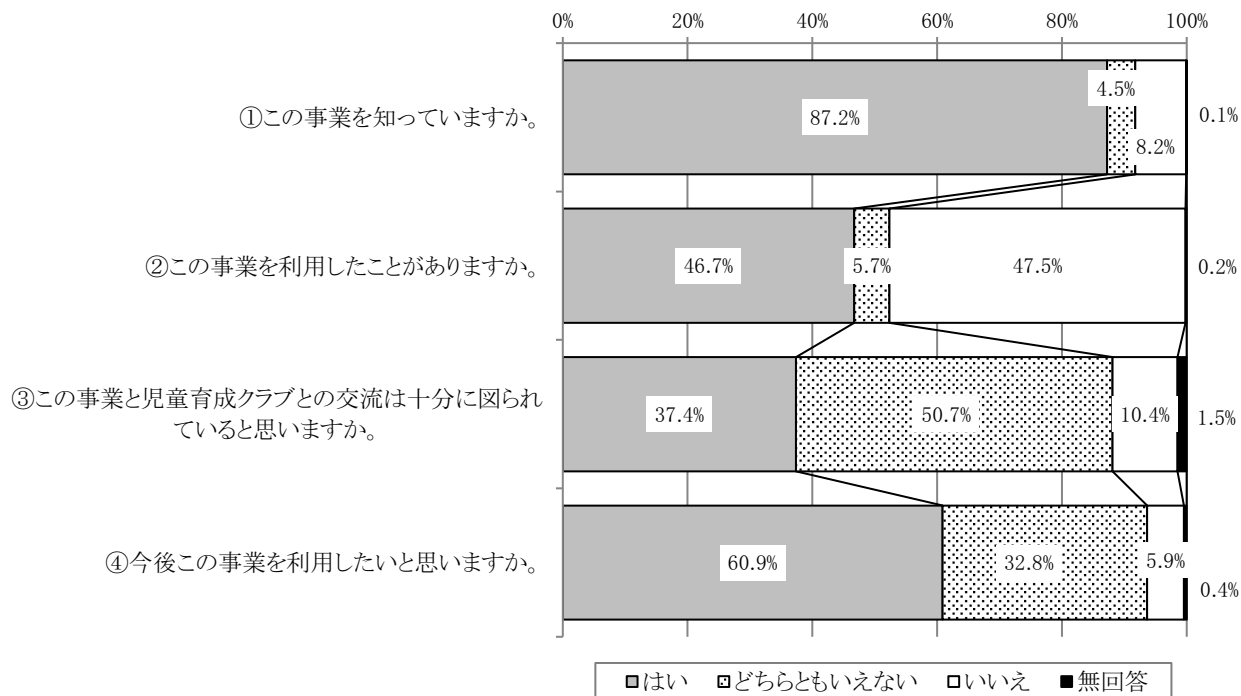
4. 放課後異年齢児交流促進事業についての調査結果

利用者調査の結果から、放課後異年齢児交流促進事業についての単純集計結果は以下のとおりである。

(1) 放課後異年齢児交流促進事業について

[◆保護者◆]

回答者数=1,150件

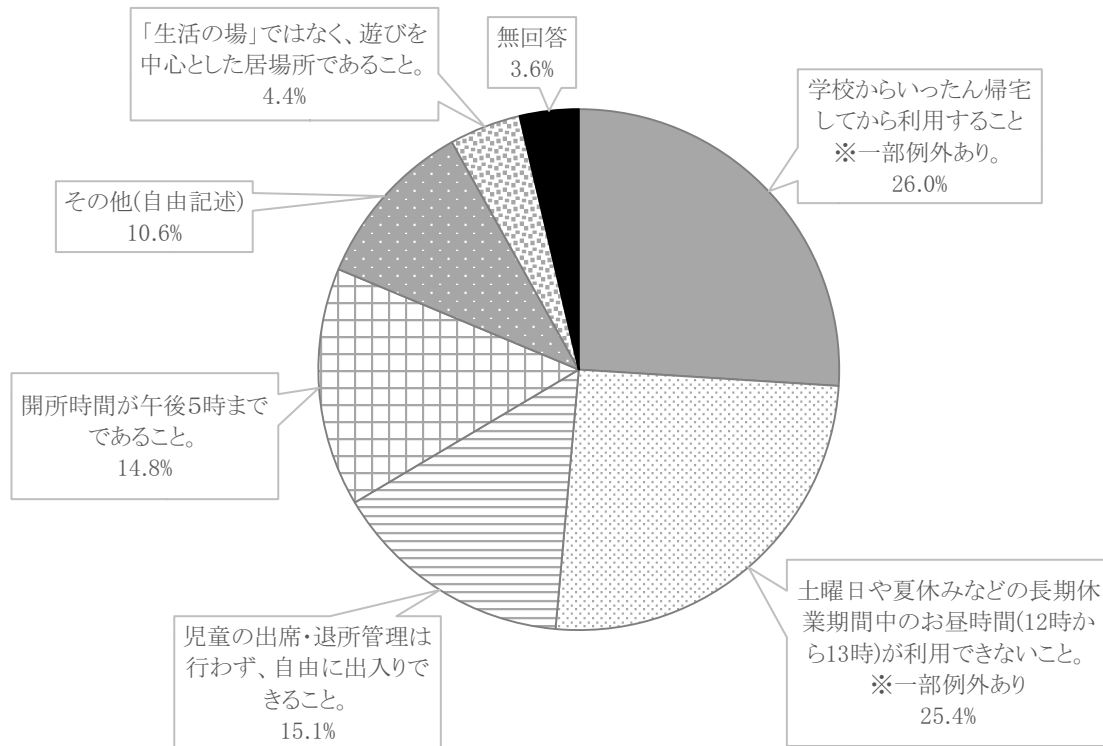


(2) 放課後異年齢児交流促進事業を利用したいと思わない理由について（複数回答）

設問「今後この事業を利用したいと思いますか。」に「どちらともいえない」または「いいえ」と回答した方のみ本設問に回答。

【◆保護者◆】

回答者数=445件（複数回答:回答数=877件）



- 学校からいったん帰宅してから利用すること ※一部例外あり。
- 土曜日や夏休みなどの長期休業期間中のお昼時間(12時から13時)が利用できないこと。 ※一部例外あり
- ▨ 児童の出席・退所管理は行わず、自由に入出りできること。
- ▩ 開所時間が午後5時までであること。
- その他(自由記述)
- ▨ 「生活の場」ではなく、遊びを中心とした居場所であること。
- 無回答

放課後異年齢児交流促進事業を利用したいと思わない理由 [その他] に記述された内容

- ・学童を利用しているため必要ではない。(同様意見 ほか16件)
- ・子どもが興味を示さない。参加を望まない。(同様意見 ほか14件)
- ・内容がわからない。または利用したことがないためわからない。(同様意見 ほか9件)
- ・学童を利用しているため放課後異年齢児交流促進事業への行き来がしづらい。参加後に学童に戻れない。
(同様意見 ほか5件)
- ・低学年向けの内容が多い、またはTVゲームしかしていない等、本人が楽しめなかった。
(同様意見 ほか4件)
- ・場所が校内ではない等、子どもの安全面への不安がある。(同様意見 ほか3件)
- ・共働きなどで働いていると利用しづらい。(同様意見 ほか1件)
- ・習い事や塾に通うため。(同様意見 ほか1件)
- ・低学年しかいないので、行きにくい。
- ・高学年の子は子供っぽいイジメがあるよう。
- ・子どもに介助が必要なため。
- ・上ばき持参のため。
- ・市外の学校に通学しているため。
- ・参加証の申請等が必要なため。
- ・部屋が1つのため不安。
- ・家庭の都合であまり必要ではないため。
- ・登録児童が少なく、友達が全然いないと帰宅した。
- ・学校以外での経験・体験もさせたいため。
- ・学校→放課後交流→学童と、子供一人で時間どおり移動させることが不安。
- ・役員等保護者の係がまわってきそう。
- ・学校をやすみの日は利用不可の点は良くない。
- ・本施策の効果が不明であるため。
- ・支援員の数、行事の有無 etc。
- ・利用する機会が少ないため。
- ・利用するタイミングがなかなかない。

5. クラブ別評価結果

評価結果

平成 29 年度

浦安小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		株式会社セリオ							
クラブの所在地		浦安市猫実四丁目 9 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1990	F A X	047-351-1990				
当該クラブの運営開始日		平成 29 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		98 人		利用 者 数		68 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	7 人	うち、男性		3 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	2 人
	非常勤	職員数	12 人	うち、男性		0 人	うち、女性		12 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

<p style="text-align: center;">サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<p>児童、保護者共に安心、安全に利用できるように安全管理に務めている。児童一人一人がおりのまま受け止められ、楽しい、また来たいと感じてもらい児童自ら主体的に通ってこれるクラブにするために職員が一丸となりサービスの向上に努めている。また、保護者との関係を大切にし、そのために児童はもちろんのこと職員も自己実現ができ楽しむことができるような環境作りを心掛けている。</p>
---	---

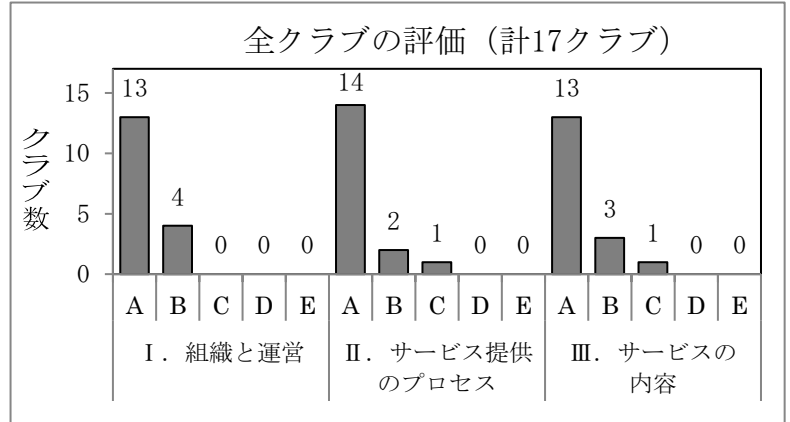
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>学校との定例会、異年齢事業との連携を行い、児童情報の共有や行事連携が円滑に行うことができている。</p> <p>事業者として本部との連携を密にし、施設間においても事故防止、質の向上へ定期的に情報連携を行っている。雇用形態に関わらず全職員が施設運営を担っている意識を持ち、全員が担当や役割を持ち、「全員運営」を心がけている。</p>	<p>運営指針についての研修実施、及び日々の育成のなかで内容の落とし込みをして、指針の理解を深めている。</p> <p>保護者会の参加率を上げる為、やり方等の工夫を行う。</p> <p>職員間のコミュニケーションを深め、個々に面談を行い、個人の目標の聞き取りを行い、更なる自己実現、施設運営の主体的参加を進めていく。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>保護者からの相談にいつでもこたえられるよう受け入れ体制を整えている。苦情については全職員に周知、情報共有を行い、迅速に対応をしている。</p> <p>運営本部による現場配属前の研修、マニュアル配布、OJT、打ち合わせでの研修内容の共有などを通しての職員育成を行っている。</p>	<p>マニュアルの整備を進め、全職員の業務の標準化を更に進める。また、職員育成計画の作成、OJT を通して一人一人の職員の育成の質の向上を行っていく。</p> <p>地域資源やボランティアなどの情報収集を行い、育成に生かしていく。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>学童便り、クラス便りを発行し、クラブや児童の様子を全家庭に具体的に伝え、写真掲示を行いクラブの様子を知ってもらえるようにしている。</p> <p>火おこしなど他施設にはないようなプログラムを実施したり、実行委員制による児童の手によりイベントの企画を行っている。</p> <p>職員の手作り、児童によるおやつクッキングをしたり、季節感を感じられるおやつを提供をしている。</p>	<p>連絡帳を活用し、お迎えに来られない保護者へ児童の様子をいかに伝えるか検討していく。</p> <p>普段から保護者との関係作りを大事にし、保護者会の行い方を工夫し、参加率をあげていく。</p> <p>職員の経験や特技を生かした様々なプログラムの実施、充実を行う。</p> <p>育成のなかで児童による障がい、国籍への理解を深め、それらの児童を含めた児童の集団作り、生活作りを行っていく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

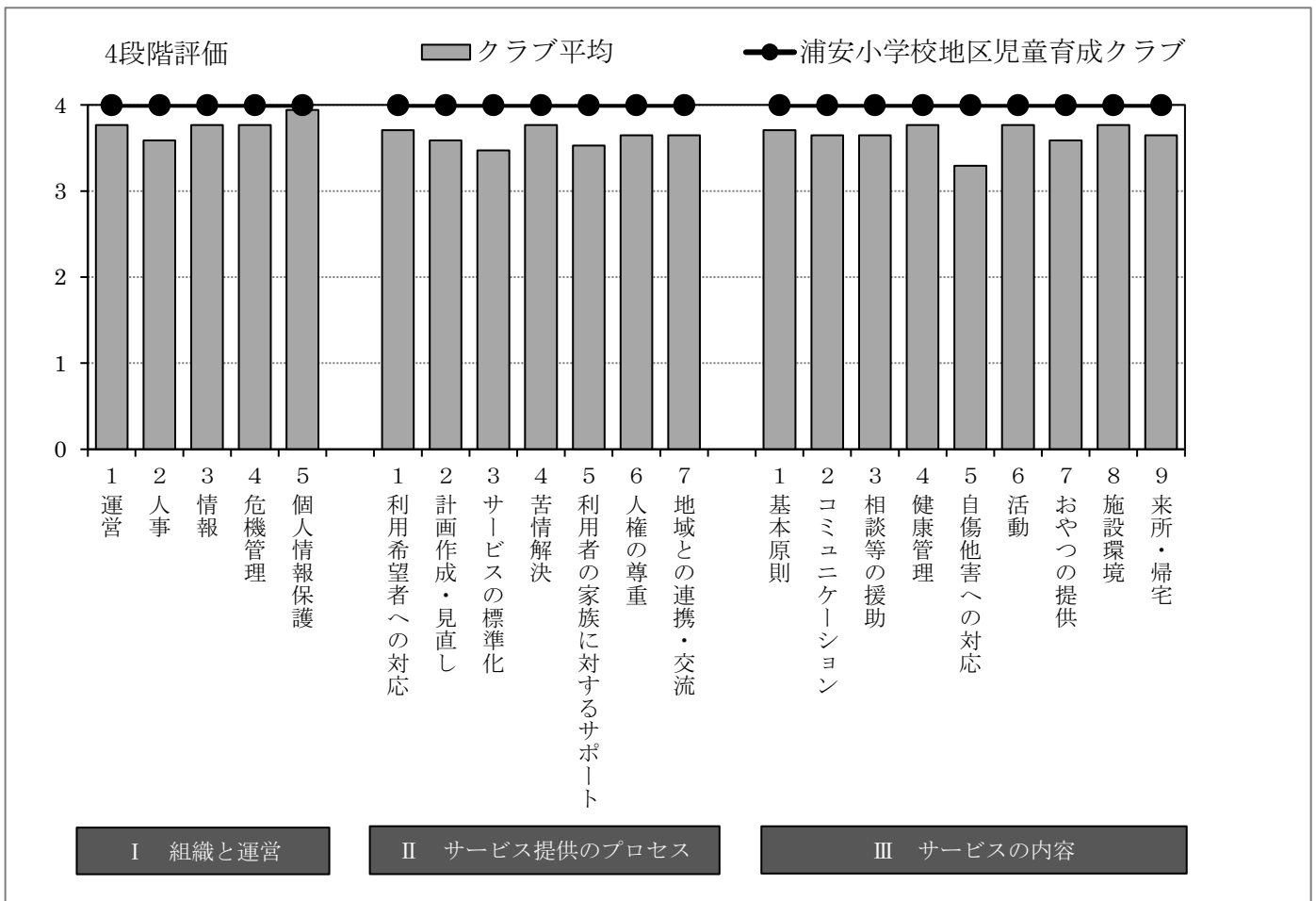
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (B)
III. サービスの内容	A (A)



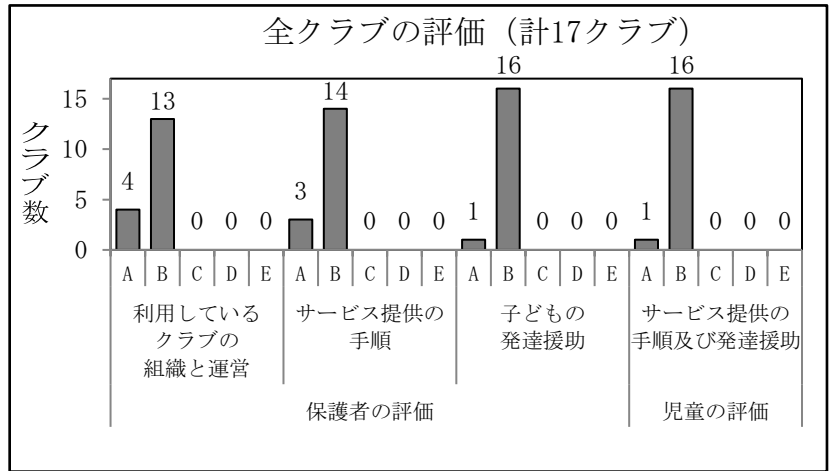
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (C)
	サービス提供の手順について	B (C)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (C)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	87.2%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	67.3%	1.9%	△19.9%
	② 支援員の専門的知識や技術	59.0%	2.6%	66.2%	2.7%		32.7%	15.4%	△26.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	74.4%	5.1%	85.0%	2.1%		57.7%	5.8%	△16.7%
	④ クラブ内の清掃・整理	53.8%	5.1%	82.7%	1.2%		34.6%	17.3%	△19.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	71.8%	2.6%	86.1%	0.8%		65.4%	3.8%	△6.4%
	⑥ 学校との連携や情報交換	64.1%	2.6%	76.3%	2.8%		40.4%	15.4%	△23.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	84.6%	0.0%	89.7%	0.7%		71.2%	1.9%	△13.5%
	② 支援員同士の情報共有	61.5%	20.5%	71.5%	4.3%		38.5%	23.1%	△23.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	71.8%	12.8%	71.1%	6.0%	↑	34.6%	23.1%	△37.2%
	④ 支援員への相談のしやすさ	71.8%	2.6%	83.7%	2.9%		53.8%	13.5%	△17.9%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	74.4%	2.6%	83.0%	1.6%		57.7%	13.5%	△16.7%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	69.2%	5.1%	80.8%	1.1%		73.1%	3.8%	▼3.8%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	87.2%	2.6%	80.6%	1.7%	↑	59.6%	1.9%	△27.6%
	③ 学習活動を自主的に進められる環境	61.5%	5.1%	69.0%	5.4%		65.4%	3.8%	▼3.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	64.1%	0.0%	70.6%	1.8%		53.8%	1.9%	△10.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.4%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	86.5%	3.8%	△10.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	82.1%	0.0%	88.0%	1.0%		71.2%	1.9%	△10.9%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	82.1%	0.0%	82.8%	1.4%		57.7%	3.8%	△24.4%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	66.7%	2.6%	61.9%	1.4%	↑	53.8%	1.9%	△12.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	61.5%	10.3%	77.1%	2.3%		55.8%	9.6%	△5.8%
	② へややといれのきもちよさ	43.6%	15.4%	73.6%	3.7%		46.2%	17.3%	▼2.6%
	③ クラブのたのしさ	76.9%	2.6%	81.8%	2.3%		57.7%	1.9%	△19.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	71.8%	2.6%	65.7%	2.4%	↑	55.8%	3.8%	△16.0%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	69.2%	5.1%	63.3%	3.7%	↑	63.5%	1.9%	△5.8%

評価結果

平成 29 年度

南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター							
クラブの所在地		浦安市堀江五丁目 4 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-352-1697	F A X	047-352-1697				
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地内／小学校校舎内／小学校敷地外（分室）							
定員／現在の利用者数 （平成 29 年 12 月末現在）		定 員		203 人		利 用 者 数		202 人	
職員数 （平成 29 年 12 月末現在）	常勤	職員数	7 人	うち、男性		3 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	3 人
	非常勤	職員数	19 人	うち、男性		3 人	うち、女性		16 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	5 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	子どもたちが毎日笑顔で楽しく、安心安全に過ごせるような学童になるように努めています。また、保護者の方々が安心してお仕事ができるように、一緒に子育てをしていきたいと思えます。
-----------------------	--

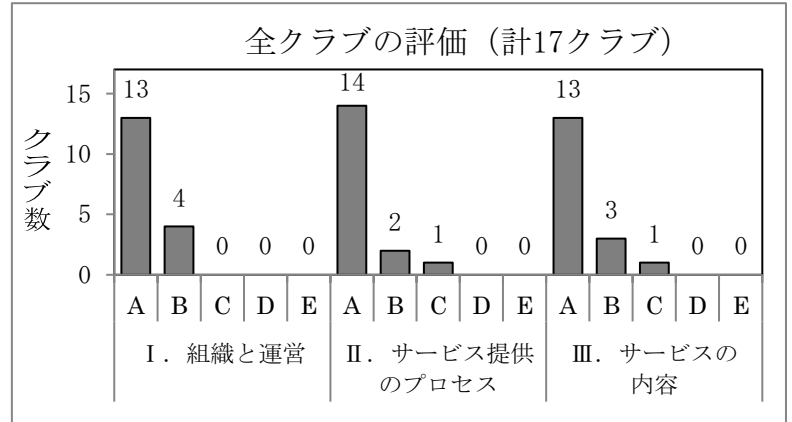
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> 毎日のミーティングとは別に常勤ミーティングを週に 1 回、全体ミーティングを月に 1 回行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールを明確にし、支援員でしっかり共有していきます。 基盤をしっかりと作っていきます。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> お迎えの時に学童での様子をお話するとともに保護者の希望に応じて個人面談を設けています。 虐待に対して敏感に情報をキャッチし、学校、市役所、会社と連携をとって早期発見に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流をもう少し深めていく必要があると感じています。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー児童に対してお皿を別にするとともにアレルギー担当の支援員が食べているときは近くについて様子を確認しています。また事前にメニューを組む他に当日もアレルギー物質が入っていないかを確認しています。 防犯教室や交通安全教室、避難訓練に力を入れ、子どもたちの安全を第一に指導しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事をもっと増やしてあげたい。 怪我が起きないように支援員協力し合って子どもたちの安全に努めていきます。 支援員の知識をもっと増やしていくために職員内での研修を行い、スキル向上していきたいと思えます。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

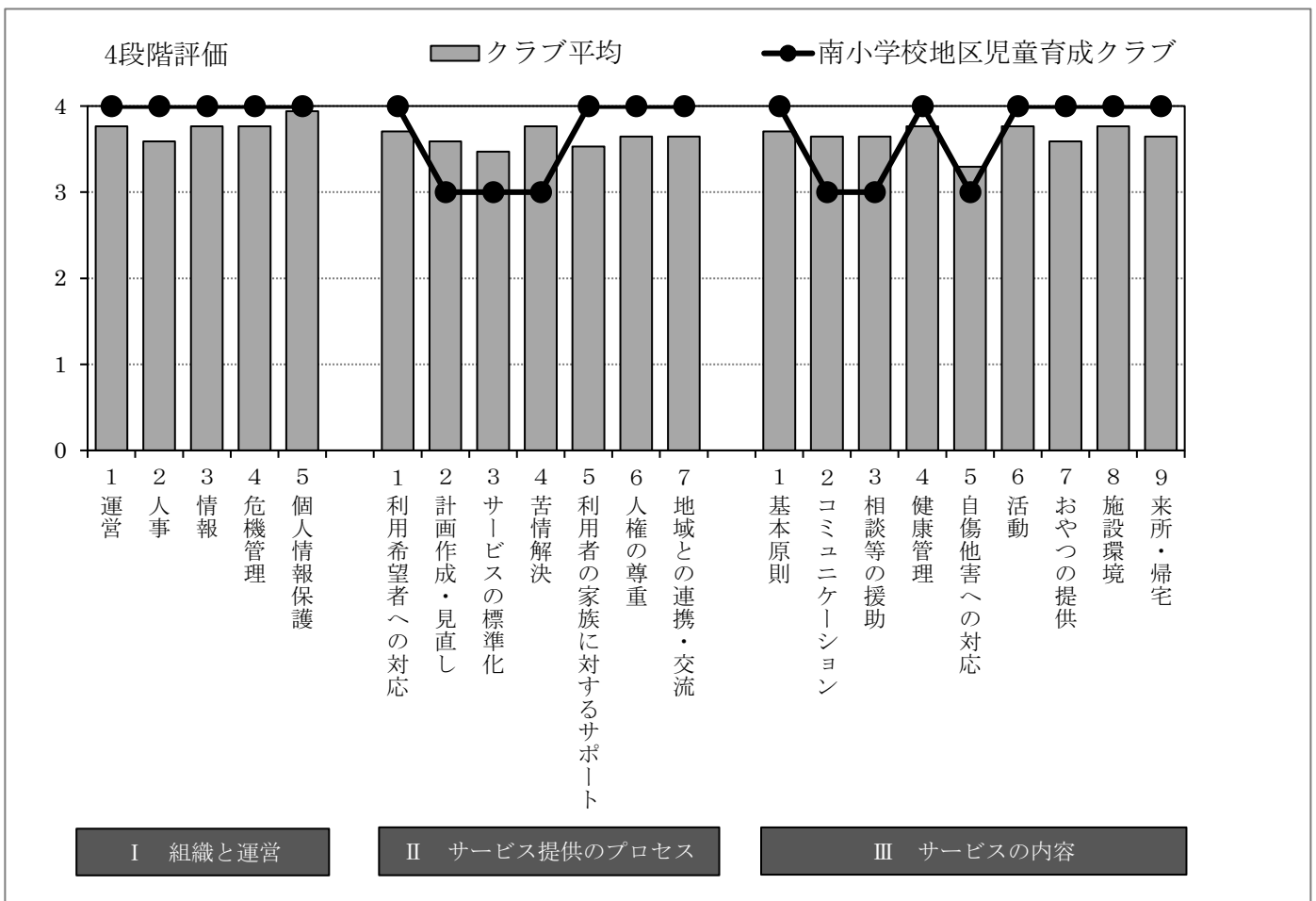
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



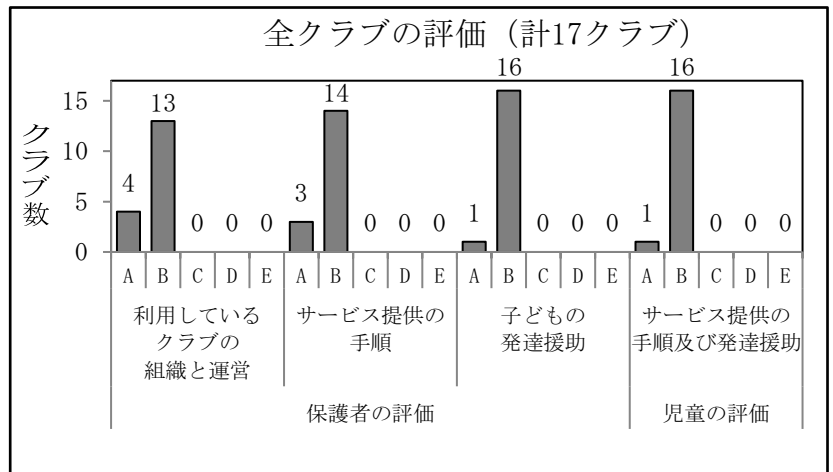
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (C)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	76.8%	2.1%	86.2%	0.5%		75.3%	0.0%	△1.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	43.2%	5.3%	66.2%	2.7%		45.2%	8.2%	▼2.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	68.4%	6.3%	85.0%	2.1%		61.6%	8.2%	△6.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	64.2%	2.1%	82.7%	1.2%		63.0%	6.8%	△1.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	75.8%	2.1%	86.1%	0.8%		74.0%	4.1%	△1.8%
	⑥ 学校との連携や情報交換	60.0%	9.5%	76.3%	2.8%		49.3%	11.0%	△10.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	83.2%	3.2%	89.7%	0.7%		75.3%	1.4%	△7.8%
	② 支援員同士の情報共有	51.6%	15.8%	71.5%	4.3%		49.3%	16.4%	△2.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	50.5%	15.8%	71.1%	6.0%		43.8%	23.3%	△6.7%
	④ 支援員への相談のしやすさ	77.9%	8.4%	83.7%	2.9%		63.0%	11.0%	△14.9%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	72.6%	5.3%	83.0%	1.6%		57.5%	5.5%	△15.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	65.3%	0.0%	80.8%	1.1%		68.5%	2.7%	▼3.2%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	60.0%	3.2%	80.6%	1.7%		54.8%	5.5%	△5.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	60.0%	12.6%	69.0%	5.4%		41.1%	20.5%	△18.9%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	55.8%	6.3%	70.6%	1.8%		52.1%	11.0%	△3.7%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	91.6%	0.0%	96.6%	0.0%		91.8%	0.0%	▼0.2%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	76.8%	5.3%	88.0%	1.0%		79.5%	5.5%	▼2.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	68.4%	1.1%	82.8%	1.4%		60.3%	2.7%	△8.1%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	38.9%	1.1%	61.9%	1.4%		39.7%	0.0%	▼0.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	84.2%	0.0%	77.1%	2.3%	↑	83.6%	2.7%	△0.6%
	② へややといれのきもちよさ	75.8%	4.2%	73.6%	3.7%	↑	69.9%	4.1%	△5.9%
	③ クラブのたのしさ	81.1%	4.2%	81.8%	2.3%		76.7%	2.7%	△4.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	63.2%	3.2%	65.7%	2.4%		61.6%	4.1%	△1.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	55.8%	2.1%	63.3%	3.7%		67.1%	0.0%	▼11.3%

評価結果

平成 29 年度

北部小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ							
クラブの所在地		浦安市北栄三丁目 20 番 3 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1782	F A X	047-351-1782				
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		191 人		利 用 者 数		178 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	11 人	うち、男性		5 人	うち、女性		6 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	3 人
	非常勤	職員数	9 人	うち、男性		1 人	うち、女性		8 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭	2 人

運営事業者のサービス提供方針

<p style="text-align: center;">サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自主性、主体的に行動できる子どもに育てたい。また、自己管理できる子どもになってほしい。 ・子どもたちの自主性を育むために子ども主体の運営会を進めていきたい。 ・支援員を核に子どもと保護者とともに、地域住民とともにクラブを創り上げていきたい。
---	---

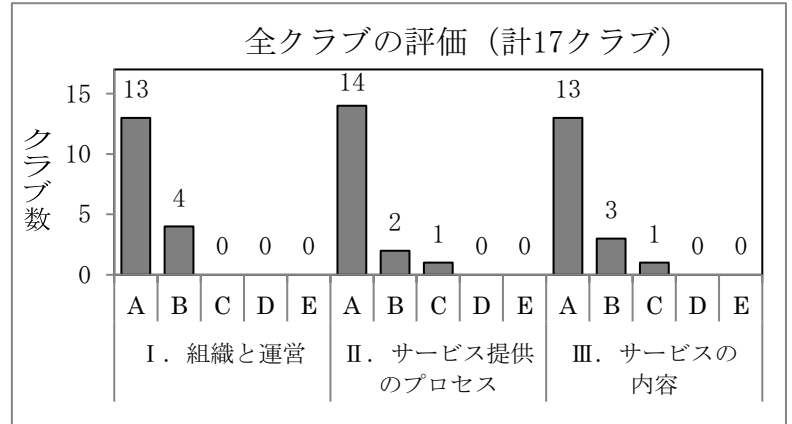
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>支援員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、保育に活かすようにしている。</p> <p>また、同事業者3クラブが連携して危機管理マニュアルや運営指針解説書などの研修を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに指導員同士で情報交換を行っている。</p>	<p>支援員が、子育てのプロとして、能力や技術を高め合う環境づくりをつくるとともに、互いに切磋琢磨して、保護者から、信頼される保育ができ、保護者からも相談をどしどし持ち込まれるような学童クラブを保護者と一緒に作っていききたい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>子どもを中心に、子どもが主体的に行動できるような保育を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考えたり、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域との連携で子育てをしてもらうという視点から、ハローウィンやクリスマス時には、近隣の家庭や施設を訪問することで学童の子どもたちとのふれあいをお願いした。また、小学校とは、毎日のように教頭先生と合い、日々の情報交換を行い、学校を一体となって、子どもの支援を行っている。保護者が安心して仕事ができるようにクラブも支えていく。</p>	<p>保護者同士が自由に話ができて、子育てや進学、しつけ、学校のことなどを気軽に雑談できるような場を作り、学童クラブがその中心地になるような取組みをしていきたい。さらに、地域にも、もっと学童クラブを知ってもらえる行事や催事を工夫していききたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>クラブは第二の家庭と考え、子ども達にとって安心できる居場所になるようにと考えている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。</p> <p>おやつに関しては、アレルギー児童に対しては、全職員の注意がいくようにミーティング等で常に意識付けをしている。</p>	<p>遊びや生活の中で、異学年、支援児がこだわりなく結びつくことのできる工夫していききたい。はッピー広場との交流を充実させ、子ども達が思い切り遊べる場をさらに強化していききたい。行事においては、子どもの自主性、参加意識を高める場を増やしていききたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつの提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

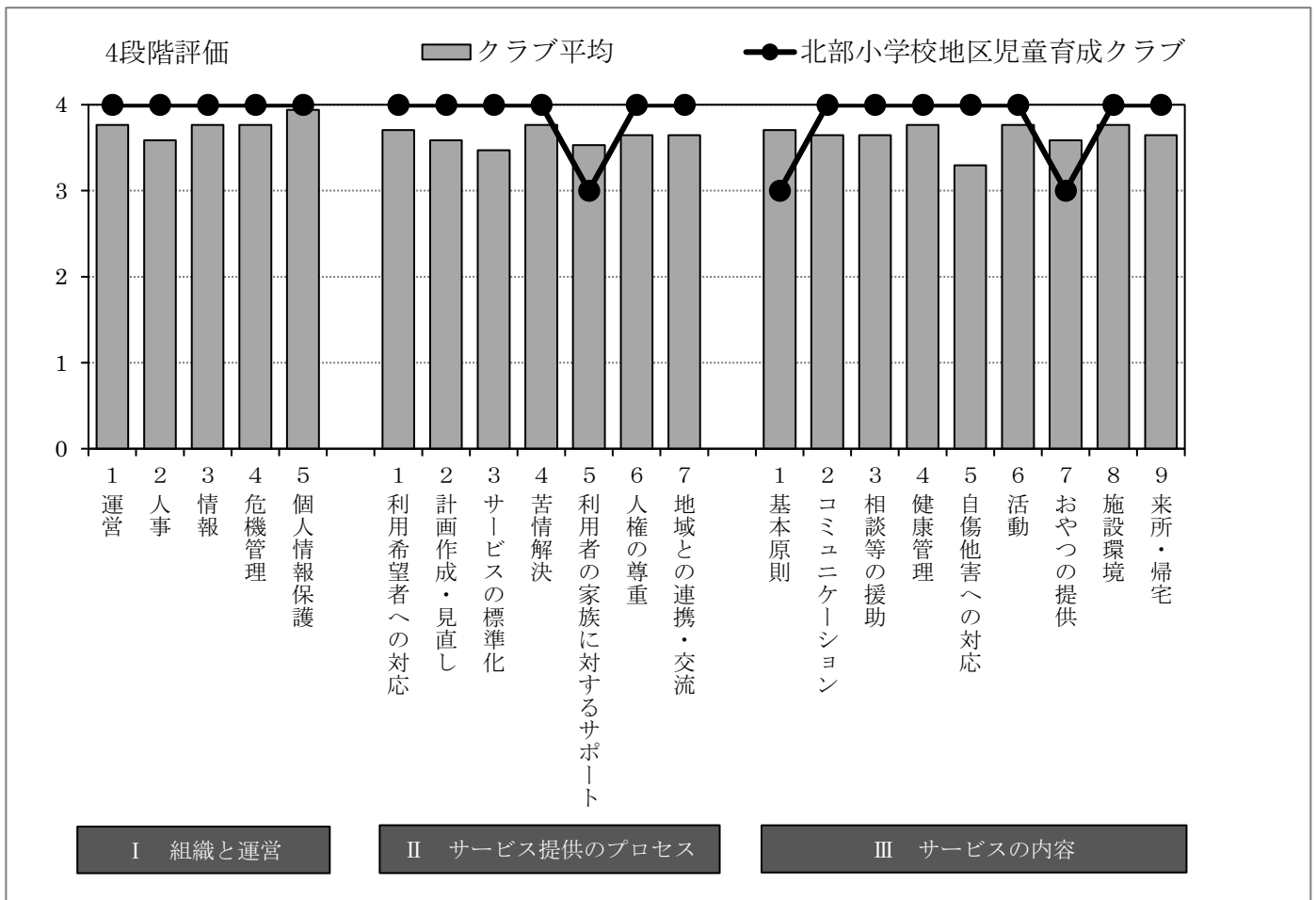
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (B)



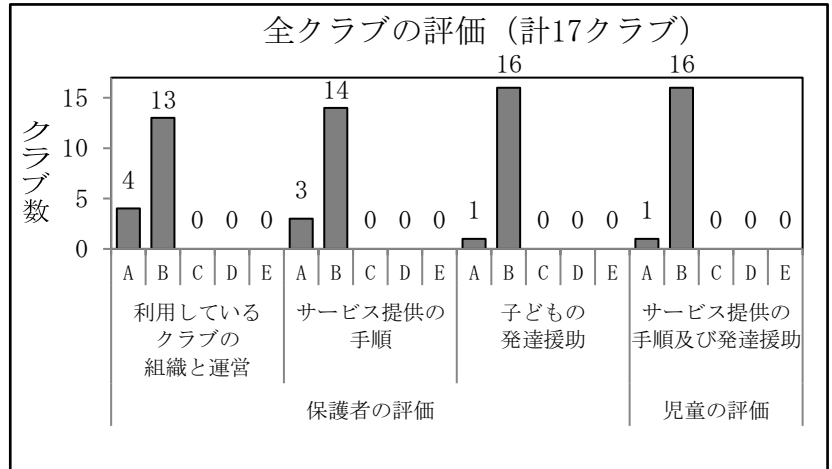
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	82.8%	0.0%	86.2%	0.5%		76.7%	4.9%	△6.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	60.2%	5.4%	66.2%	2.7%		56.3%	9.7%	△3.9%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	75.3%	4.3%	85.0%	2.1%		78.6%	4.9%	▼3.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	79.6%	0.0%	82.7%	1.2%		80.6%	1.0%	▼1.0%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	81.7%	2.2%	86.1%	0.8%		72.8%	2.9%	△8.9%
	⑥ 学校との連携や情報交換	77.4%	5.4%	76.3%	2.8%	↑	75.7%	1.9%	△1.7%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	82.8%	0.0%	89.7%	0.7%		87.4%	1.9%	▼4.6%
	② 支援員同士の情報共有	69.9%	5.4%	71.5%	4.3%		61.2%	9.7%	△8.7%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	71.0%	5.4%	71.1%	6.0%		68.0%	10.7%	△3.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	83.9%	3.2%	83.7%	2.9%	↑	80.6%	6.8%	△3.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	78.5%	3.2%	83.0%	1.6%		84.5%	3.9%	▼6.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	65.6%	3.2%	80.8%	1.1%		68.9%	6.8%	▼3.3%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	65.6%	4.3%	80.6%	1.7%		68.9%	5.8%	▼3.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	67.7%	9.7%	69.0%	5.4%		75.7%	3.9%	▼8.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	61.3%	5.4%	70.6%	1.8%		68.9%	2.9%	▼7.6%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.8%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	94.2%	0.0%	△2.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	82.8%	2.2%	88.0%	1.0%		88.3%	1.9%	▼5.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	76.3%	2.2%	82.8%	1.4%		70.9%	4.9%	△5.5%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	63.4%	2.2%	61.9%	1.4%	↑	76.7%	1.9%	▼13.3%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	55.9%	6.5%	77.1%	2.3%		68.9%	4.9%	▼13.0%
	② へややといれのきもちよさ	66.7%	5.4%	73.6%	3.7%		69.9%	1.9%	▼3.2%
	③ クラブのたのしさ	73.1%	5.4%	81.8%	2.3%		68.9%	4.9%	△4.2%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	67.7%	5.4%	65.7%	2.4%	↑	66.0%	4.9%	△1.7%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	60.2%	7.5%	63.3%	3.7%		68.9%	2.9%	▼8.7%

評価結果

見明川小学校地区児童育成クラブ

平成 29 年度

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		社会福祉法人わかみや福祉会							
クラブの所在地		浦安市弁天三丁目 1 番 2 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1633	F A X	047-351-1633				
当該クラブの運営開始日		平成 24 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		120 人		利 用 者 数		121 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	3 人	うち、男性		3 人	うち、女性		0 人
		有資格者数		保育士	3 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	8 人	うち、男性		2 人	うち、女性		6 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	2 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が力をあわせ、児童により良い環境を作る。 ・保護者が安心して働くことができるよう、保育の充実をめざす ・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童保育をめざす。
-----------------------	---

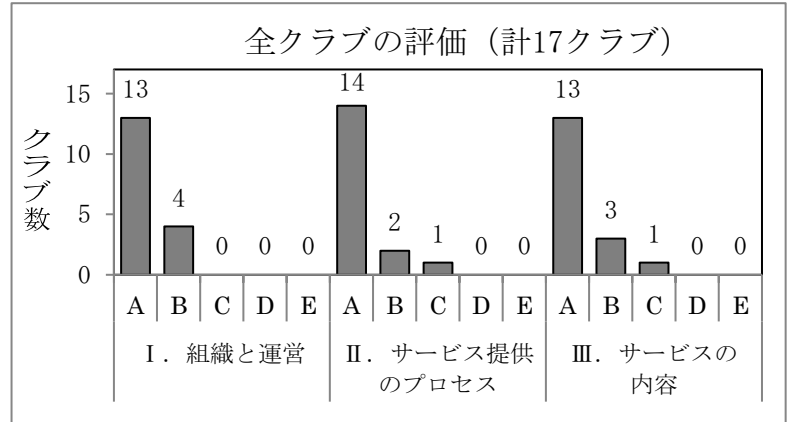
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	社会福祉法人としての実績を踏まえ、向上心を高め、保育士の資格を持つ担任をそれぞれ置いている。同法人の保育園とも十分に連携をとり、情報共有に努めている。経験の長い支援員も多いので、児童は安定した環境の中で過ごすことが出来ている。また日々の会議を重視し、子どもの様子、変化を迅速に察知するようにしている。	保護者会・カフェの日程、内容などの見直しを検討する。おたよりの内容も見やすく、充実したものに改善していく。研修には全職員が参加出来るようにし、個々のスキルアップを図っていく。学校とは、情報共有だけでなく、問題提起などをこちらからも発信していきたい。個人情報、管理の徹底だけでなく、守秘義務の遵守も啓蒙していきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	見学者、実習生は意向に沿って可能な限り受け入れている。また個人情報保護に配慮しながら、情報公開にも努めている。地域交流では、公民館を訪ねお年寄りの方と触れ合い、他学童との交流会も積極的に行った。保護者には、個々の不安や悩みに応じて、お迎え時などに相談や面談を行い、誠意をもって対応している。	年間の支援計画は、議論を重ねながら作成していく。また支援計画から月案やミーティングなどにも活用していきたい。様々なマニュアルに関しては、時代に即した物に見直していく。苦情に対しては、真摯に受け止め、早急に議論し、解決、対応を迅速に行っていく。長期休みには、地域交流・行事への積極的な参加も検討していきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見通しを持って遊びや行事、活動に取り組んでいる。気になる子や支援児には、学校との連携を密にし、意思統一を図りながら、その子に添った対応、関わりを親身に心掛けている。おやつは、季節感のある手作りの物を心掛け、レシピも玄関に置くようにした。衛生管理の為、検食の保管も行っている。	おやつや行事などは改善できる所は改善し、現状に満足せず、より良い物、質の高い保育を目指していきたい。また環境づくりにも留意し、子どもたちが毎日楽しく、気持ちよく、快適に過ごせるように努力していく。その中で安全、健康面には十分配慮していく。感染症などの予防は、これからも継続して行っていきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

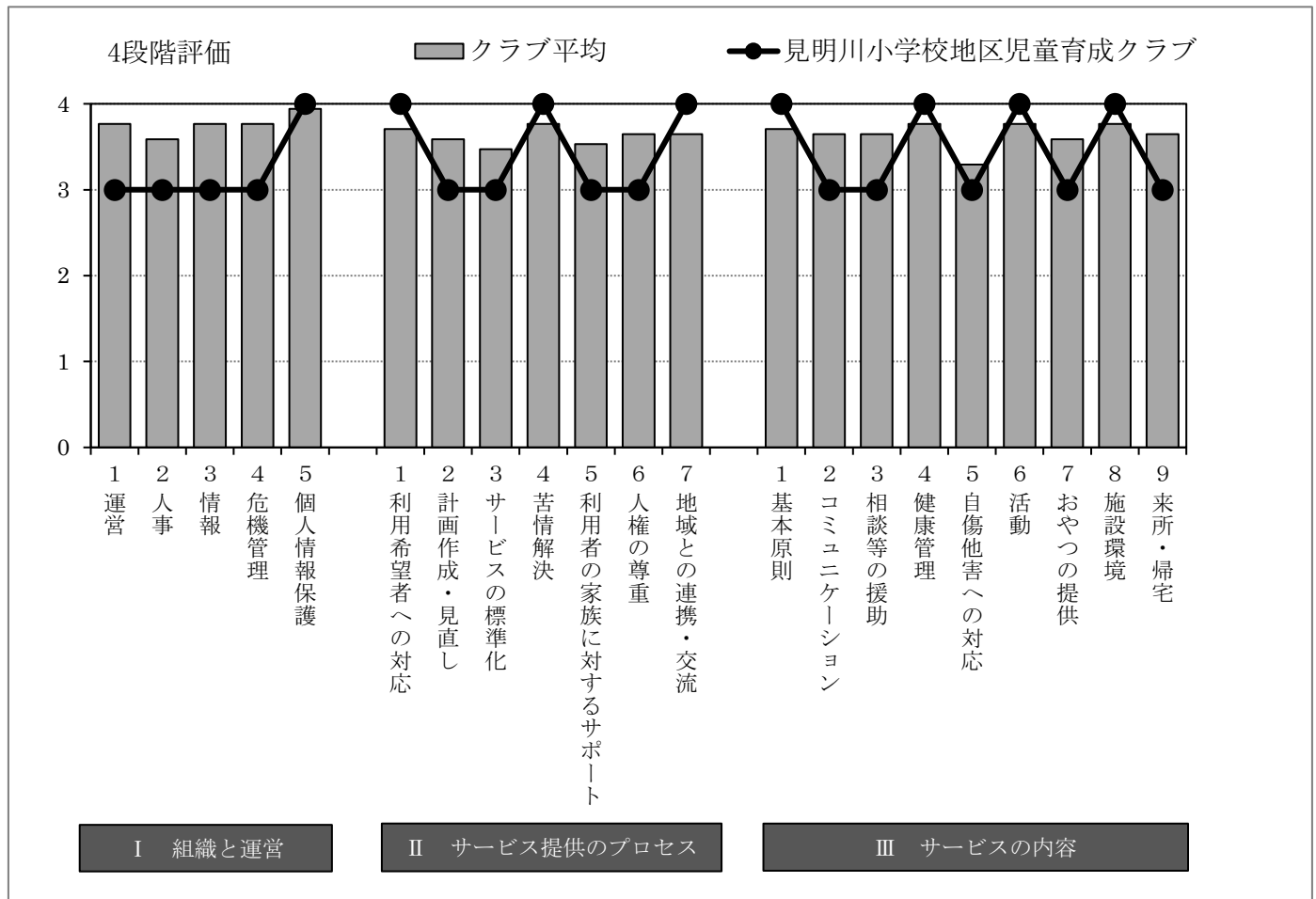
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	B (B)
II. サービス提供の プロセス	A (B)
III. サービスの内容	A (B)



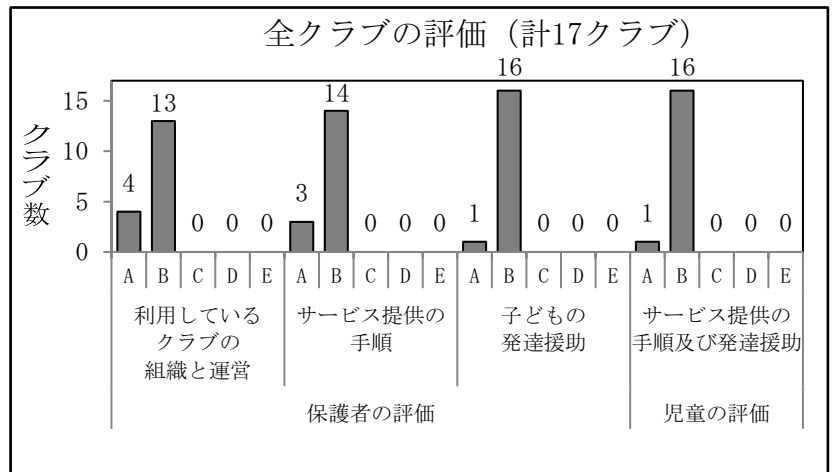
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	B (A)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	90.3%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	85.7%	3.6%	△4.6%
	② 支援員の専門的知識や技術	74.2%	0.0%	66.2%	2.7%	↑	83.9%	3.6%	▼9.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	93.5%	0.0%	85.0%	2.1%	↑	96.4%	0.0%	▼2.9%
	④ クラブ内の清掃・整理	83.9%	0.0%	82.7%	1.2%	↑	83.9%	0.0%	▼0.1%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	83.9%	1.6%	86.1%	0.8%		87.5%	0.0%	▼3.6%
	⑥ 学校との連携や情報交換	85.5%	0.0%	76.3%	2.8%	↑	91.1%	1.8%	▼5.6%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	91.9%	0.0%	89.7%	0.7%	↑	92.9%	1.8%	▼0.9%
	② 支援員同士の情報共有	80.6%	3.2%	71.5%	4.3%	↑	89.3%	3.6%	▼8.6%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	71.0%	3.2%	71.1%	6.0%		82.1%	5.4%	▼11.2%
	④ 支援員への相談のしやすさ	77.4%	1.6%	83.7%	2.9%		91.1%	1.8%	▼13.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	83.9%	0.0%	83.0%	1.6%	↑	89.3%	1.8%	▼5.4%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	96.8%	0.0%	80.8%	1.1%	↑	92.9%	0.0%	△3.9%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	79.0%	0.0%	80.6%	1.7%		89.3%	1.8%	▼10.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	59.7%	4.8%	69.0%	5.4%		89.3%	1.8%	▼29.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	75.8%	0.0%	70.6%	1.8%	↑	89.3%	1.8%	▼13.5%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	93.5%	0.0%	96.6%	0.0%		100.0%	0.0%	▼6.5%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	83.9%	0.0%	88.0%	1.0%		85.7%	1.8%	▼1.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	85.5%	0.0%	82.8%	1.4%	↑	91.1%	1.8%	▼5.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	58.1%	0.0%	61.9%	1.4%		69.6%	0.0%	▼11.6%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	87.1%	1.6%	77.1%	2.3%	↑	94.6%	0.0%	▼7.5%
	② へややといれのきもちよさ	72.6%	1.6%	73.6%	3.7%		73.2%	5.4%	▼0.6%
	③ クラブのたのしさ	95.2%	1.6%	81.8%	2.3%	↑	87.5%	1.8%	△7.7%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	66.1%	1.6%	65.7%	2.4%	↑	71.4%	0.0%	▼5.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	58.1%	3.2%	63.3%	3.7%		71.4%	1.8%	▼13.4%

評価結果

平成 29 年度

富岡小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会							
クラブの所在地		浦安市富岡一丁目1番1号							
クラブの連絡先		電 話	047-352-7400	F A X	047-352-7400				
当該クラブの運営開始日		平成 28 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		80 人		利 用 者 数		82 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	5 人	うち、男性		1 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	0 人
	非常勤	職員数	4 人	うち、男性		0 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	3 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	児童育成クラブは、「一人ひとりが主役となれる場」、「異年齢児による遊びを通じ、社会性・自主性を育てる場」、「安心して楽しく育てる場」をモットーに子どもとの信頼関係を築けるよう保育に努めている。
-----------------------	--

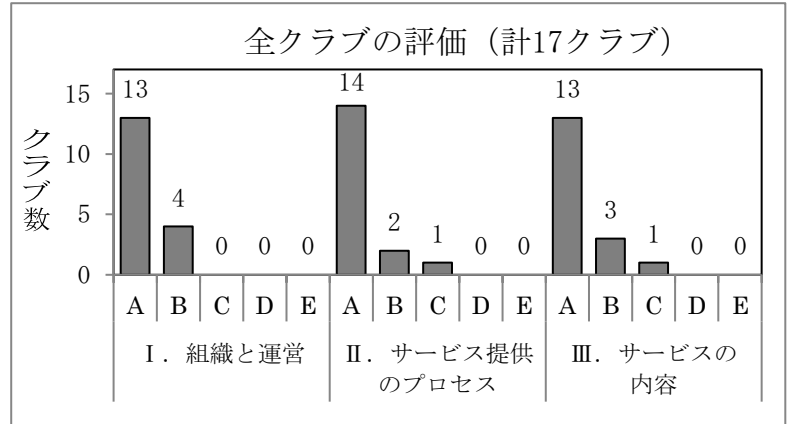
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・東野育成クラブと連携し合同イベントを行ったり、支援員の交流ができることを生かしている。互いのいいところは共有し、足りないところは補えるよう、支援員の資質の向上に努めている。 ・ミーティング等で、今まで起きた事例を検討し、必要なことをマニュアルに記載して、再発防止に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成クラブに求められていることが変わってきているため、運営指針の理解とこれからの育成クラブのあり方について検討し、内容を共通理解する必要がある。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは作っているが、個々の支援として、家庭や本人の状況を理解し、臨機応変な対応もできるようミーティングなどを多く持っている。 ・子どもたちの意見も取り入れられるよう、話し合いの場を設け、自分たちの生活の場について子ども自身が考えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に理解してもらえような取り組みや子どもたちの安全面を重視したサービスを考えているが、運営指針や認定資格研修で言われている、「子どもの主体性」とは何か、どのように子どもたちから引き出していくかを考えて行事や生活を考えていく必要がある。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にとっても、子供たちにとっても安心して生活できる場になるように日々務めている。 また、家庭において親子で過ごす時間を大切にしてほしいという思いから、宿題等に取り組めるよう学習の時間を設け、クラブでの様子もいいことだけではなく、気になることについても話すようにしている。保護者に何かを伝える際には、必ず2人で対応するように心がけ、大げさになりすぎたり、否定的になりすぎたりしないように、配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しめるイベントを考えているが、子どもたちから「平日は友達と遊べる時間が短く1日育成の日などはイベントではなく、好きなことをさせてほしい。」など、過ごし方について提案があった。「何もない時間」の大切さを知り、行事のあり方など、再検討したいと感じている。 ・支援児の対応など、専門的な意見を聞きたいと思っており、関係機関と連携し、巡回指導に来てもらい、必要な支援を教えていただきたい。 ・設問5に、危険な行為に対応するための具体的な方法が定められているかとの問いがあるが、どのようなものがあるのか教えていただき対応したい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

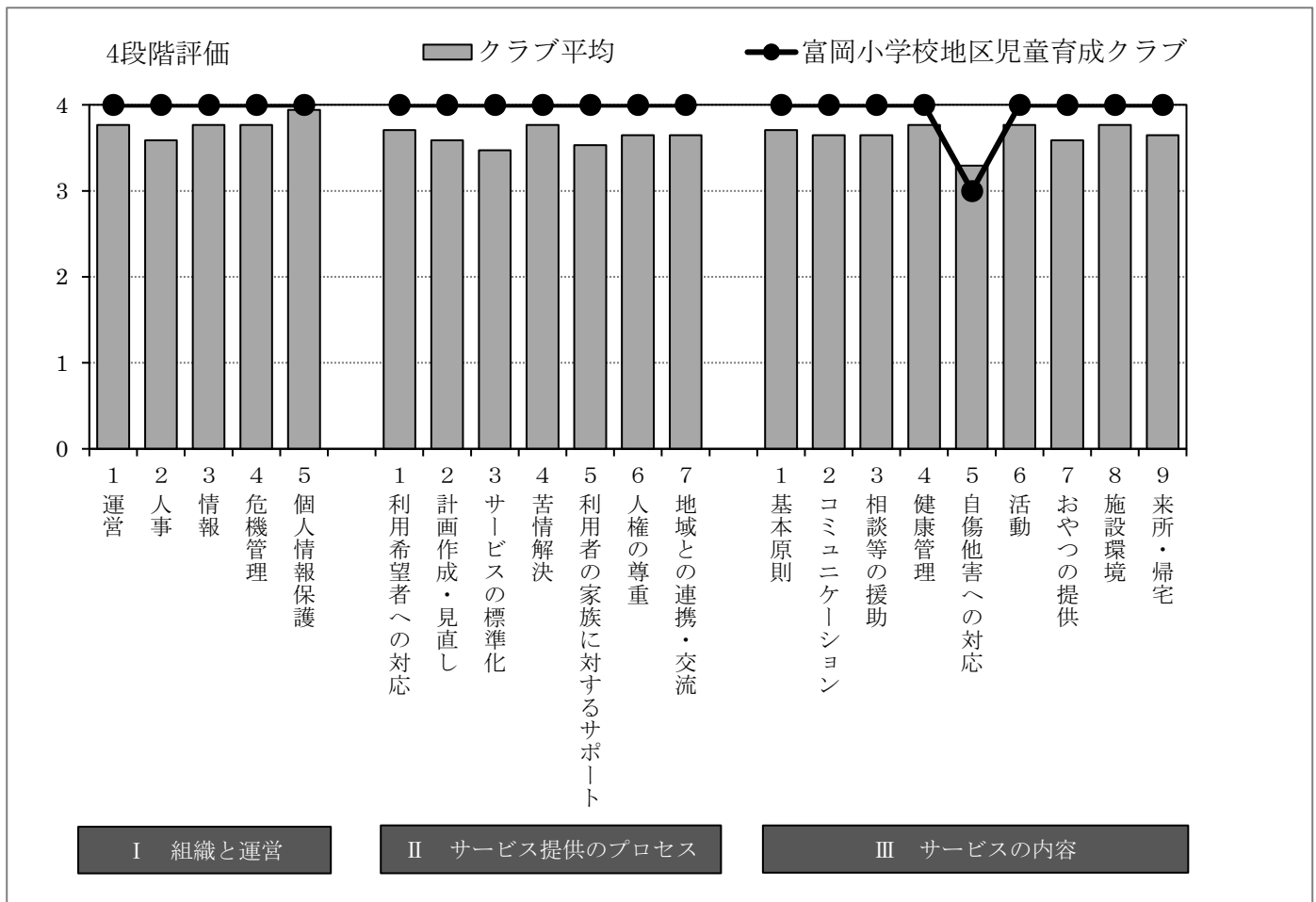
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A
	(A)
II. サービス提供の プロセス	A
	(A)
III. サービスの内容	A
	(A)



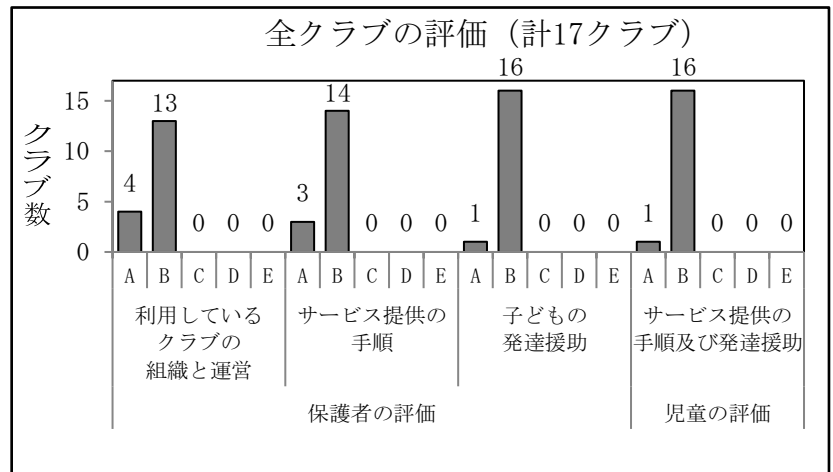
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	A (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	92.2%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	91.1%	0.0%	△1.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	75.0%	1.6%	66.2%	2.7%	↑	71.1%	0.0%	△3.9%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	93.8%	1.6%	85.0%	2.1%	↑	86.7%	0.0%	△7.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	95.3%	0.0%	82.7%	1.2%	↑	91.1%	0.0%	△4.2%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	90.6%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	93.3%	0.0%	▼2.7%
	⑥ 学校との連携や情報交換	85.9%	1.6%	76.3%	2.8%	↑	71.1%	2.2%	△14.8%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	95.3%	0.0%	89.7%	0.7%	↑	95.6%	0.0%	▼0.2%
	② 支援員同士の情報共有	90.6%	3.1%	71.5%	4.3%	↑	77.8%	4.4%	△12.8%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	87.5%	3.1%	71.1%	6.0%	↑	71.1%	2.2%	△16.4%
	④ 支援員への相談のしやすさ	90.6%	1.6%	83.7%	2.9%	↑	93.3%	0.0%	▼2.7%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.1%	1.6%	83.0%	1.6%	↑	80.0%	0.0%	△9.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	89.1%	1.6%	80.8%	1.1%	↑	82.2%	0.0%	△6.8%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	89.1%	0.0%	80.6%	1.7%	↑	88.9%	0.0%	△0.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	71.9%	4.7%	69.0%	5.4%	↑	68.9%	6.7%	△3.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	81.3%	0.0%	70.6%	1.8%	↑	77.8%	0.0%	△3.5%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	95.3%	0.0%	96.6%	0.0%		97.8%	0.0%	▼2.5%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	90.6%	0.0%	88.0%	1.0%	↑	86.7%	0.0%	△4.0%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	87.5%	3.1%	82.8%	1.4%	↑	88.9%	0.0%	▼1.4%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	67.2%	1.6%	61.9%	1.4%	↑	66.7%	0.0%	△0.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	90.6%	0.0%	77.1%	2.3%	↑	86.7%	0.0%	△4.0%
	② へややといれのきもちよさ	76.6%	3.1%	73.6%	3.7%	↑	68.9%	2.2%	△7.7%
	③ クラブのたのしさ	85.9%	1.6%	81.8%	2.3%	↑	82.2%	4.4%	△3.7%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	73.4%	3.1%	65.7%	2.4%	↑	68.9%	0.0%	△4.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	75.0%	1.6%	63.3%	3.7%	↑	62.2%	0.0%	△12.8%

評価結果

平成 29 年度

美浜南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		株式会社セリオ							
クラブの所在地		浦安市美浜三丁目 15 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-350-6624	F A X	047-350-6624				
当該クラブの運営開始日		平成 28 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		70 人		利用 者 数		57 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性		0 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	1 人
	非常勤	職員数	6 人	うち、男性		1 人	うち、女性		5 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	2 人

運営事業者のサービス提供方針

<p style="text-align: center;">サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<p>児童、保護者共に安心、安全に利用できるように安全管理に務めている。児童が楽しい、また来たいと思えるクラブにするために支援員が一丸となりサービスの向上に努めている。保護者との関係を大切にし、児童だけではなく支援員自身も楽しむことができる職場環境づくりを心掛けている。</p>
---	---

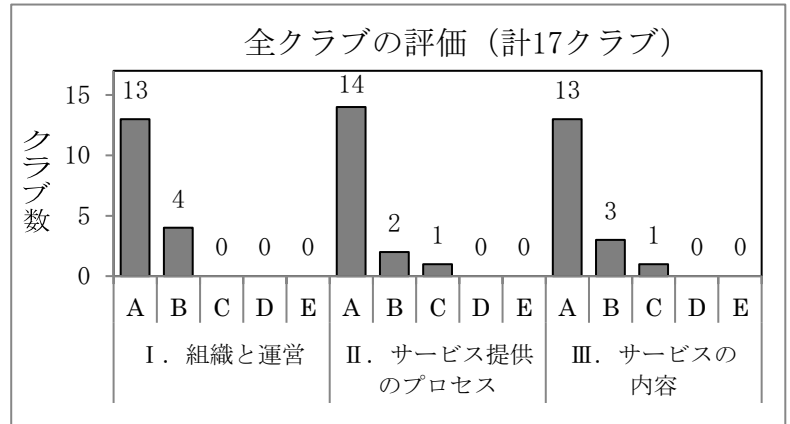
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	市や学校及び運営本部との報告・連絡・相談体制を整え、支援員間も同様に徹底している。事業者として本部との連携を密にし、施設間においても事故防止、質の向上へ定期的に情報連携を行っている。雇用形態に関わらず全職員が施設運営を担っている意識を持ち、全員が担当や役割を持ち、「全員運営」を心がけている。	学校との報告・連絡・相談体制をより一層強化する為に、定期的且つ積極的なコミュニケーションがとれるよう努めていく。 おたよりでの活動報告だけでなく、お迎え時等保護者が見られる場所に児童の写真等を掲示し、開かれた施設にするよう工夫を続けていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	保護者からの相談にいつでも応えられるよう受け入れ体制を整えている。苦情についてはすべて支援員全員に周知・情報共有し、可能な限り迅速に対応し信用回復に努めている。 入会希望者見学の際、保護者の希望を最優先として対応し、丁寧な説明を心がけている。新規採用支援員に対しては、施設の概要や一日の流れ・業務内容・児童の様子等細かく説明し、慣れるまでの間は全員でサポートしている。	この2年で築き上げてきた保護者との関係を更に深められるようお迎え時等のコミュニケーションを欠かさず、普段なかなか会えない保護者とも交流できる機会を設けられるよう取り組む。 地域との関わりを広げられるよう、積極的に地域行事に参加したり、ボランティアを受け入れる等受身ではなく自発的に動き、協力関係を築いていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	おたよりを毎月発行し行事カレンダーや保護者へのお願い事項等を記載。写真やコメントも掲載し、クラブでの児童の様子を知ってもらえるよう工夫している。各種行事も児童の要望を取り入れ、内容工夫に努めている。 アレルギーについては児童毎に対応表を作り、提供前のダブルチェックを徹底。提供時も必ず2人以上の支援員で確認を行い対応している。おやつメニューも工夫し、季節に応じたメニューやご当地おやつ等を取り入れている。	社会見学や演劇鑑賞等施設外での行事を増やし、集団での移動や縦割り班での行動を通して社会性・協調性を培う機会を設ける。 児童のニーズに応じて、好評のスポーツイベントやめんこ大会、工作等の内容を更に充実させ、人気があるものについては定期的実施していきたい。今後もアンケート等を通して児童の声を育成に更に活かしていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

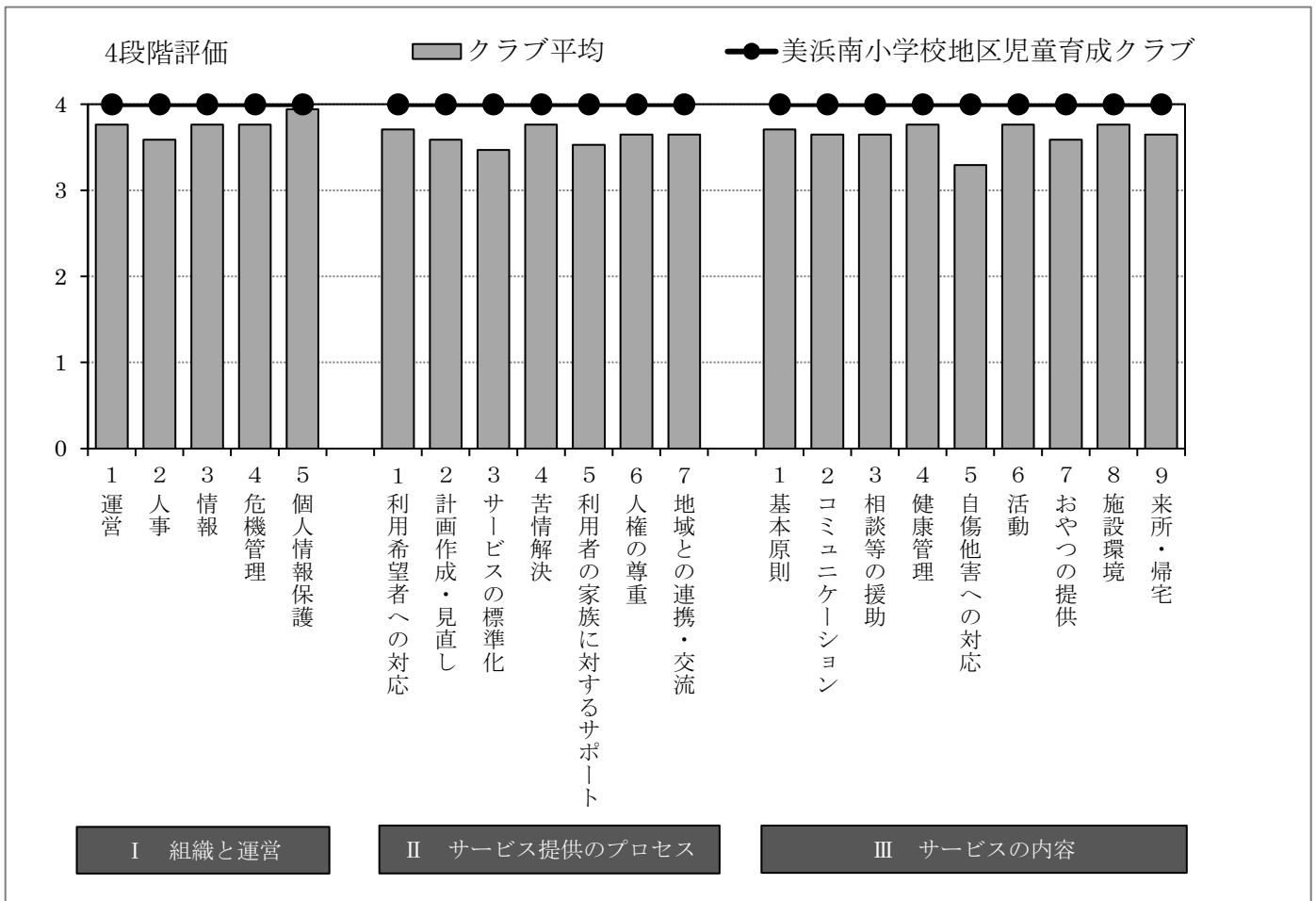
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



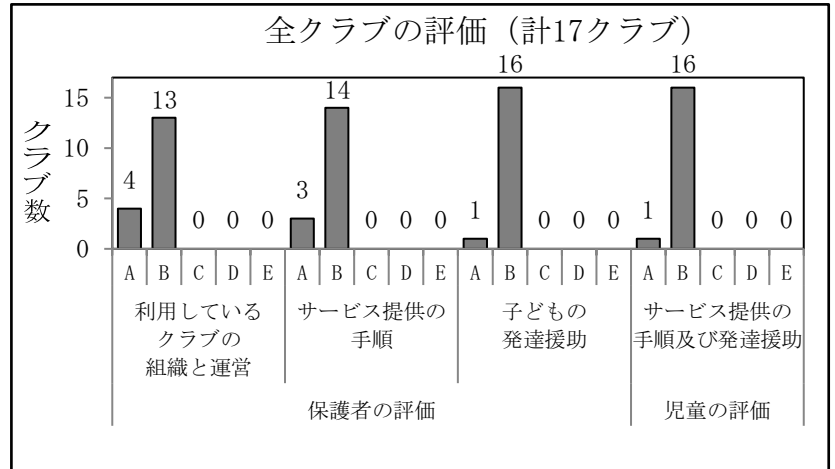
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	76.5%	0.0%	86.2%	0.5%		69.2%	0.0%	△7.2%
	② 支援員の専門的知識や技術	61.8%	8.8%	66.2%	2.7%		48.7%	2.6%	△13.0%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	76.5%	2.9%	85.0%	2.1%		82.1%	0.0%	▼5.6%
	④ クラブ内の清掃・整理	76.5%	5.9%	82.7%	1.2%		66.7%	2.6%	△9.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	79.4%	0.0%	86.1%	0.8%		79.5%	0.0%	▼0.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	44.1%	11.8%	76.3%	2.8%		64.1%	10.3%	▼20.0%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	88.2%	0.0%	89.7%	0.7%		76.9%	2.6%	△11.3%
	② 支援員同士の情報共有	67.6%	2.9%	71.5%	4.3%		69.2%	0.0%	▼1.6%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	61.8%	5.9%	71.1%	6.0%		61.5%	10.3%	△0.2%
	④ 支援員への相談のしやすさ	82.4%	2.9%	83.7%	2.9%		74.4%	0.0%	△8.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	76.5%	2.9%	83.0%	1.6%		69.2%	7.7%	△7.2%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	76.5%	0.0%	80.8%	1.1%		61.5%	5.1%	△14.9%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	61.8%	0.0%	80.6%	1.7%		61.5%	2.6%	△0.2%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	67.6%	5.9%	69.0%	5.4%		59.0%	7.7%	△8.7%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	58.8%	2.9%	70.6%	1.8%		51.3%	2.6%	△7.5%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.1%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	92.3%	2.6%	△4.8%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	88.2%	2.9%	88.0%	1.0%	↑	79.5%	0.0%	△8.7%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	76.5%	0.0%	82.8%	1.4%		79.5%	0.0%	▼3.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	58.8%	0.0%	61.9%	1.4%		51.3%	2.6%	△7.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	70.6%	5.9%	77.1%	2.3%		71.8%	0.0%	▼1.2%
	② へややといれのきもちよさ	61.8%	0.0%	73.6%	3.7%		59.0%	0.0%	△2.8%
	③ クラブのたのしさ	67.6%	2.9%	81.8%	2.3%		66.7%	5.1%	△1.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.7%	2.9%	65.7%	2.4%		59.0%	2.6%	△5.7%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	67.6%	2.9%	63.3%	3.7%	↑	48.7%	7.7%	△18.9%

評価結果

平成 29 年度

東小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		東小学校地区児童育成クラブ運営委員会							
クラブの所在地		浦安市猫実一丁目 11 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-350-4424	F A X	047-350-4424				
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地内／その他（分室）							
定員／現在の利用者数 （平成 29 年 12 月末現在）		定 員		198 人		利 用 者 数		159 人	
職員数 （平成 29 年 12 月末現在）	常勤	職員数	12 人	うち、男性		3 人	うち、女性		9 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人
	非常勤	職員数	13 人	うち、男性		1 人	うち、女性		12 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	2 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	大きな怪我に注意しながらも、児童が全力で遊びに取り組めるクラブであることを目標としています。異なる学年の児童が同じ時間を過ごすことが出来るのが育成クラブの良さなので、支援員も児童同士の関係を大切に、サポートするように心がけています。また、本室と分室が離れて設置されていますが、サービスに差が出ないように気を付けています。
------------------------------	--

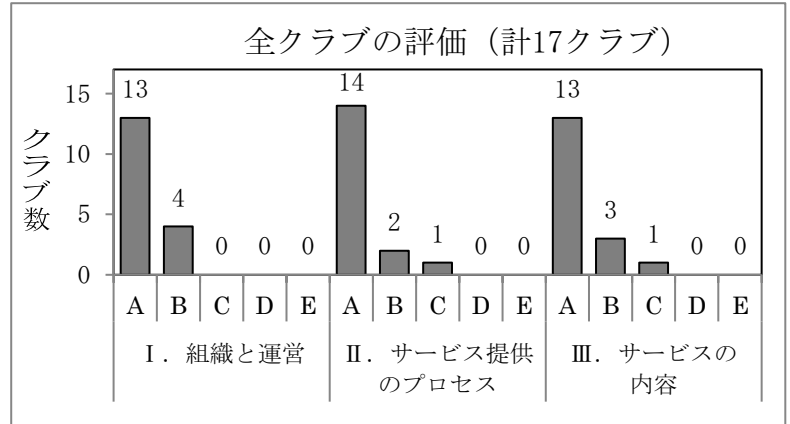
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	東小学校地区児童育成クラブでは、運営委員会を保護者が組織し運営を行っていることから、支援員への連絡や説明、また反対に支援員から運営委員会へ意見や提案がしやすい環境であると考えています。運営委員会が全員、働いている保護者で組織されているので、クラブに来て話をする、会議に出席するなど保護者としては大変な部分もありますが、保護者の意見がそのままクラブに反映される事はとても良い点かと思っています。	仕事が忙しく、運営になかなか参加できないという保護者の方は年々増えています。しかしながら、保護者の意見が直接反映されることは、他にはない良いところだと考えていますので、保護者の負担は最小限に、保護者同士の交流や保護者が企画・参加する行事などは可能な限りしていきたいと思っています。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	見学者は随時受け入れ、保護者への説明等も文書で行っています。新人の支援員には十分な研修をしているとは言い難いですが、毎日の始まりと終わりには反省会をして、日々成長できるようにしています。保護者からの苦情・相談は支援員・運営どちらも受け付けていて、検討がされたあと保護者に通知がいくようにしています。	新人に対する教育・研修については、今後十分な支援員数を確保した後、必要に応じて行っていきたいと考えています。 苦情や相談については、受付先の運営委員も保護者の方なので、支援員が受け付けることも多いです。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	児童の主体的な活動を第一と考え、それが可能な環境を作り、支援できるようにしています。遊びを通して児童同士、または支援員と児童で関るので、児童との心の距離は近いと感じています。 おやつは季節の行事に関係することが多いので、量や質と同様にその部分も大切にしています。	基本的にはクラブに来ている時間の多くが自由な時間ですが、宿題や自主学習を最も重視する保護者の方もいますので、児童一人一人が余裕を持って学習時間をとれるようにしていきたいと思っています。 時間帯によって部屋を用途によって使い分けています。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

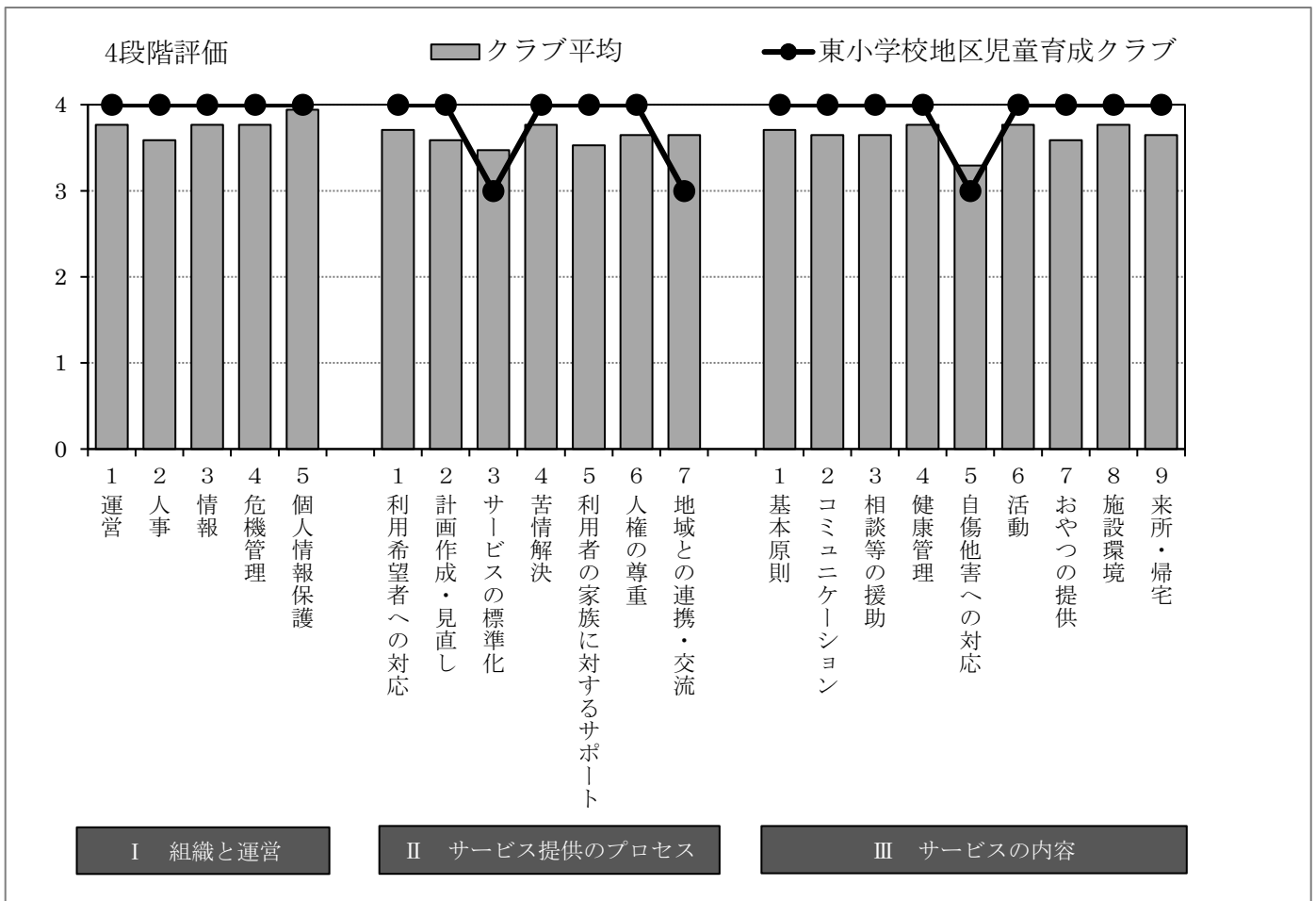
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



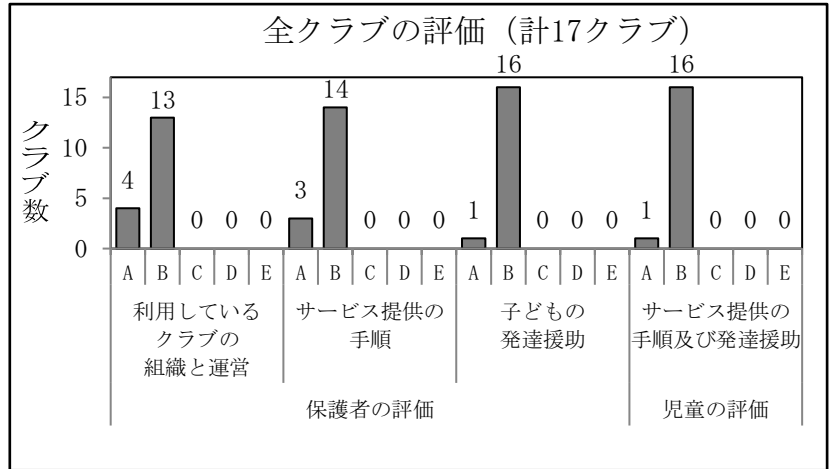
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	90.2%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	90.7%	0.0%	▼0.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	61.8%	2.9%	66.2%	2.7%		66.7%	2.8%	▼4.9%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	92.2%	2.9%	85.0%	2.1%	↑	95.4%	0.0%	▼3.2%
	④ クラブ内の清掃・整理	87.3%	2.0%	82.7%	1.2%	↑	83.3%	0.0%	△3.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	88.2%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	84.3%	0.9%	△4.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	74.5%	2.9%	76.3%	2.8%		75.9%	0.9%	▼1.4%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	93.1%	0.0%	89.7%	0.7%	↑	97.2%	0.0%	▼4.1%
	② 支援員同士の情報共有	62.7%	5.9%	71.5%	4.3%		79.6%	2.8%	▼16.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	75.5%	5.9%	71.1%	6.0%	↑	78.7%	6.5%	▼3.2%
	④ 支援員への相談のしやすさ	86.3%	2.0%	83.7%	2.9%	↑	92.6%	1.9%	▼6.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	83.3%	1.0%	83.0%	1.6%	↑	89.8%	0.9%	▼6.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	86.3%	0.0%	80.8%	1.1%	↑	88.9%	0.9%	▼2.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	85.3%	2.0%	80.6%	1.7%	↑	84.3%	0.9%	△1.0%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	72.5%	2.0%	69.0%	5.4%	↑	72.2%	0.9%	△0.3%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	74.5%	2.9%	70.6%	1.8%	↑	73.1%	2.8%	△1.4%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	99.0%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	98.1%	0.0%	△0.9%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	90.2%	0.0%	88.0%	1.0%	↑	90.7%	0.0%	▼0.5%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	88.2%	2.0%	82.8%	1.4%	↑	85.2%	0.9%	△3.1%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	62.7%	1.0%	61.9%	1.4%	↑	62.0%	0.9%	△0.7%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	74.5%	1.0%	77.1%	2.3%		85.2%	0.0%	▼10.7%
	② へややといれのきもちよさ	84.3%	1.0%	73.6%	3.7%	↑	83.3%	1.9%	△1.0%
	③ クラブのたのしさ	80.4%	2.0%	81.8%	2.3%		82.4%	1.9%	▼2.0%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	63.7%	1.0%	65.7%	2.4%		72.2%	3.7%	▼8.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	62.7%	5.9%	63.3%	3.7%		64.8%	3.7%	▼2.1%

評価結果

平成 29 年度

舞浜小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール								
事業者の名称		株式会社ベネッセスタイルケア						
クラブの所在地		浦安市舞浜二丁目1番1号						
クラブの連絡先		電 話	047-352-3615	F A X	047-352-3615			
当該クラブの運営開始日		平成 28 年 4 月 1 日						
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内						
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員	138 人		利用者数	136 人		
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	8 人	うち、男性	1 人	うち、女性	7 人	
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭
	非常勤	職員数	11 人	うち、男性	2 人	うち、女性	9 人	
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭

運営事業者のサービス提供方針

<p>サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<p>「よりよく生きる力」の基礎を育てる」 いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。 「子どもの学びと遊びのリズムを作る」ことをめざし、 子どもがクラブも含めた小学校生活が楽しいと思えるように、支援します。</p>
------------------------------	---

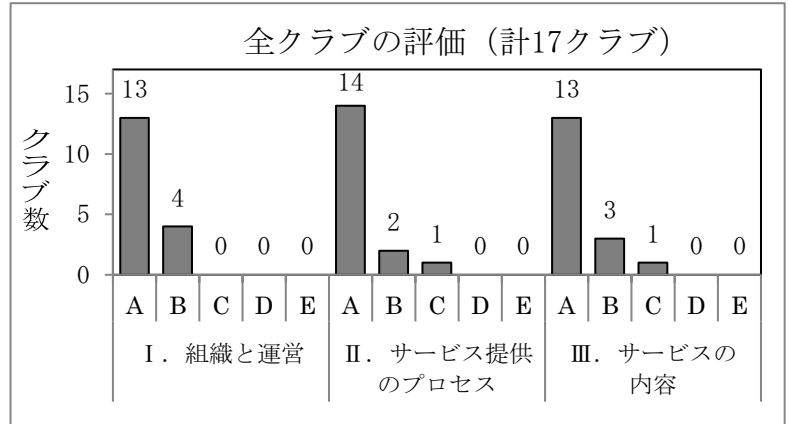
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>全職員に、保育、安全衛生、個人情報、コミュニケーションなどの研修を実施し、支援員・補助員のスキルアップを目標としている。現場の取り組みを本部職員がサポートしてくれるとともに、他拠点での保育研修、職員の主体性と他者への影響力を育てるためのプロジェクト活動(学び、環境、食育など)の実施により、より良い保育ができる組織作りに力を入れている。</p>	<p>組織的な職員の業務分担により、業務がスムーズに行われることにより事務作業、諸業務の時間削減、合理化を図り、その分保育の充実化(子どもとの信頼関係構築、子供の成長をサポートする丁寧な保育、記録の充実)を目指したい。また、今年度は常勤職員を保育をテーマにした拠点横断のプロジェクトに参加させ、職員の育成を強化しています。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>より良い保育サービスを提供するためには、一人ひとりの職員の成長が必要と考え、本部のサポート、研修等を通じて職員のレベルアップを図っています。また、入会前説明会、お便りの配布、育成クラブ内での掲示を通じて、保育内容の発信を図るとともに、保護者との関係性も重視しております。</p>	<p>学校との関係性は良好ではありますが、保護者や地域連携は課題だと認識しています。今年度は、保護者会で保育内容を相談する時間を設けたり、『舞浜カフェ』という保護者懇談会も実施し、保護者連携に力をいれ、保育内容の発信を強化しました。次年度以降は、舞浜公園ワークショップ参加を通じて、地域とのネットワークを作っていきたいと考えます。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子供一人一人の様子や問題を全職員で共有し、考え、サポートしている。子どもの主体性を大切に運営にあたり、子供に相談したり、子どもとどうしたらよいかを考えたり、子供たちのやりたい、したいをどう実現できるか子どもたちと一緒に考えたりすることで自分たちの生活する場という意識を持ち、子供一人一人が安心して、楽しく安全に生活できる居場所の提供。そのことが、保護者の安心した就労へのサービスにつながるという思いで今後もサービスを続けていきたい。子供の記録を重視することにより、保護者への対応、職員の保育の参考になっている。</p>	<p>子どもの様子を、保護者にレポートすることの必要性。昨年は、主に主任がお迎え時の談話等で可能なかぎりお伝えしていましたが、今年度は他の常勤職員の保護者コミュニケーションも強化しています。 もっと多くの子供たちの日々の何気ない生活や人間関係、成長を感じ取った瞬間をレポートし、日々の事象をきちんとお伝えし、子育てのサポートをすることが、保護者の理解と安心を確保すると考えています。今年度は、連絡帳の活用も強化しており、職員の子どもを観る目や、成長を感じ取る力の育成も図っています。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

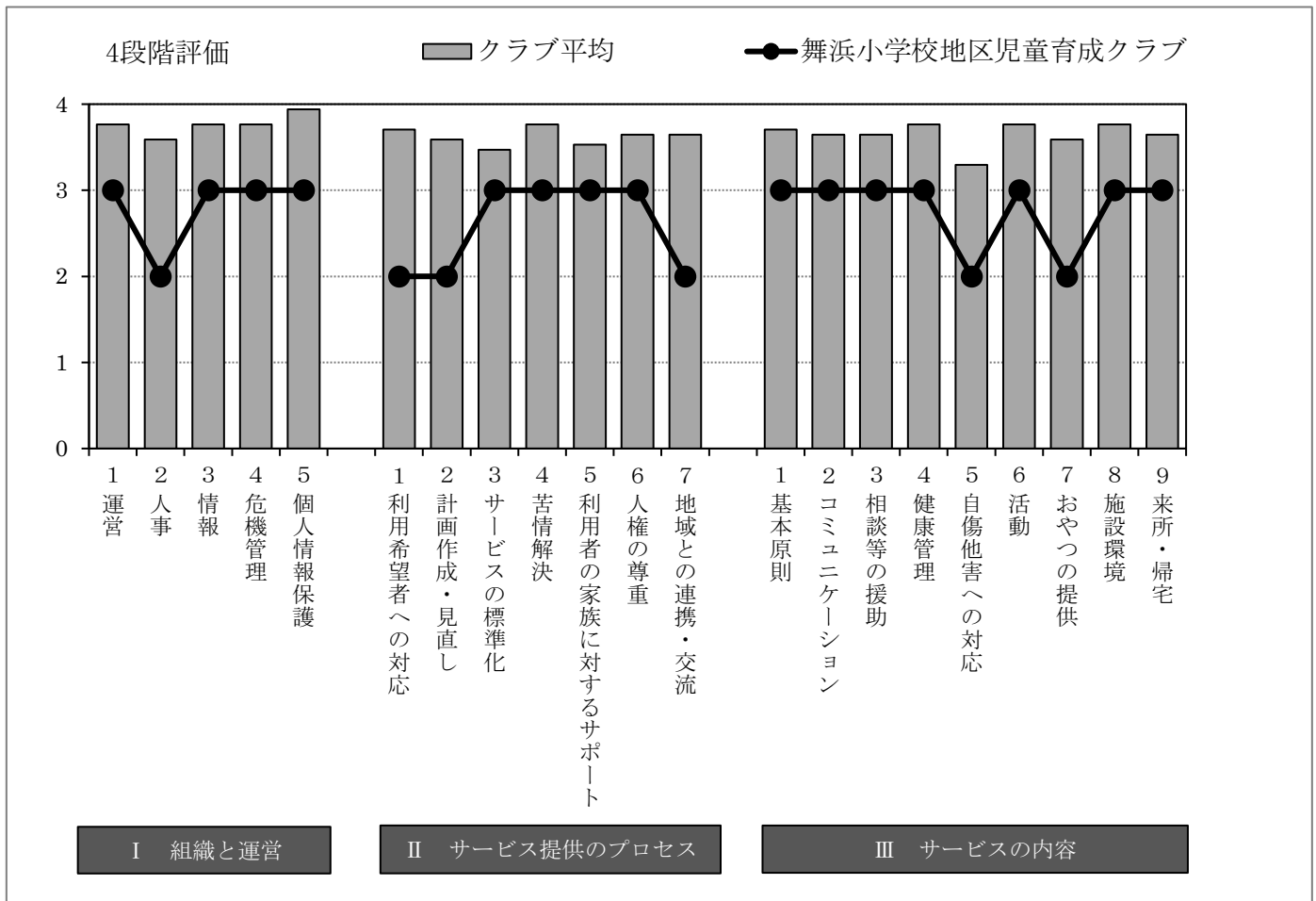
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	B (B)
II. サービス提供の プロセス	C (C)
III. サービスの内容	C (B)



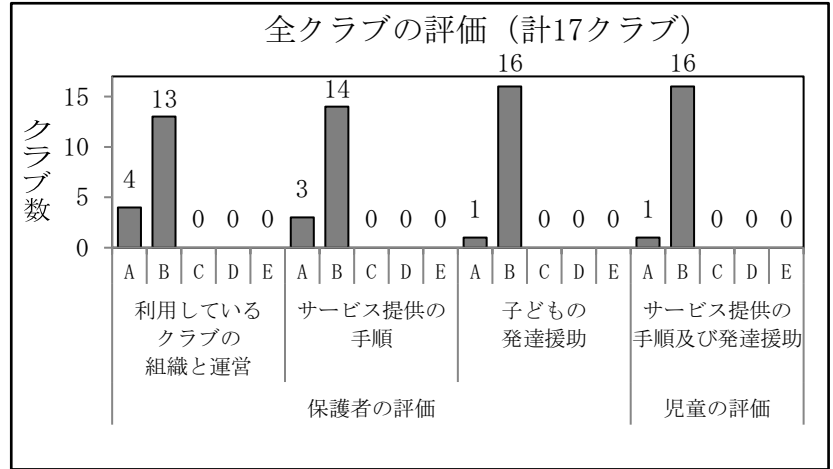
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	85.1%	0.0%	86.2%	0.5%		87.1%	0.0%	▼2.0%
	② 支援員の専門的知識や技術	63.2%	1.1%	66.2%	2.7%		65.9%	2.4%	▼2.7%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	71.3%	3.4%	85.0%	2.1%		75.3%	3.5%	▼4.0%
	④ クラブ内の清掃・整理	85.1%	0.0%	82.7%	1.2%	↑	84.7%	1.2%	△0.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	89.7%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	82.4%	2.4%	△7.3%
	⑥ 学校との連携や情報交換	73.6%	0.0%	76.3%	2.8%		71.8%	2.4%	△1.8%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	88.5%	1.1%	89.7%	0.7%		84.7%	1.2%	△3.8%
	② 支援員同士の情報共有	64.4%	3.4%	71.5%	4.3%		60.0%	3.5%	△4.4%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	71.3%	6.9%	71.1%	6.0%	↑	55.3%	4.7%	△16.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	79.3%	3.4%	83.7%	2.9%		75.3%	5.9%	△4.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	82.8%	1.1%	83.0%	1.6%		67.1%	4.7%	△15.7%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	78.2%	1.1%	80.8%	1.1%		63.5%	7.1%	△14.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	77.0%	3.4%	80.6%	1.7%		76.5%	0.0%	△0.5%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	62.1%	6.9%	69.0%	5.4%		63.5%	8.2%	▼1.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	65.5%	0.0%	70.6%	1.8%		77.6%	1.2%	▼12.1%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.6%	0.0%	96.6%	0.0%		88.2%	2.4%	△8.3%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	85.1%	1.1%	88.0%	1.0%		80.0%	1.2%	△5.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	81.6%	1.1%	82.8%	1.4%		80.0%	2.4%	△1.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	47.1%	1.1%	61.9%	1.4%		47.1%	0.0%	△0.1%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	71.3%	3.4%	77.1%	2.3%		75.3%	2.4%	▼4.0%
	② へややといれのきもちよさ	74.7%	5.7%	73.6%	3.7%	↑	75.3%	3.5%	▼0.6%
	③ クラブのたのしさ	82.8%	3.4%	81.8%	2.3%	↑	82.4%	1.2%	△0.4%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	57.5%	1.1%	65.7%	2.4%		57.6%	1.2%	▼0.2%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	62.1%	2.3%	63.3%	3.7%		64.7%	2.4%	▼2.6%

評価結果

平成 29 年度

美浜北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ							
クラブの所在地		浦安市美浜五丁目 12 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-6050	F A X	047-351-6050				
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		78 人		利 用 者 数		45 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	5 人	うち、男性		2 人	うち、女性		3 人
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭	1 人
	非常勤	職員数	6 人	うち、男性		2 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

<p>サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども 1 人ひとりの自主性、自発性、創造性を育てます。 ・子どもたち同士の話し合いや提案を大切に、実行できるようにサポートしています。 ・地域の中で子育てをするという視点を大切に、地域交流を積極的に行ないます。
------------------------------	---

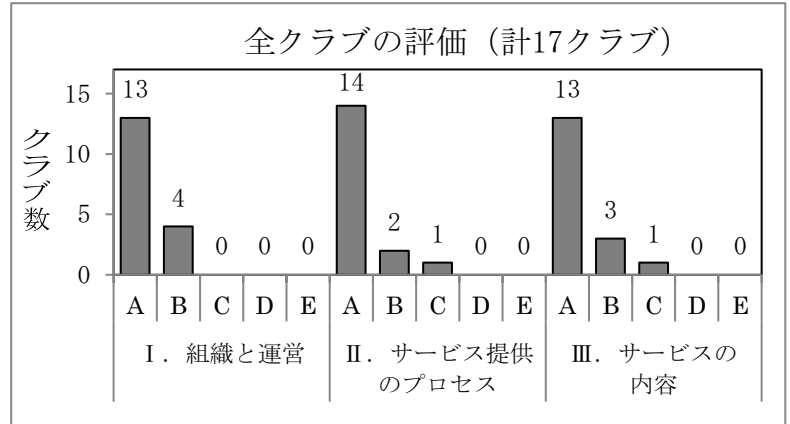
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>支援員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、保育に活かすようにしている。また、同事業者 3 クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに支援員同士情報交換を行っている。</p>	<p>支援員が保護者、学校、地域の連携をはかり一緒に子どもを育てていけるよう、ますます働きかけていく。 支援員研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。学校内にクラブがあるので、クラブ主催の行事などに先生を招待する等、実際に見学・参加の機会を設け、相互理解・連携に活かしたい。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>子どもを中心に、子どもが主役になれるような保育を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考え、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域との連携で子育てをしてもらうという視点から、近隣の公園、公民館、商業施設などを利用し、スクールカウンセラーとも情報共有し連携している。</p>	<p>お世話になっている自治会、近隣の幼保育園、中学校、ボランティア団体などの地域の方々、より関わりが深くできるようにしていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>クラブは第二の家庭と考え、子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。 おやつに関しては、特にアレルギー児童に対し全支援員の注意がいくようにミーティング等で意識付けをしている。</p>	<p>遊びや生活の中で、異学年、支援員が自然に関わりを持てるように工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる場の環境づくりをさらに強化していきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつの提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

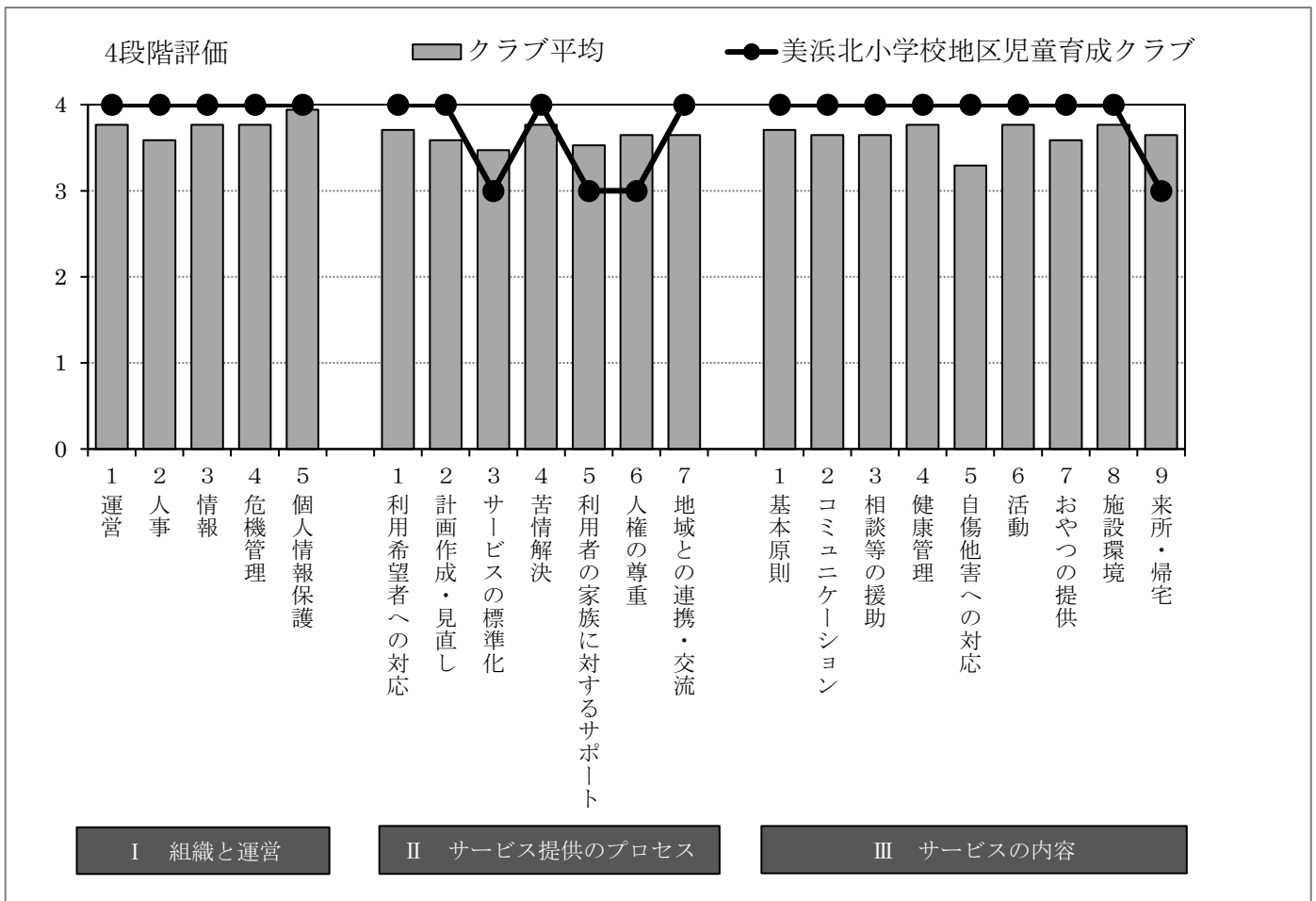
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (B)
III. サービスの内容	A (B)



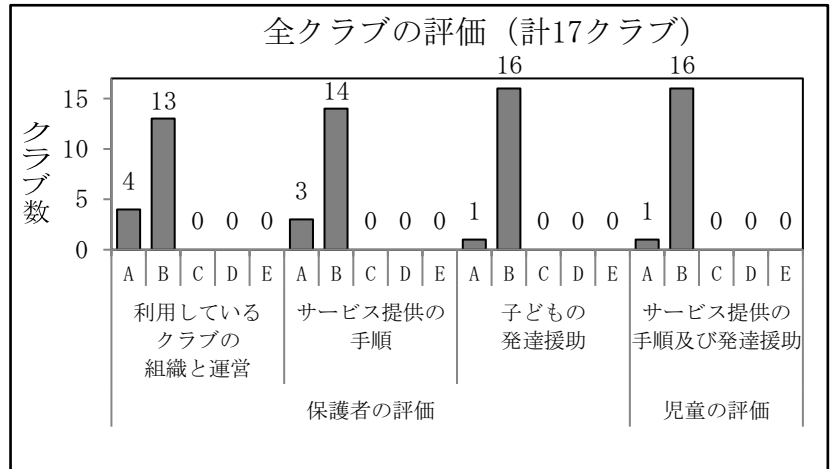
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (C)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	62.1%	3.4%	86.2%	0.5%		71.4%	8.6%	▼9.4%
	② 支援員の専門的知識や技術	44.8%	10.3%	66.2%	2.7%		45.7%	17.1%	▼0.9%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	82.8%	3.4%	85.0%	2.1%		77.1%	5.7%	△5.6%
	④ クラブ内の清掃・整理	86.2%	0.0%	82.7%	1.2%	↑	74.3%	2.9%	△11.9%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	69.0%	0.0%	86.1%	0.8%		60.0%	2.9%	△9.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	62.1%	10.3%	76.3%	2.8%		51.4%	25.7%	△10.6%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	69.0%	3.4%	89.7%	0.7%		71.4%	8.6%	▼2.5%
	② 支援員同士の情報共有	58.6%	3.4%	71.5%	4.3%		48.6%	17.1%	△10.0%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	69.0%	6.9%	71.1%	6.0%		60.0%	11.4%	△9.0%
	④ 支援員への相談のしやすさ	79.3%	13.8%	83.7%	2.9%		74.3%	5.7%	△5.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	65.5%	3.4%	83.0%	1.6%		62.9%	11.4%	△2.7%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	79.3%	0.0%	80.8%	1.1%		74.3%	2.9%	△5.0%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	79.3%	6.9%	80.6%	1.7%		54.3%	5.7%	△25.0%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	58.6%	17.2%	69.0%	5.4%		51.4%	14.3%	△7.2%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	69.0%	3.4%	70.6%	1.8%		57.1%	11.4%	△11.8%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	93.1%	0.0%	96.6%	0.0%		91.4%	2.9%	△1.7%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	86.2%	0.0%	88.0%	1.0%		80.0%	2.9%	△6.2%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	69.0%	6.9%	82.8%	1.4%		45.7%	8.6%	△23.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	51.7%	10.3%	61.9%	1.4%		34.3%	11.4%	△17.4%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	58.6%	6.9%	77.1%	2.3%		51.4%	2.9%	△7.2%
	② へややといれのきもちよさ	58.6%	6.9%	73.6%	3.7%		65.7%	5.7%	▼7.1%
	③ クラブのたのしさ	75.9%	13.8%	81.8%	2.3%		57.1%	5.7%	△18.7%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	62.1%	10.3%	65.7%	2.4%		57.1%	11.4%	△4.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	55.2%	10.3%	63.3%	3.7%		54.3%	17.1%	△0.9%

評価結果

平成 29 年度

日の出小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		社会福祉法人 わかみや福祉会							
クラブの所在地		浦安市日の出二丁目 11 番 10 号							
クラブの連絡先		電 話	047-380-0666	F A X	047-380-0666				
当該クラブの運営開始日		平成 23 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		138 人		利 用 者 数		125 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性		4 人	うち、女性		0 人
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	1 人
	非常勤	職員数	7 人	うち、男性		2 人	うち、女性		5 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	0 人

運営事業者のサービス提供方針

<p>サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が協力をして児童によりよい環境を作る。 ・保護者が安心して働くことが出来る様に支援の充実を目指す。 ・子育て機関としての役割を全職員が自覚し、地域に開かれた施設作りを目指す。
------------------------------	--

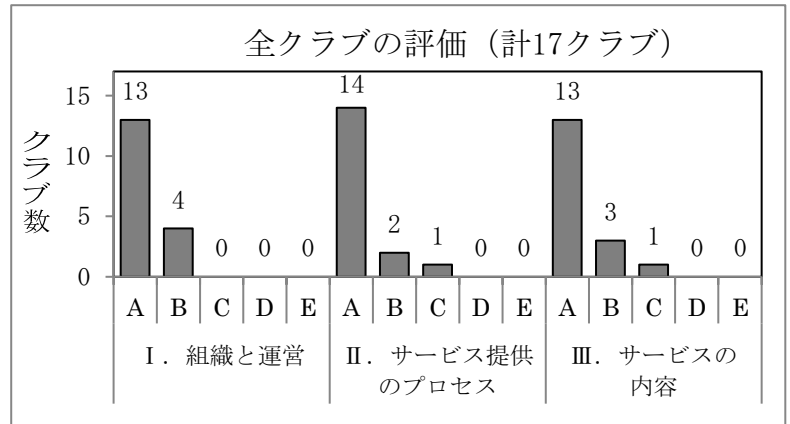
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な決定事項はお便り、安心・安全メール、保護者会を通してきちんと伝えている。 ・職員間の定期的な会議を通して情報共有をきちんと行い、チームとして様々な改善点に取り組んでいる。 ・クロスロードなど新しい避難訓練を積極的に取り入れて実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者と保護者に確実に伝達事項が伝わるようにお便りや保護者会の改善を図っていく。 ・災害時や緊急時の様々な場面を想定した避難訓練を実施していき、近隣の方に協力をして頂き、津波や J アラートの実践的な訓練をしていく。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者には随時見学や説明を行っている。 ・利用者や保護者の不安や悩みを受け止めて支援員全員でサポートしている。 ・他学童クラブ、近隣の保育園との交流、老人ホームとの交流を積極的に実施して子ども達の心を育てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成したマニュアルを定期的に見直し、内容を更新していく。 ・地域に密着した施設作りを目指して、近隣公園、小学校校庭のごみ拾いや公民館やわくわく広場との交流を今まで以上に行っていく。 ・子どもの環境作りは決して妥協せず、に最善を尽くしていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の得意分野を活かし、子ども達に様々な遊びを提供している。 ・子ども達が主体となり、話し合うクラス会議を設けている。 ・気になる児童や支援児は小学校の SLC や担任との連携を密にし、サポートしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も手作りおやつや季節の行事、クラス活動を通して子ども達に温かい支援を提供していく。 ・子ども一人ひとりの思いを大切に、かつ保護者の困り感にも寄り添い、包括的に支援していく。小学校との情報共有をより強化して、多くの大人が関わり子ども達により良い支援をしていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

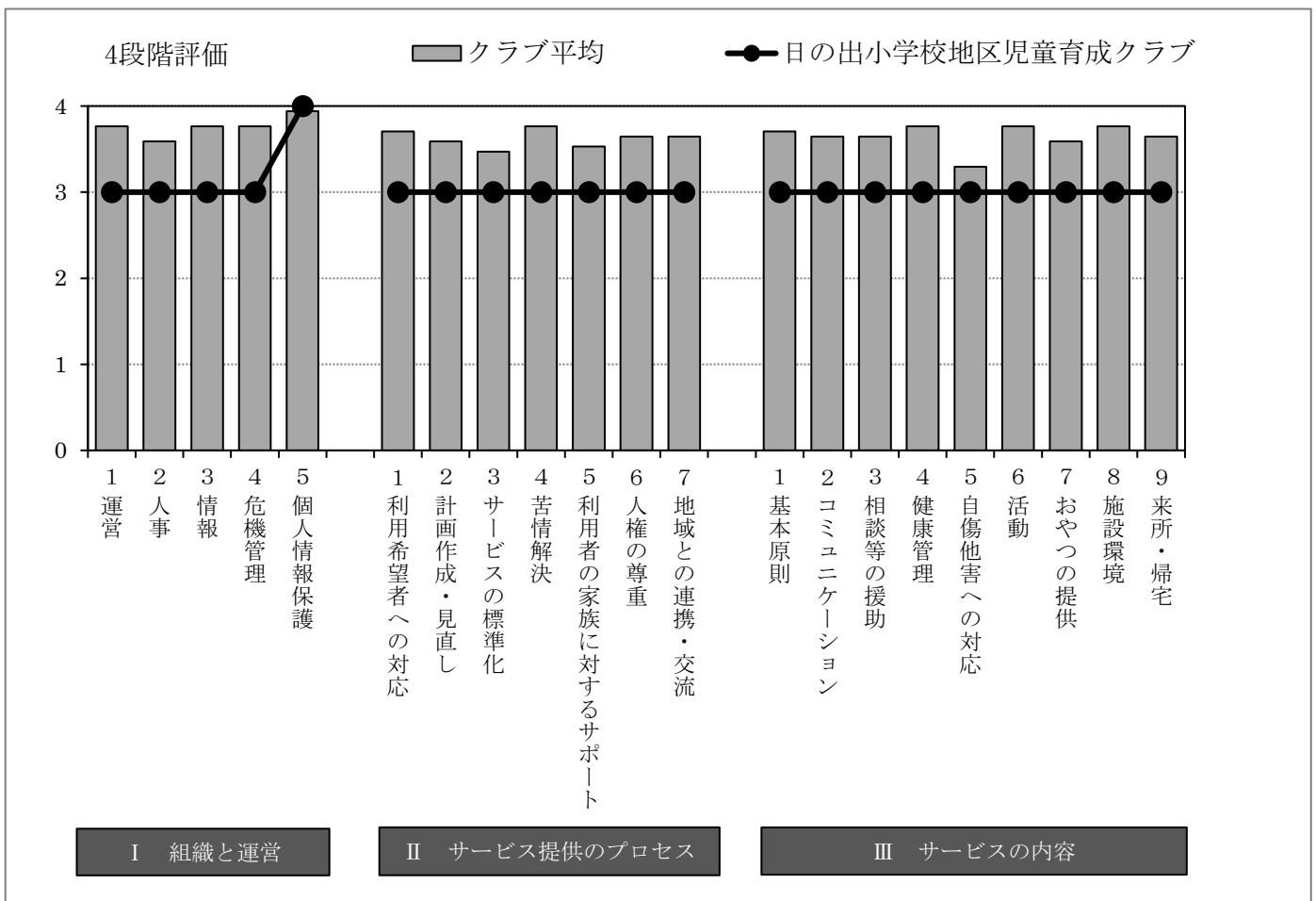
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供の プロセス	B (A)
III. サービスの内容	B (B)



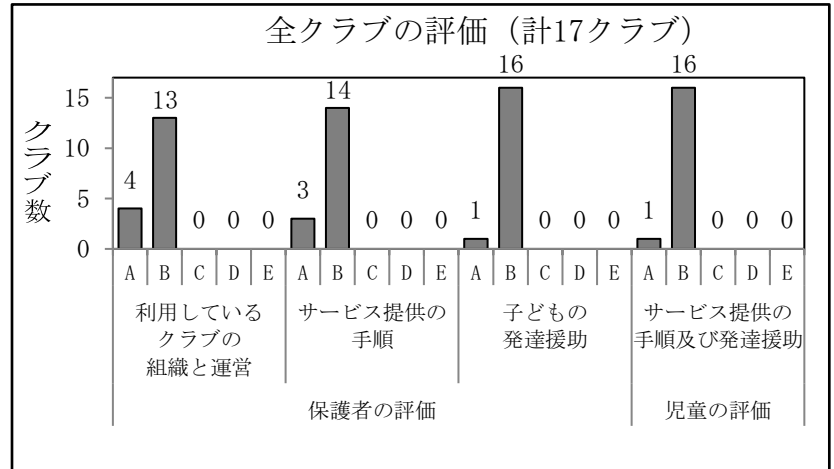
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	85.5%	0.0%	86.2%	0.5%		91.2%	0.0%	▼5.7%
	② 支援員の専門的知識や技術	73.9%	0.0%	66.2%	2.7%	↑	70.6%	0.0%	△3.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	66.7%	1.4%	85.0%	2.1%		85.3%	1.5%	▼18.6%
	④ クラブ内の清掃・整理	85.5%	1.4%	82.7%	1.2%	↑	91.2%	0.0%	▼5.7%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	89.9%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	89.7%	0.0%	△0.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	79.7%	2.9%	76.3%	2.8%	↑	66.2%	1.5%	△13.5%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	92.8%	0.0%	89.7%	0.7%	↑	94.1%	0.0%	▼1.4%
	② 支援員同士の情報共有	62.3%	2.9%	71.5%	4.3%		76.5%	2.9%	▼14.2%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	56.5%	10.1%	71.1%	6.0%		64.7%	5.9%	▼8.2%
	④ 支援員への相談のしやすさ	82.6%	2.9%	83.7%	2.9%		91.2%	2.9%	▼8.6%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	81.2%	0.0%	83.0%	1.6%		94.1%	1.5%	▼13.0%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	89.9%	0.0%	80.8%	1.1%	↑	95.6%	0.0%	▼5.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	82.6%	1.4%	80.6%	1.7%	↑	82.4%	0.0%	△0.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	60.9%	4.3%	69.0%	5.4%		76.5%	1.5%	▼15.6%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	62.3%	0.0%	70.6%	1.8%		76.5%	1.5%	▼14.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.1%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	98.5%	0.0%	▼1.4%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	88.4%	0.0%	88.0%	1.0%	↑	82.4%	2.9%	△6.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	79.7%	0.0%	82.8%	1.4%		82.4%	0.0%	▼2.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	53.6%	1.4%	61.9%	1.4%		48.5%	0.0%	△5.1%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	82.6%	0.0%	77.1%	2.3%	↑	77.9%	0.0%	△4.7%
	② へややといれのきもちよさ	65.2%	8.7%	73.6%	3.7%		72.1%	2.9%	▼6.8%
	③ クラブのたのしさ	78.3%	0.0%	81.8%	2.3%		73.5%	1.5%	△4.7%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	62.3%	2.9%	65.7%	2.4%		67.6%	2.9%	▼5.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	58.0%	0.0%	63.3%	3.7%		63.2%	0.0%	▼5.3%

評価結果

平成 29 年度

明海小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ							
クラブの所在地		浦安市明海二丁目 13 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-305-0220	F A X	047-305-0220				
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		78 人		利 用 者 数		77 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常 勤	職員数	3 人	うち、男性		1 人	うち、女性		2 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	3 人
	非常勤	職員数	4 人	うち、男性		1 人	うち、女性		3 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

<p>サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども 1 人ひとりの自主性、自発性、創造性を育てます。 ・子どもたち同士の話し合いや提案を大切に、実行できるようにサポートしています。 ・地域の中で子育てをするという視点を大切に、地域交流を積極的に行います。
------------------------------	--

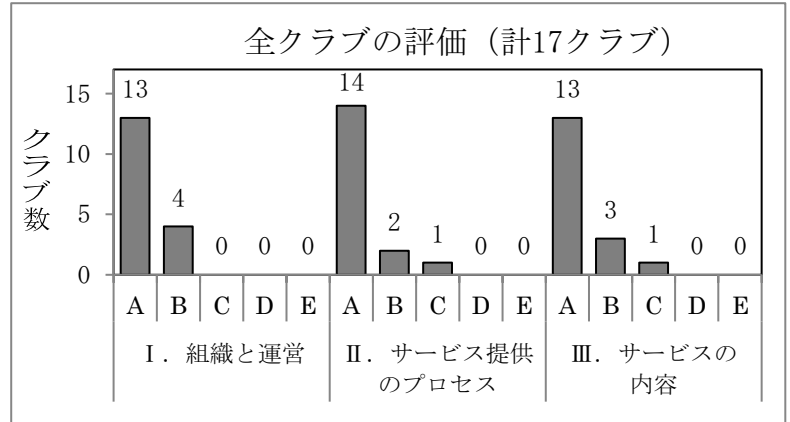
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>支援員一人ひとりが経営者として、運営に責任を持っている。毎日のミーティングや毎月の会議において話し合いや情報の共有を頻繁に行い、支援に活かすようにしている。</p> <p>また、同事業者 3 クラブが連携してマニュアル作成を行うことで、運営体制を整えている。それと共に、ほぼ毎月合同で研修会を行い、学びを深めるとともに支援員同士で情報交換を行っている。</p>	<p>支援員が保護者、学校、地域の連携をはかり一緒に子どもを育てていけるようますます働きかけていく。</p> <p>支援員研修の内容を充実することで、継続して働きやすい環境を整えていきたい。</p> <p>利用者が意見を出したり相談したりしやすくなるようなシステムを作っている。 (寄り道カフェ)</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>子どもを中心に、子どもが主役になれるような支援を目指している。自分たちで生活や遊びの決まりを考えたり、行事においては、実行委員を立て企画するところから子どもが参加できるようにしてきた。運営においては、地域で子育てをするという視点を大切にしており、公民館事業に参加したり、行事の際には幼保育園、あけみ遊び広場、郵便局や小学校にも声かけをし、連携をとりあった。また、小学校とは、緊急時対応や子どもの様子の共有について、日頃から連携をしている。保護者が安心して仕事ができるように応援している。</p>	<p>継続してお世話になっている自治会の方、近隣の幼保育園、地域の達人と、さらに関わり合いが持てるようにしていきたい。そのことによって、子ども自身が地域の方々に見守られながら大切に育てられているという実感を持てるようにしたい。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども達にとって安心できる居場所になるようにしている。季節や伝統行事を大切にしながら、子ども達と共に自主性、自発性、創造性を育てるような行事を企画、実行している。</p> <p>おやつに関しては、スナック菓子ではなく、手作りで安心して食べられるものを提供している。</p>	<p>遊びや生活の中で、異学年、支援児が自然に関わりが持てるように、工夫していきたい。子ども達が安全に過ごせる環境づくりをしていきたい。行事においては、今年度以上に子どもの参加や活躍の場を増やしていきたい。興味・関心に合うレベルや内容を一緒に選び、実践を積み重ねることで、保護者と共に子どもの成長を喜び合えるようになりたい。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつの提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

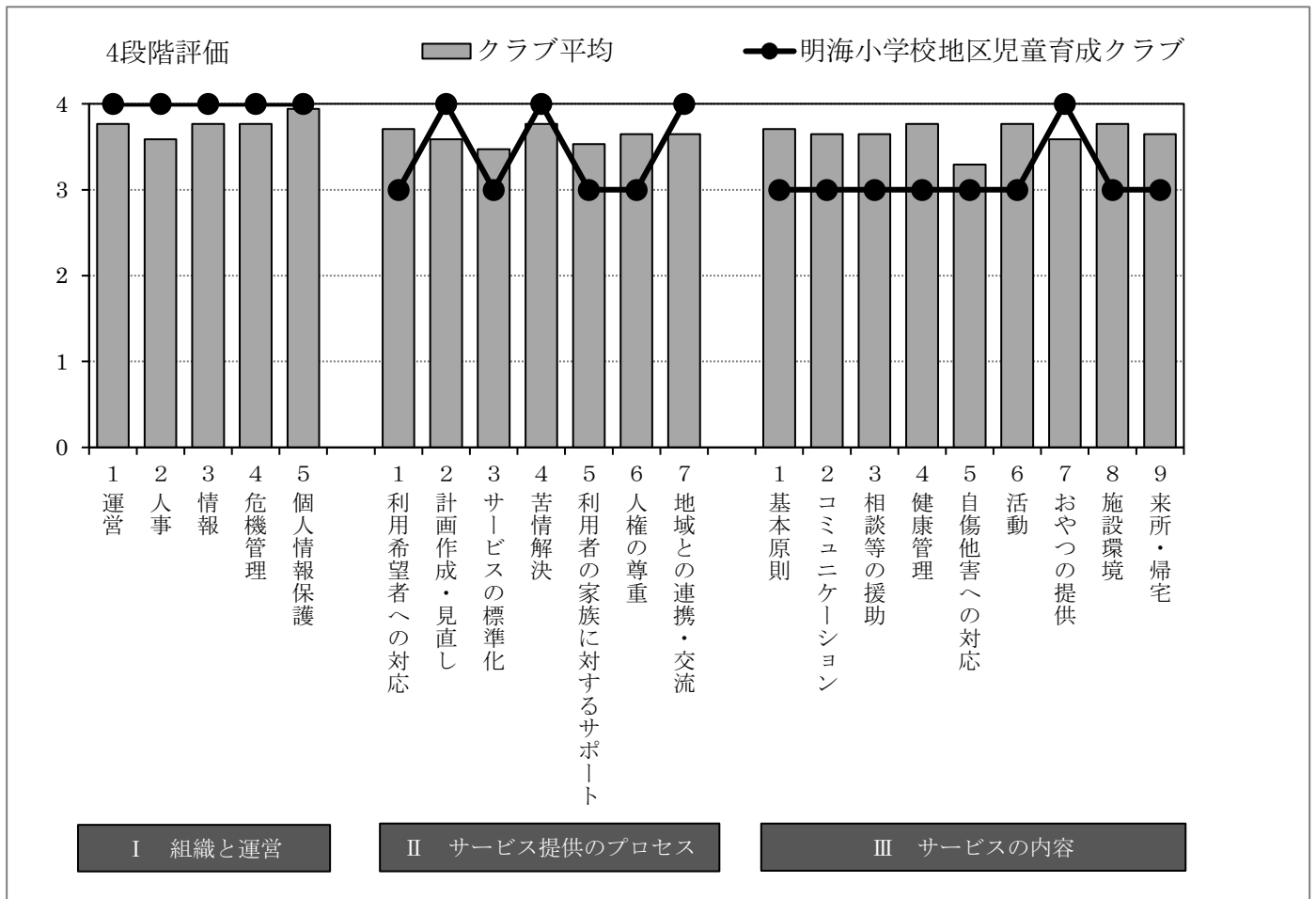
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	B (B)



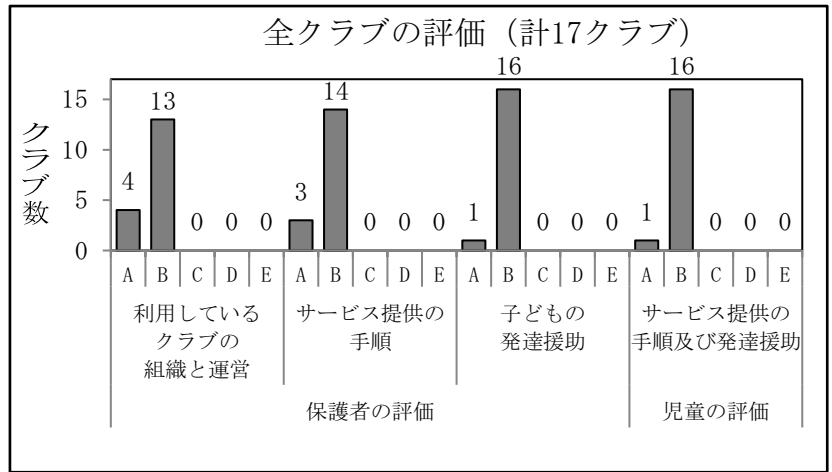
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (B)
	サービス提供の手順について	A (A)
	子どもの発達援助について	A (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	A (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	93.3%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	94.9%	0.0%	▼1.5%
	② 支援員の専門的知識や技術	93.3%	0.0%	66.2%	2.7%	↑	87.2%	0.0%	△6.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	91.1%	0.0%	85.0%	2.1%	↑	97.4%	0.0%	▼6.3%
	④ クラブ内の清掃・整理	82.2%	0.0%	82.7%	1.2%		92.3%	0.0%	▼10.1%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	91.1%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	94.9%	0.0%	▼3.8%
	⑥ 学校との連携や情報交換	82.2%	0.0%	76.3%	2.8%	↑	74.4%	0.0%	△7.9%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	97.8%	0.0%	89.7%	0.7%	↑	97.4%	0.0%	△0.3%
	② 支援員同士の情報共有	93.3%	0.0%	71.5%	4.3%	↑	89.7%	0.0%	△3.6%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	91.1%	0.0%	71.1%	6.0%	↑	84.6%	0.0%	△6.5%
	④ 支援員への相談のしやすさ	100.0%	0.0%	83.7%	2.9%	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	97.8%	0.0%	83.0%	1.6%	↑	100.0%	0.0%	▼2.2%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	97.8%	0.0%	80.8%	1.1%	↑	100.0%	0.0%	▼2.2%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	100.0%	0.0%	80.6%	1.7%	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	88.9%	0.0%	69.0%	5.4%	↑	94.9%	0.0%	▼6.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	93.3%	0.0%	70.6%	1.8%	↑	82.1%	0.0%	△11.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	100.0%	0.0%	88.0%	1.0%	↑	92.3%	0.0%	△7.7%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	100.0%	0.0%	82.8%	1.4%	↑	97.4%	0.0%	△2.6%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	75.6%	0.0%	61.9%	1.4%	↑	84.6%	0.0%	▼9.1%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	91.1%	0.0%	77.1%	2.3%	↑	87.2%	0.0%	△3.9%
	② へややといれのきもちよさ	77.8%	2.2%	73.6%	3.7%	↑	71.8%	0.0%	△6.0%
	③ クラブのたのしさ	95.6%	0.0%	81.8%	2.3%	↑	82.1%	0.0%	△13.5%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	86.7%	0.0%	65.7%	2.4%	↑	87.2%	0.0%	▼0.5%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	97.8%	0.0%	63.3%	3.7%	↑	97.4%	0.0%	△0.3%

評価結果

平成 29 年度

高洲小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		株式会社日本デイケアセンター							
クラブの所在地		浦安市高洲四丁目 2 番 8 号							
クラブの連絡先		電 話	047-351-1015	F A X	047-351-1015				
当該クラブの運営開始日		平成 15 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地外							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		170 人		利 用 者 数		175 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	9 人	うち、男性		2 人	うち、女性		7 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	1 人	幼稚園以 外の教諭	2 人
	非常勤	職員数	12 人	うち、男性		1 人	うち、女性		11 人
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園 教諭	1 人	幼稚園以 外の教諭	2 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが毎日笑顔で楽しく、安心安全に過ごせるような学童になるように努めている。 保護者の方々が安心してお仕事ができるように、一緒に子育てをしていきたいと職員全員で意思統一している。 子ども自身が、学童の中で人との関わりや様々な体験を通じて「相手を思いやる気持ち」「人を大切にできる心」を育てられるよう、職員全員が同じ方向を向き保育に取り組んでいる。
-----------------------	--

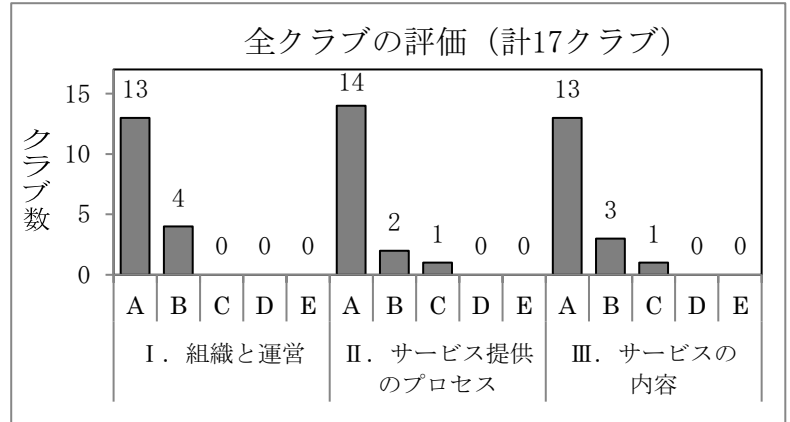
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	どんなことでもミーティングで報告相談し職員間で情報を共有している。市や学校とも情報のやり取りを怠らない。職員同士が話しやすい環境になっている。子どもたちが安心して帰ってこられる場所作り全員で取り組んでいる。	職員同士の引き継ぎミスが発生しないように、職員一人一人が気をつけていく。学校との強い連携をさらにおこなっていききたい。以前確認した内容も、定期的に再確認の機会を作っていきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	保護者とのコミュニケーションを一番大切にしている、何気ない会話から情報を吸収するようにしている。保護者にとっても楽しくお迎えに来れる、そんな場所にと心がけている。保護者からの要望や子どもの変化など報告がきちんと行っている。	新人職員の教育を丁寧に行えるよう努力していく。子どもたちに対し、全職員が同じ気持ちで保育を行えるように研修を多く取り入れたい。苦情や相談などに柔軟に対応はしているが、一人一人が対応の仕方を熟知していないと困る部分がある為、マニュアル化をしていきたい。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	子ども達の「やりたい！」を大切にしています。子どもと同じ目線で同じ気持ちで寄り添い、一緒に楽しむことも大切にしています。子どもの安全安心を第一に、楽しく過ごせるよう職員全員で取り組んでいる。	子どもの「やりたい！」も尊重するが、人数が多いなりの工夫も取り入れていきたい。子どもが自らかたづけようとするような収納の工夫を行いたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

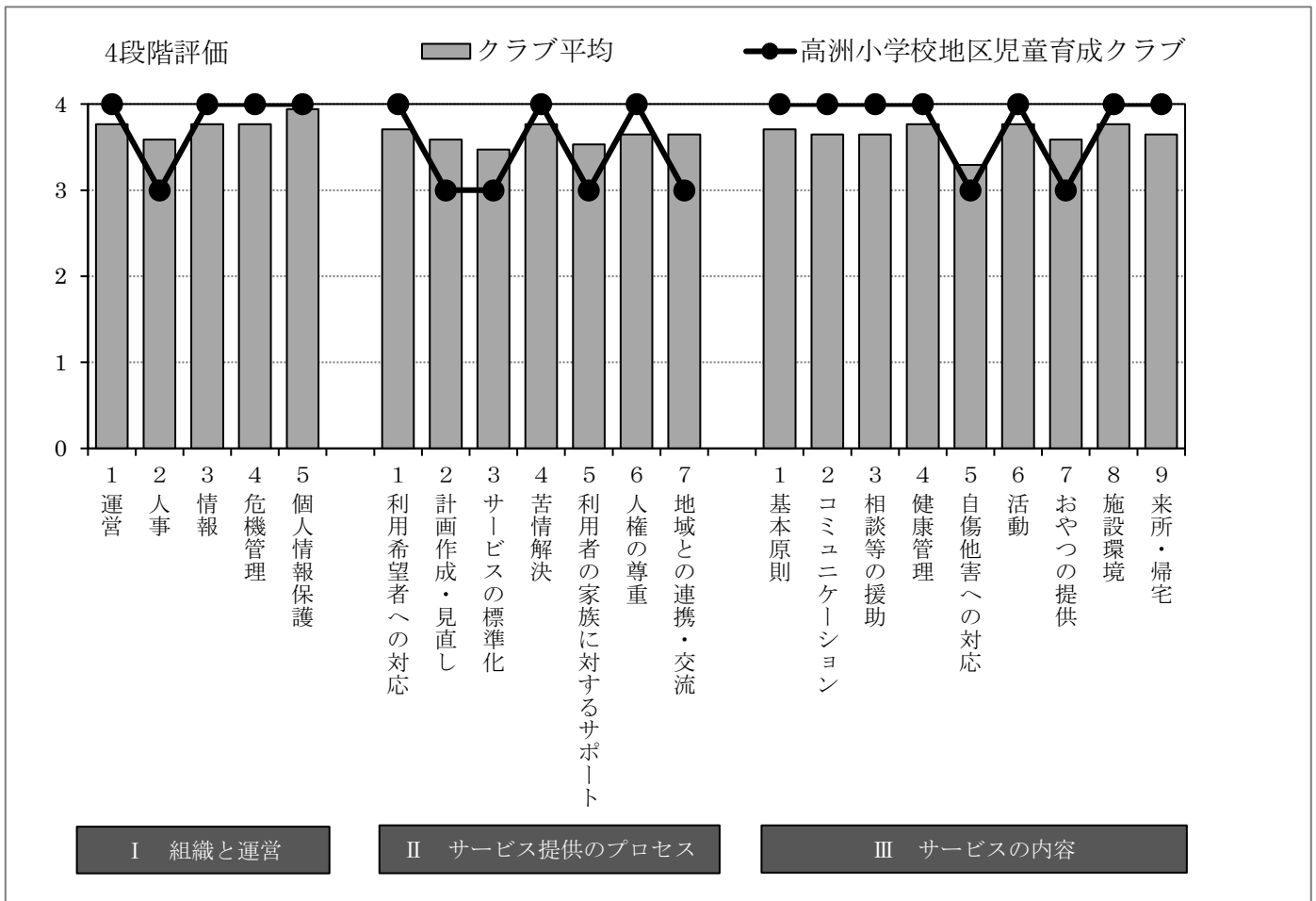
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



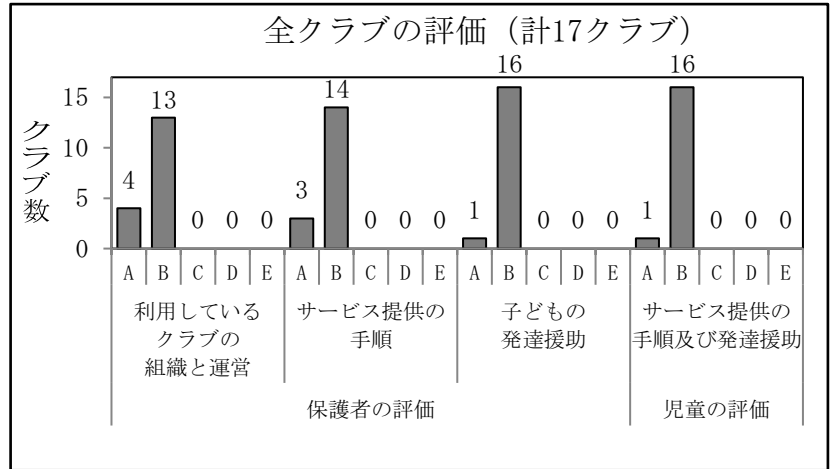
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	83.3%	1.2%	86.2%	0.5%		84.4%	0.0%	▼1.0%
	② 支援員の専門的知識や技術	67.9%	4.8%	66.2%	2.7%	↑	64.6%	1.0%	△3.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	90.5%	1.2%	85.0%	2.1%	↑	85.4%	0.0%	△5.1%
	④ クラブ内の清掃・整理	79.8%	3.6%	82.7%	1.2%		82.3%	0.0%	▼2.5%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	88.1%	1.2%	86.1%	0.8%	↑	87.5%	0.0%	△0.6%
	⑥ 学校との連携や情報交換	83.3%	3.6%	76.3%	2.8%	↑	84.4%	3.1%	▼1.0%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	85.7%	1.2%	89.7%	0.7%		91.7%	0.0%	▼6.0%
	② 支援員同士の情報共有	63.1%	2.4%	71.5%	4.3%		74.0%	2.1%	▼10.9%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	78.6%	1.2%	71.1%	6.0%	↑	80.2%	3.1%	▼1.6%
	④ 支援員への相談のしやすさ	82.1%	3.6%	83.7%	2.9%		85.4%	1.0%	▼3.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	82.1%	1.2%	83.0%	1.6%		88.5%	1.0%	▼6.4%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	81.0%	0.0%	80.8%	1.1%	↑	82.3%	1.0%	▼1.3%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	76.2%	2.4%	80.6%	1.7%		87.5%	1.0%	▼11.3%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	72.6%	3.6%	69.0%	5.4%	↑	79.2%	4.2%	▼6.5%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	72.6%	2.4%	70.6%	1.8%	↑	78.1%	0.0%	▼5.5%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	96.4%	0.0%	96.6%	0.0%		95.8%	0.0%	△0.6%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	85.7%	1.2%	88.0%	1.0%		88.5%	1.0%	▼2.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	78.6%	3.6%	82.8%	1.4%		88.5%	0.0%	▼10.0%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	79.8%	2.4%	61.9%	1.4%	↑	74.0%	1.0%	△5.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	70.2%	2.4%	77.1%	2.3%		82.3%	0.0%	▼12.1%
	② へややといれのきもちよさ	73.8%	6.0%	73.6%	3.7%	↑	74.0%	3.1%	▼0.1%
	③ クラブのたのしさ	78.6%	0.0%	81.8%	2.3%		84.4%	0.0%	▼5.8%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	67.9%	6.0%	65.7%	2.4%	↑	63.5%	3.1%	△4.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	56.0%	7.1%	63.3%	3.7%		67.7%	1.0%	▼11.8%

評価結果

平成 29 年度

日の出南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		ライクアカデミー株式会社							
クラブの所在地		浦安市日の出五丁目 4 番 3 号							
クラブの連絡先		電 話	047-305-1345	F A X	047-305-1345				
当該クラブの運営開始日		平成 24 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		110 人		利 用 者 数		118 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性		2 人	うち、女性		2 人
		有資格者数		保育士	3 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	2 人
	非常勤	職員数	17 人	うち、男性		4 人	うち、女性		13 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	1. あたかな環境の中で、一人ひとりの心に寄り添い、子どもにとって、ありのままの姿を何のためらいもなく出せる場所であること。 2. 自己肯定感を育む場所であること。 上記 2 点を常に大切にしています。保護者の方々には信頼してお子さんを預けていただけるように支援員一人ひとりが自覚と責任を持って、施設運営に努めております。環境整備を基本とした安全管理を保護者の安心につなげます。
------------------------------	---

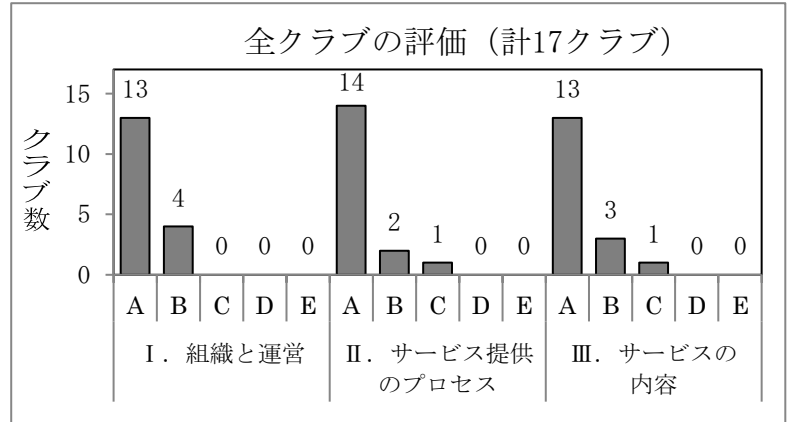
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>放課後児童クラブの運営指針を基に、利用者一人ひとりの顔を思い浮かべ、寄り添った支援を行うよう、支援員の情報共有や研修などを行っている。全支援員が日の出南の目指す姿をイメージし、当事者意識を持って臨めるよう、毎日、目標の読み合わせを行っている。</p>	<p>来年度の研修は、経験年数に応じた研修内容を充実させることで、より深く児童育成について理解できる内容を準備中。現在おこなっている「ひやりはっと」の記録の蓄積や、災害時の避難方法の最新情報について学ぶなど、リスクマネジメントの強化を図っていく。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>保護者からの質問や提案については、利用者目線で検討し、より良い支援につなげている。子どもの発達に応じた年間活動計画を立て、さらに、その時々が必要と思われる支援を組みこんでいる。 そのために 1 人 1 人の観察を丁寧に 行い情報共有を毎日行っている。</p>	<p>地域とのかかわりを増やすことが課題。 行事では近隣の企業などに協力を頂いているが、地域の方々との継続した活動を検討している。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子どもの人格や意志はもっとも尊重されるべきという考えをもち、子どもが成長するうえで抱える様々な困難について、毎月 1 回巡回に来る臨床心理による観察や支援員の情報を下に、全支援員がその子にとって必要としている支援を共通理解し、チームとして支援をする体制をとっている。</p>	<p>子どもが使うおもちゃや本、工作の材料など、子ども達が使いやすい、片付けやすい配置の工夫を行い、子ども達自ら整理整頓が楽しく身に付く環境づくりをさらに深めていく。人的物質の両面の環境が子どもの成長に欠かせないものという認識を強化していく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

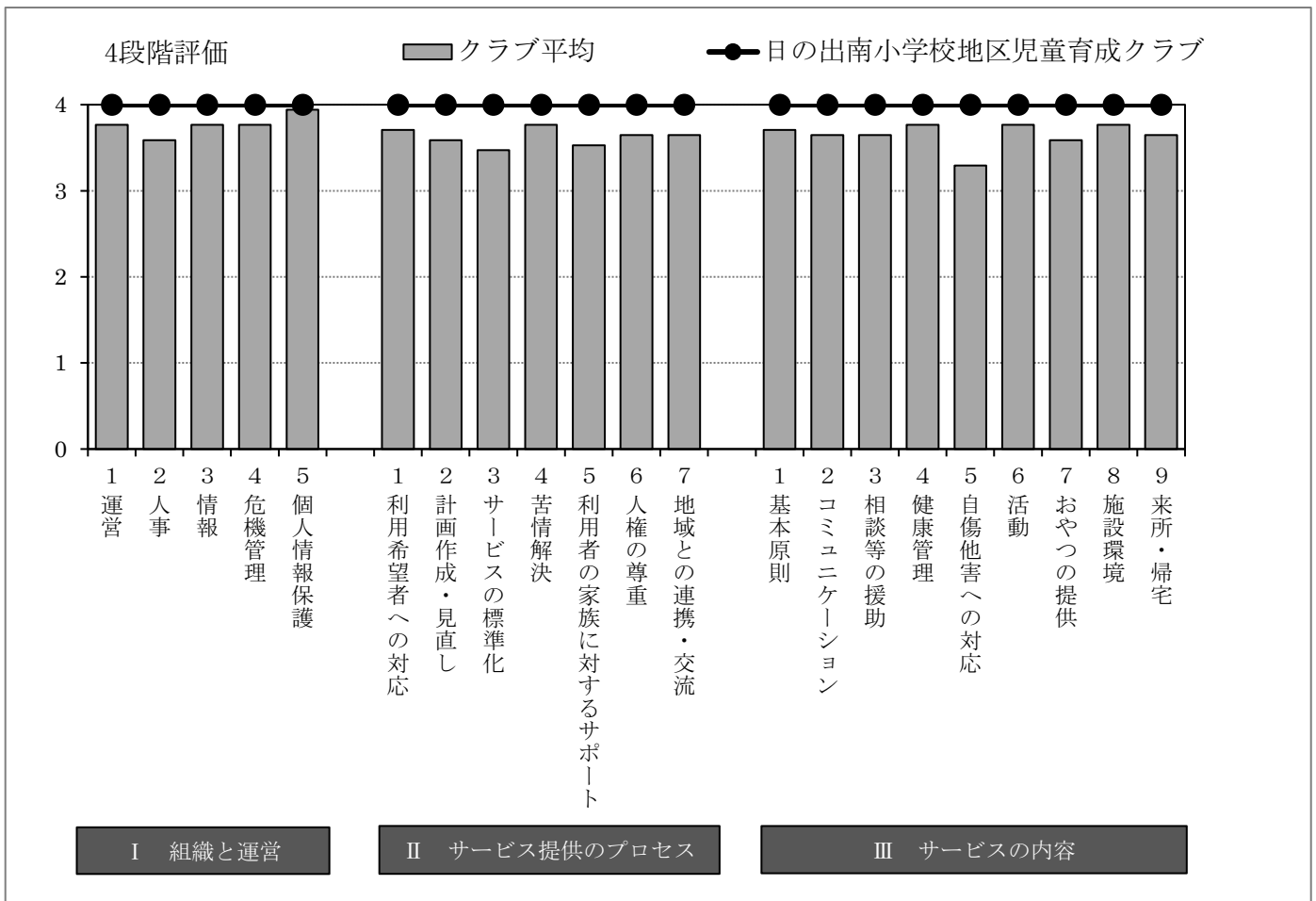
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



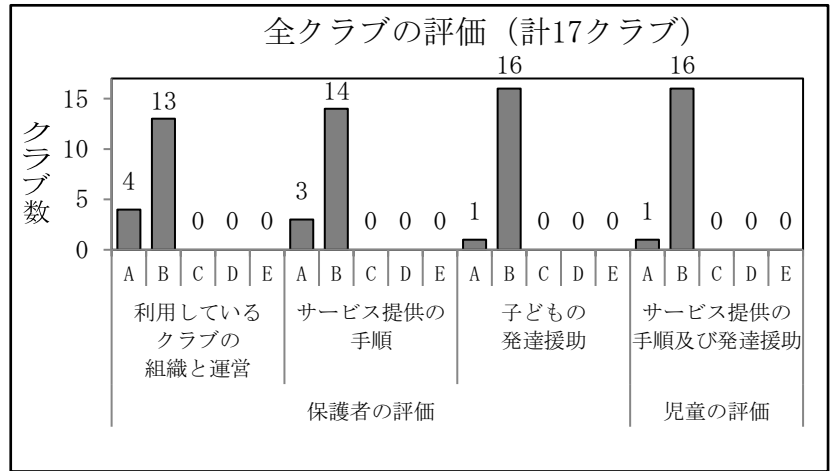
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	91.5%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	91.8%	0.0%	▼0.3%
	② 支援員の専門的知識や技術	74.6%	3.4%	66.2%	2.7%	↑	75.5%	2.0%	▼0.9%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	93.2%	0.0%	85.0%	2.1%	↑	93.9%	0.0%	▼0.7%
	④ クラブ内の清掃・整理	83.1%	3.4%	82.7%	1.2%	↑	81.6%	2.0%	△1.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	91.5%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	89.8%	0.0%	△1.7%
	⑥ 学校との連携や情報交換	81.4%	0.0%	76.3%	2.8%	↑	79.6%	2.0%	△1.8%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	94.9%	0.0%	89.7%	0.7%	↑	95.9%	0.0%	▼1.0%
	② 支援員同士の情報共有	83.1%	0.0%	71.5%	4.3%	↑	77.6%	4.1%	△5.5%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	61.0%	1.7%	71.1%	6.0%		79.6%	2.0%	▼18.6%
	④ 支援員への相談のしやすさ	89.8%	0.0%	83.7%	2.9%	↑	85.7%	2.0%	△4.1%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	89.8%	0.0%	83.0%	1.6%	↑	83.7%	2.0%	△6.2%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	88.1%	1.7%	80.8%	1.1%	↑	91.8%	0.0%	▼3.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	86.4%	0.0%	80.6%	1.7%	↑	79.6%	2.0%	△6.8%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	78.0%	6.8%	69.0%	5.4%	↑	81.6%	2.0%	▼3.7%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	69.5%	1.7%	70.6%	1.8%		87.8%	4.1%	▼18.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.3%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	100.0%	0.0%	▼1.7%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	89.8%	1.7%	88.0%	1.0%	↑	95.9%	0.0%	▼6.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	86.4%	0.0%	82.8%	1.4%	↑	83.7%	4.1%	△2.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	72.9%	0.0%	61.9%	1.4%	↑	81.6%	0.0%	▼8.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	71.2%	5.1%	77.1%	2.3%		75.5%	0.0%	▼4.3%
	② へややといれのきもちよさ	67.8%	1.7%	73.6%	3.7%		67.3%	10.2%	△0.4%
	③ クラブのたのしさ	79.7%	1.7%	81.8%	2.3%		69.4%	8.2%	△10.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	64.4%	1.7%	65.7%	2.4%		57.1%	2.0%	△7.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	64.4%	3.4%	63.3%	3.7%	↑	59.2%	2.0%	△5.2%

評価結果

平成 29 年度

明海南小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール

事業者の名称		株式会社 日本デイケアセンター							
クラブの所在地		浦安市明海五丁目 5 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-382-2901	F A X	047-382-2901				
当該クラブの運営開始日		平成 21 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		80 人		利用 者 数		73 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	5 人	うち、男性		1 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	1 人	幼稚園以 外の教諭	2 人
	非常勤	職員数	3 人	うち、男性		0 人	うち、女性		3 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとってより安全で居心地のよい環境を提供する為に、日頃より保護者・学校との連携を大切にしている。 ・子ども自身が、学童生活の中にある人との関わりや様々な体験を通じて「相手を思いやる気持ち」「人を大切に作る心」を育んで行けるよう、支援員が同じ方向を向き保育に取り組んでいる。
-----------------------	--

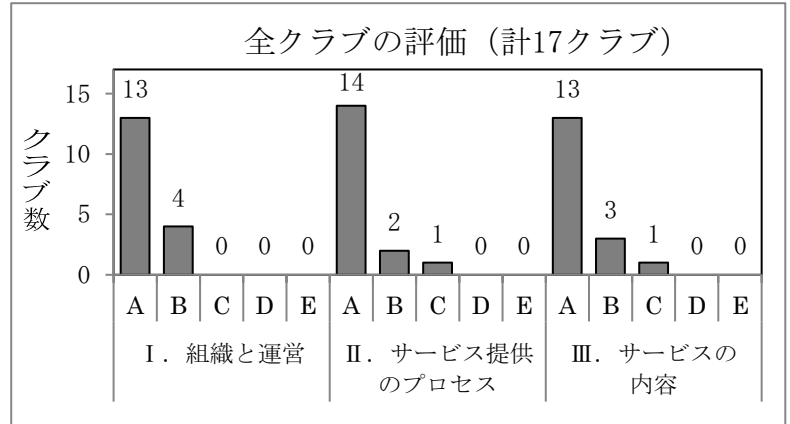
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングにより、あらゆる角度から話し合い協議し合うことで、全支援員が同じ方向性を持つことで意欲的に保育に取り組んでいる。 また、保護者、学校との連携を密に取ることで子どもにとってよりよい環境づくりに努めている。 今年度から、学校で起こった怪我・病気などを書面化した手段を通じて学校とクラブ、そして保護者が繋がり合っただけで見守れる良い体制が取れている。この取り組みを設けてから、より保護者が安心して学童に預けられるようになってきている。 災害や緊急事態に備え、様々な状況を想定した予告無しでの避難訓練を毎月一回実施している。その際子どもには学童滞在時の避難方法を教えると共に、自宅での一人留守番においても速やかに対処できるよう、自分の身を自分で守る事の必要さを伝えている。 外部講師をお呼びし、実際に帰宅時に不審者から声を掛けられるシチュエーションを子ども自身が体験し安全ブザーの大切さなど知ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャーとの連携を密にし、市との情報共有を今後もより一層努めていく。 ・年二回マネージャーによる面談を行っており今後はさらに回数を増やし長期的な具体対策実現に努めていく。 また、各自支援員としての自覚、目標を持ち、互いに認め合い、高め合いながら目標達成に向けて仕事に取り組んでいく。 ・浦安市内で、日本デイケアセンターが運営する施設に支援員が出向き、資質向上の為に研修を行っている。各施設で子どもの特性も異なるので各支援員が目標を持ち保育をすることにより、各自目標や課題など見つける力が身に着くよう取り組んでいる。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・年二回遠方のボランティアの方や日頃接する機会がない方をお招きし、子どもが日常では経験できないような体験をし、貴重な時間を過ごせるよう「体験教室」を行っている。 今後も外部ボランティアの方だけではなく、地域ボランティアの方との交流を増やして行けるよう、情報収集に努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意思尊重、子どもの状況に合った支援方法、支援が必要な子どもを子どもたち自身が認め合えるような環境づくりをしていくために、毎日のミーティングで協議すると共に現状に満足しないよう、支援員自身の日々資質向上に努めていく。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安心して過ごせるよう、より良い環境づくりに配慮し、学童生活の中にある人との関わりや様々な体験を通じて「相手を思いやる心」「人を大切に作る心」を育んでいけるよう取り組んでいる。 ・子どもの状態、状況を確実に把握するとともに、子どもが話しやすい、相談しやすい環境であるよう学年担任制で保育を行っている。 ・誘拐、動物虐待等、残忍卑劣な事件が多発する昨今、子どもの命が確実に守られるよう、万が一の時に子ども自身が正しい対処が出来るよう、子ども自身にも認識を持ってもらえるための防犯訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮やアナフィラキシーショック発症時の対処法、熱性けいれんの対処について、全支援員が情報を共有し適切に対応しているが、今後どのようなアレルギー症状を持つ児童にでも対応できるよう、また突然のアレルギー症状等にも迅速な対応が出来るよう、さらなる知識向上の為に、積極的に研修への参加をする等努めていく。 またこれからも定期的に確認するとともに、他事業者他クラブの事例をふまえた情報共有を今後も続けて行い、いかなる状況でも対処できるよう備えていく。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

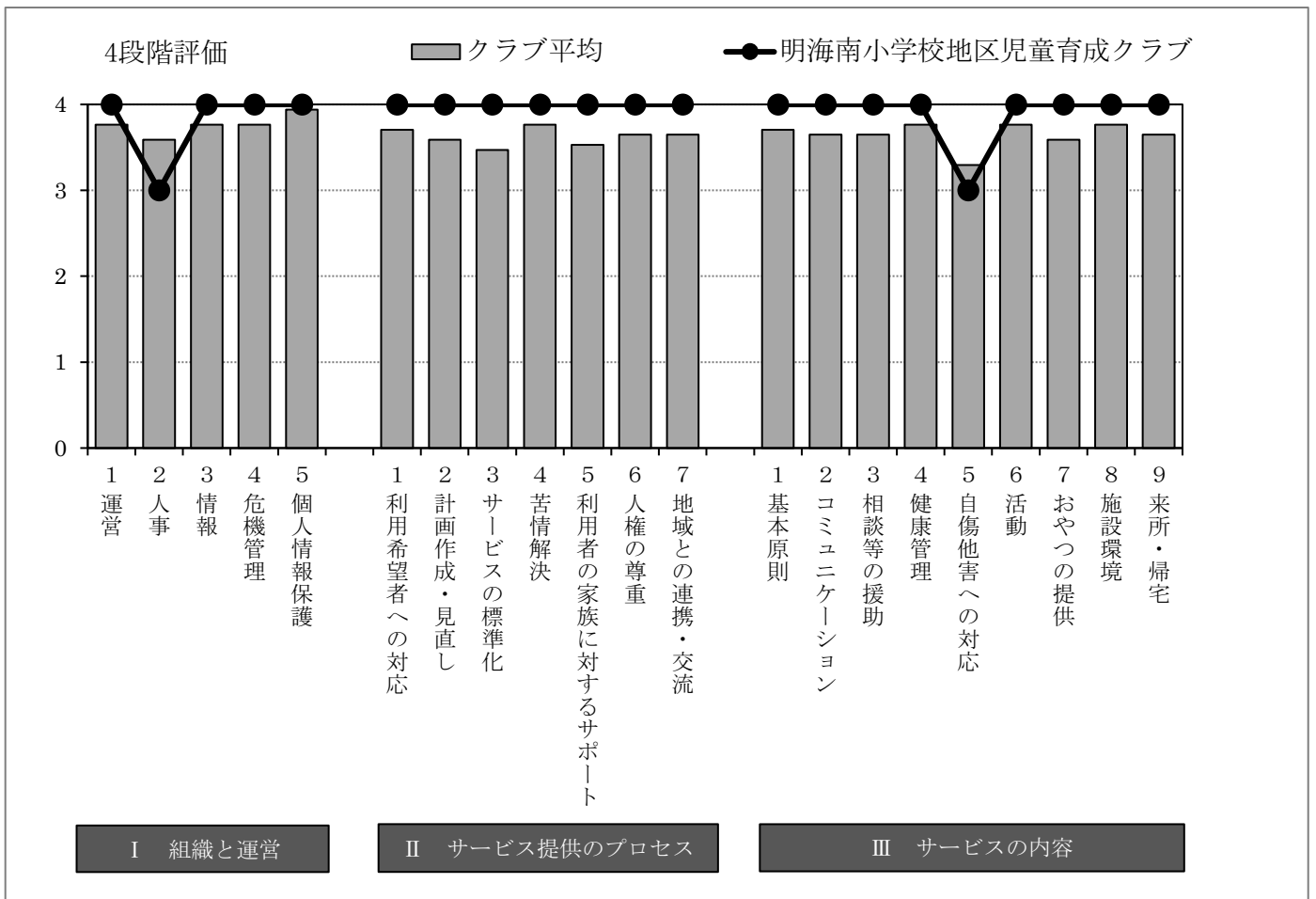
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



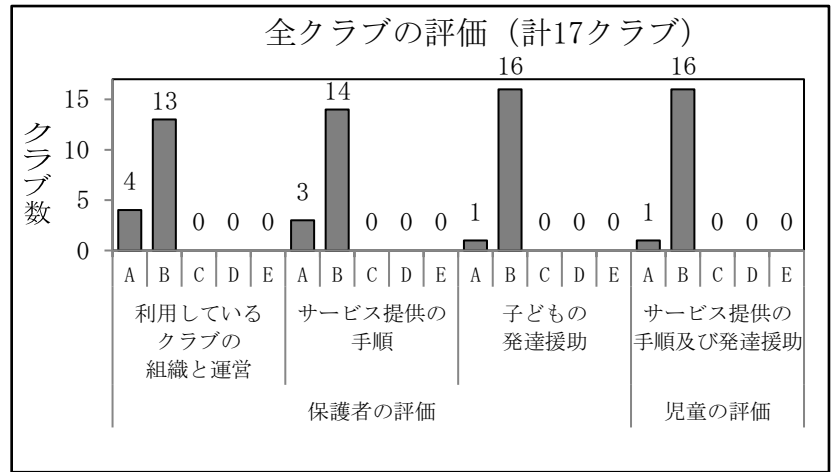
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	A (A)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (A)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	94.3%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	94.2%	0.0%	△0.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	83.0%	0.0%	66.2%	2.7%	↑	80.8%	0.0%	△2.2%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	98.1%	0.0%	85.0%	2.1%	↑	100.0%	0.0%	▼1.9%
	④ クラブ内の清掃・整理	94.3%	0.0%	82.7%	1.2%	↑	92.3%	1.9%	△2.0%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	94.3%	1.9%	86.1%	0.8%	↑	90.4%	0.0%	△4.0%
	⑥ 学校との連携や情報交換	92.5%	0.0%	76.3%	2.8%	↑	90.4%	0.0%	△2.1%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	98.1%	0.0%	89.7%	0.7%	↑	96.2%	0.0%	△2.0%
	② 支援員同士の情報共有	92.5%	0.0%	71.5%	4.3%	↑	94.2%	0.0%	▼1.8%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	84.9%	1.9%	71.1%	6.0%	↑	94.2%	1.9%	▼9.3%
	④ 支援員への相談のしやすさ	90.6%	0.0%	83.7%	2.9%	↑	100.0%	0.0%	▼9.4%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	96.2%	0.0%	83.0%	1.6%	↑	100.0%	0.0%	▼3.8%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	90.6%	3.8%	80.8%	1.1%	↑	92.3%	0.0%	▼1.7%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	98.1%	0.0%	80.6%	1.7%	↑	98.1%	0.0%	△0.0%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	92.5%	0.0%	69.0%	5.4%	↑	94.2%	0.0%	▼1.8%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	81.1%	0.0%	70.6%	1.8%	↑	90.4%	1.9%	▼9.3%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	100.0%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	96.2%	0.0%	88.0%	1.0%	↑	96.2%	0.0%	△0.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	94.3%	0.0%	82.8%	1.4%	↑	96.2%	0.0%	▼1.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	67.9%	0.0%	61.9%	1.4%	↑	88.5%	0.0%	▼20.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	79.2%	1.9%	77.1%	2.3%	↑	86.5%	0.0%	▼7.3%
	② へややといれのきもちよさ	81.1%	1.9%	73.6%	3.7%	↑	80.8%	0.0%	△0.4%
	③ クラブのたのしさ	86.8%	0.0%	81.8%	2.3%	↑	86.5%	1.9%	△0.3%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	77.4%	0.0%	65.7%	2.4%	↑	82.7%	1.9%	▼5.3%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	69.8%	1.9%	63.3%	3.7%	↑	80.8%	0.0%	▼11.0%

評価結果

平成 29 年度

高洲北小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		ライクアカデミー株式会社							
クラブの所在地		浦安市高洲二丁目 2 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-381-5201	F A X	047-381-5201				
当該クラブの運営開始日		平成 18 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		128 人		利 用 者 数		120 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性		0 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園 教諭	1 人	幼稚園以 外の教諭	3 人
	非常勤	職員数	14 人	うち、男性		1 人	うち、女性		13 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園 教諭	0 人	幼稚園以 外の教諭	3 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	1. あたたかな環境の中で、一人ひとりの心に寄り添い、子どもにとって、ありのままの姿を何のためらいもなく出せる場所であること。 2. 自己肯定感を育む場所であること。 上記 2 点を常に大切にしています。保護者の方々には信頼してお子さんを預けていただけるように支援員一人ひとりが自覚と責任を持って、施設運営に努めております。環境整備を基本とした安全管理を保護者の安心につなげます。
------------------------------	--

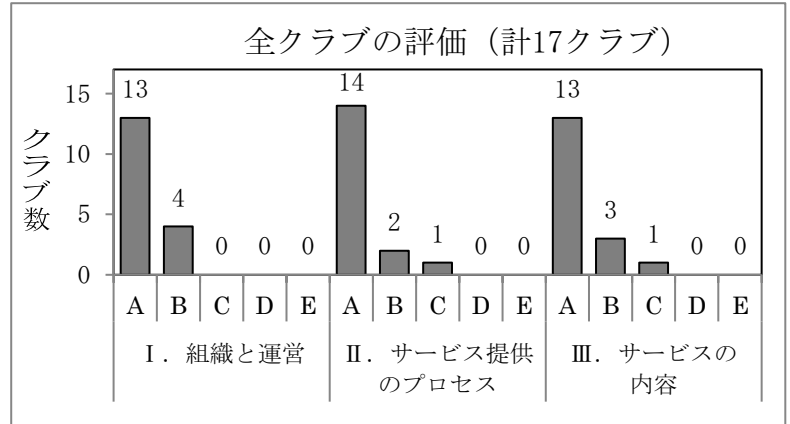
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	保護者、児童一人ひとりと丁寧に向き合い、貴重な意見やニーズ、思いに耳を傾け、検討を繰り返しながら、最善のサービスを提供すること、児童が安全安心の中で主体的に活動できる運営ができました。	児童、保護者全員が満足できるサービスを提供するには、周知が不十分であったり、個別の配慮が足りなかったケースも生じてしまったため、改善にむけて努めていきたい。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	保護者の不安感や心配事を察するように心掛け、事前に丁寧な説明を行うことで、保護者に寄り添った対応ができたと感じます。行事全般に関しては、大幅に変えることなく、毎年の反省、改善を通じて、今年度ベストな企画ができたと思います。	クラブに対する関心を持ってもらえていない保護者へのアプローチや、理解と協力を得るために、発信を強化していきたいと思います。支援員全体で改善、努力をしていきたいと思いません。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	児童の安全、保護者の安心を第一に心掛け、施設運営を行いました。今年度も退会する児童が少なく、保護者からの信頼を得ることができていますと感じます。	今までの蓄積を大切にしながら、今後もさらなる進化と発展を目指し、運営や行事計画などを進めていき、保護者や児童の満足度が上がるように工夫をしていきたいと思いません。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

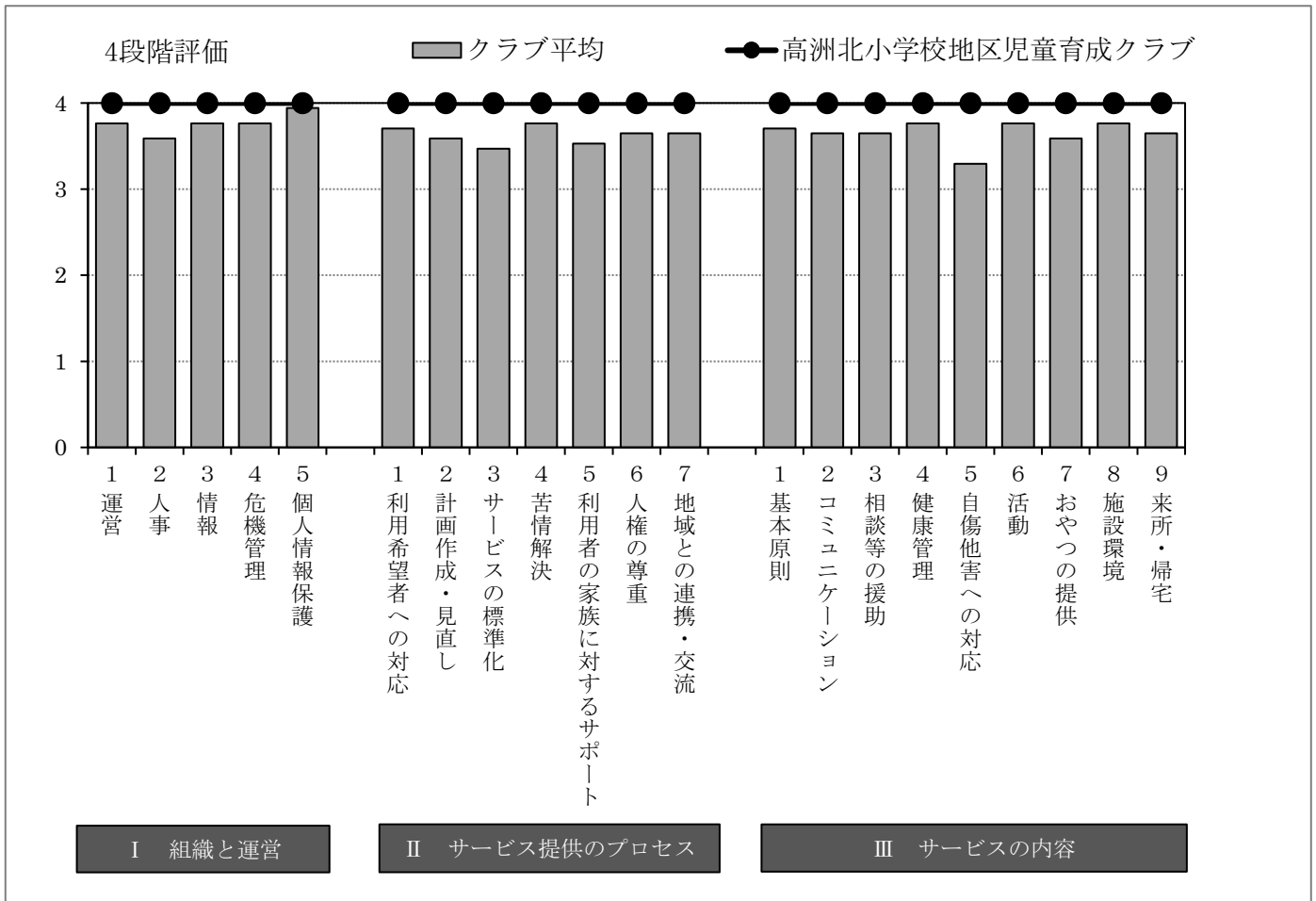
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



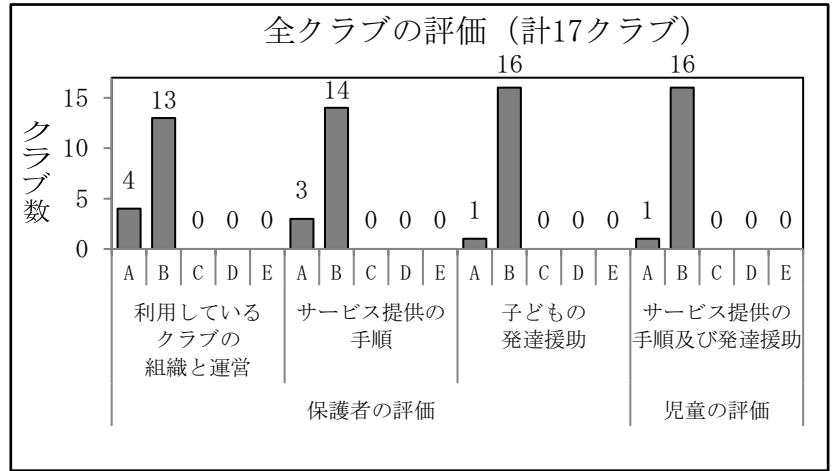
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができている、3=おおむねできている、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	87.3%	2.8%	86.2%	0.5%	↑	78.1%	1.6%	△9.2%
	② 支援員の専門的知識や技術	50.7%	2.8%	66.2%	2.7%		70.3%	1.6%	▼19.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	94.4%	0.0%	85.0%	2.1%	↑	85.9%	0.0%	△8.4%
	④ クラブ内の清掃・整理	81.7%	0.0%	82.7%	1.2%		70.3%	0.0%	△11.4%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	87.3%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	73.4%	0.0%	△13.9%
	⑥ 学校との連携や情報交換	74.6%	0.0%	76.3%	2.8%		76.6%	1.6%	▼1.9%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	93.0%	1.4%	89.7%	0.7%	↑	87.5%	1.6%	△5.5%
	② 支援員同士の情報共有	73.2%	1.4%	71.5%	4.3%	↑	67.2%	3.1%	△6.1%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	73.2%	2.8%	71.1%	6.0%	↑	64.1%	9.4%	△9.2%
	④ 支援員への相談のしやすさ	83.1%	2.8%	83.7%	2.9%		78.1%	7.8%	△5.0%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	85.9%	1.4%	83.0%	1.6%	↑	82.8%	4.7%	△3.1%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	73.2%	1.4%	80.8%	1.1%		65.6%	3.1%	△7.6%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	78.9%	1.4%	80.6%	1.7%		71.9%	3.1%	△7.0%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	66.2%	4.2%	69.0%	5.4%		64.1%	3.1%	△2.1%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	78.9%	1.4%	70.6%	1.8%	↑	71.9%	3.1%	△7.0%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	97.2%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	89.1%	1.6%	△8.1%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	95.8%	0.0%	88.0%	1.0%	↑	78.1%	1.6%	△17.6%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	78.9%	1.4%	82.8%	1.4%		76.6%	6.3%	△2.3%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	50.7%	0.0%	61.9%	1.4%		46.9%	3.1%	△3.8%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	差
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	74.6%	1.4%	77.1%	2.3%		82.8%	1.6%	▼8.2%
	② へややといれのきもちよさ	77.5%	0.0%	73.6%	3.7%	↑	76.6%	0.0%	△0.9%
	③ クラブのたのしさ	81.7%	1.4%	81.8%	2.3%		81.3%	3.1%	△0.4%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	57.7%	0.0%	65.7%	2.4%		65.6%	4.7%	▼7.9%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	56.3%	2.8%	63.3%	3.7%		56.3%	3.1%	△0.1%

評価結果

平成 29 年度

東野小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		社会福祉法人 浦安市社会福祉協議会							
クラブの所在地		浦安市東野一丁目7番3号							
クラブの連絡先		電 話	047-304-1880	F A X	047-304-1880				
当該クラブの運営開始日		平成 22 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		198 人		利 用 者 数		177 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	16 人	うち、男性		3 人	うち、女性		13 人
		有資格者数		保育士	1 人	幼稚園教諭	2 人	幼稚園以外の教諭	3 人
	非常勤	職員数	5 人	うち、男性		1 人	うち、女性		4 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人

運営事業者のサービス提供方針

サービスの提供にあたって大切にしていること	児童育成クラブは、「一人ひとりが主役となる場」、「異年齢児による遊びを通じ、社会性・自主性を育てる場」、「安心して楽しく育てる場」をモットーに子どもとの信頼関係を築けるよう保育に努めている。
-----------------------	---

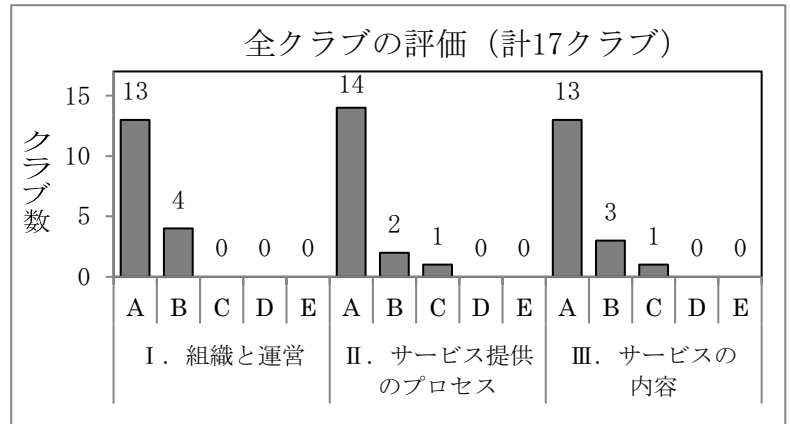
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<ul style="list-style-type: none"> ・富岡育成クラブと連携し合同イベントを行ったり、支援員の交流ができることを生かし、支援員の資質の向上に努めている。 ・ミーティング等で、今まで起きた事例を検討し、必要なことをマニュアルに記載して、再発防止に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成クラブに求められていることが変わってきているため、運営指針の理解とこれからの育成クラブのあり方について検討し、内容を共通理解する必要がある。
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは作っているが、個々の支援として、家庭や本人の状況を理解し、臨機応変な対応もできるようミーティングなどを多く持っている。 ・子どもたちの意見も取り入れられるよう、話し合いの場を設け、自分たちの生活の場について子ども自身が考えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に理解してもらえそうな取り組みや子どもたちの安全面を重視したサービスを考えているが、運営指針や認定資格研修で言われている、「子どもの主体性」とは何か、どのように子どもたちから引き出していかを考えて行事や生活を考えていく必要がある。
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にとっても、子どもたちにとっても安心して生活できる場になるように日々務めている。 ・家庭において親子で過ごす時間を大切にしてほしいという思いから、宿題等に取り組めるよう学習の時間を設けている。 ・クラブでの様子を保護者に伝える際には、保護者支援となるように心がけて対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが楽しめるイベントを考えているが、子どもたちから「平日は友達と遊べる時間が短く1日育成の日などはイベントではなく、好きなことをさせてほしい。」など、過ごし方について提案があった。行事の取り組みを大人が仕掛けるのではなく、「何もない時間」を保証することにより、子ども自身が自分たちで時間の使い方を考え楽しみを生み出していく、主体性を持った子ども達になってほしいと考えている。その為の支援をしていきたい。
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

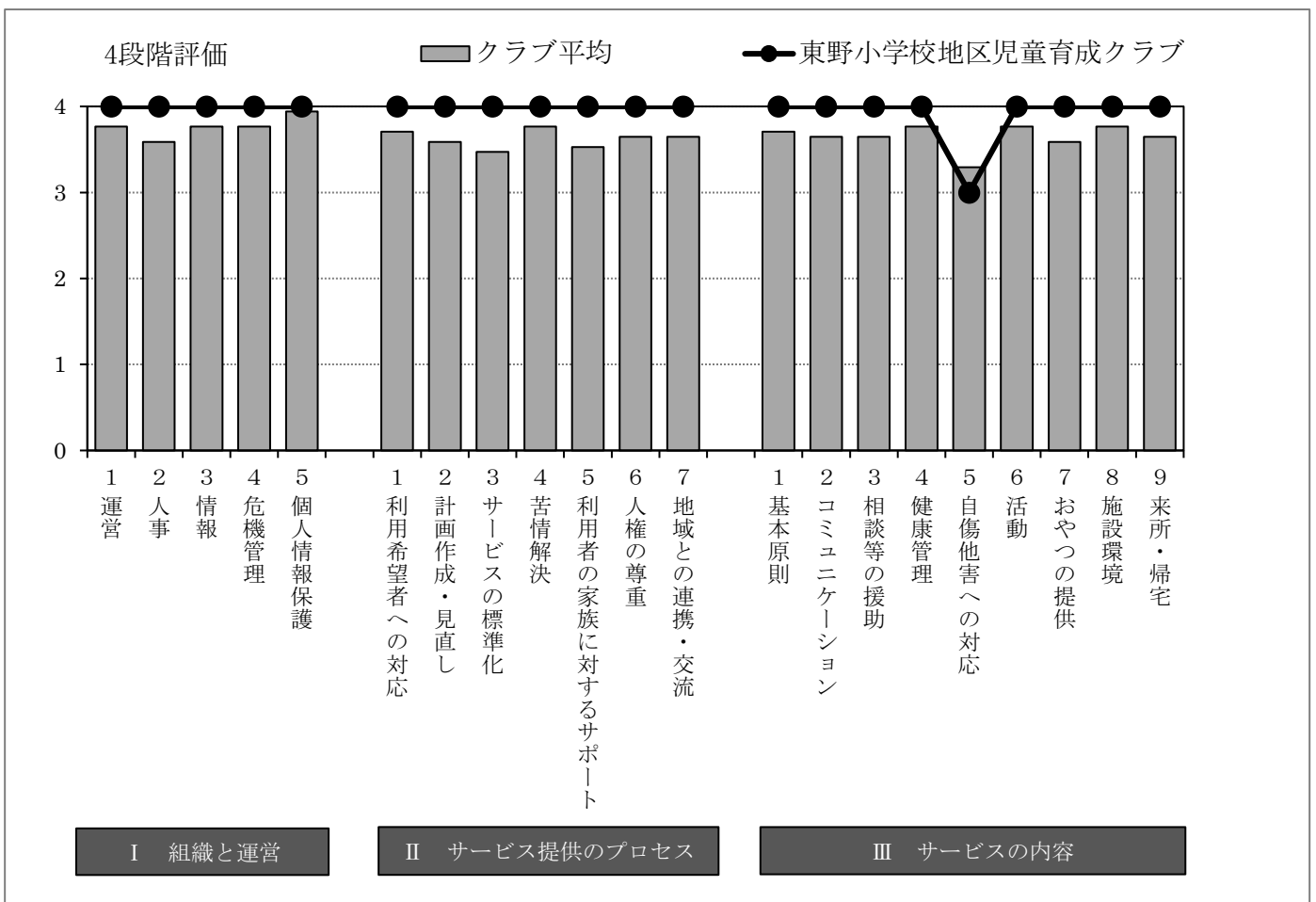
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	A (A)
II. サービス提供の プロセス	A (A)
III. サービスの内容	A (A)



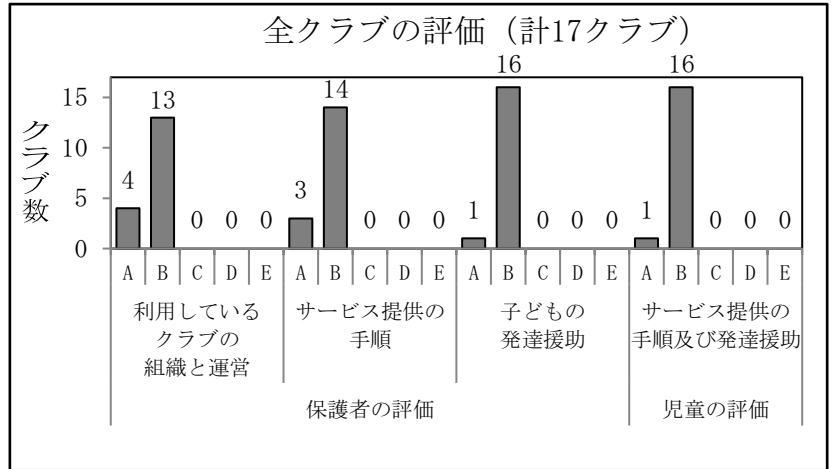
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	B (B)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (B)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	87.5%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	87.3%	0.0%	△0.2%
	② 支援員の専門的知識や技術	71.2%	1.0%	66.2%	2.7%	↑	70.6%	2.0%	△0.6%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	95.2%	0.0%	85.0%	2.1%	↑	98.0%	0.0%	▼2.8%
	④ クラブ内の清掃・整理	89.4%	0.0%	82.7%	1.2%	↑	91.2%	0.0%	▼1.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	90.4%	0.0%	86.1%	0.8%	↑	90.2%	2.0%	△0.2%
	⑥ 学校との連携や情報交換	77.9%	0.0%	76.3%	2.8%	↑	85.3%	0.0%	▼7.4%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	92.3%	1.0%	89.7%	0.7%	↑	95.1%	0.0%	▼2.8%
	② 支援員同士の情報共有	76.9%	1.0%	71.5%	4.3%	↑	68.6%	2.9%	△8.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	71.2%	7.7%	71.1%	6.0%	↑	64.7%	3.9%	△6.4%
	④ 支援員への相談のしやすさ	84.6%	1.0%	83.7%	2.9%	↑	83.3%	1.0%	△1.3%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	81.7%	1.0%	83.0%	1.6%		85.3%	0.0%	▼3.6%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	73.1%	1.9%	80.8%	1.1%		75.5%	0.0%	▼2.4%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	88.5%	0.0%	80.6%	1.7%	↑	89.2%	1.0%	▼0.8%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	63.5%	2.9%	69.0%	5.4%		76.5%	3.9%	▼13.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	72.1%	1.0%	70.6%	1.8%	↑	84.3%	0.0%	▼12.2%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	98.1%	0.0%	96.6%	0.0%	↑	97.1%	0.0%	△1.0%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	92.3%	0.0%	88.0%	1.0%	↑	93.1%	1.0%	▼0.8%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	88.5%	1.0%	82.8%	1.4%	↑	88.2%	0.0%	△0.2%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	75.0%	1.0%	61.9%	1.4%	↑	76.5%	0.0%	▼1.5%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	88.5%	1.0%	77.1%	2.3%	↑	85.3%	0.0%	△3.2%
	② へややといれのきもちよさ	84.6%	0.0%	73.6%	3.7%	↑	78.4%	0.0%	△6.2%
	③ クラブのたのしさ	80.8%	1.0%	81.8%	2.3%		82.4%	0.0%	▼1.6%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	59.6%	1.9%	65.7%	2.4%		70.6%	1.0%	▼11.0%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	63.5%	3.8%	63.3%	3.7%	↑	64.7%	0.0%	▼1.2%

評価結果

平成 29 年度

入船小学校地区児童育成クラブ

クラブ・運営事業者のプロフィール									
事業者の名称		社会福祉法人わかみや福祉会							
クラブの所在地		浦安市入船三丁目 66 番 1 号							
クラブの連絡先		電 話	047-352-1415	F A X	047-352-1415				
当該クラブの運営開始日		平成 23 年 4 月 1 日							
開設場所		小学校校舎内／小学校敷地内							
定員／現在の利用者数 (平成 29 年 12 月末現在)		定 員		118 人		利 用 者 数		102 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	4 人	うち、男性		1 人	うち、女性		3 人
		有資格者数		保育士	2 人	幼稚園教諭	0 人	幼稚園以外の教諭	1 人
	非常勤	職員数	8 人	うち、男性		0 人	うち、女性		8 人
		有資格者数		保育士	0 人	幼稚園教諭	1 人	幼稚園以外の教諭	3 人

運営事業者のサービス提供方針

<p>サービスの提供にあたって大切にしていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と職員が力をあわせ、児童により良い環境を作る。 ・保護者が安心して働くことができるよう、保育の充実をめざす ・子育て相談機関としての役割を自覚し、地域に開かれた学童保育をめざす。
------------------------------	---

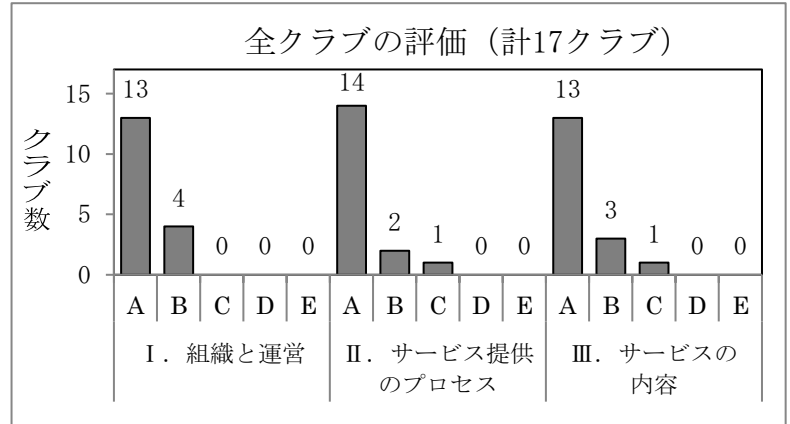
		事業者の強み アピールしたい取り組み	サービス改善に向けた取組 今後の展望
I 組織と運営	1 運営	<p>保育園運営実績も踏まえながら社会福祉法人としての組織作りをしっかりと行っている。職員間の連絡・連携及び、情報交換も日々細やかかつ丁寧に行っている。どんな場合も利用者の意見や思いに寄り添った対応を心がけている。また、個人情報保護を尊重し、法人として必要に応じて情報の公開を行っている。</p> <p>今年度よりクラス担任制となったが、各クラスに有資格者(保育士資格)を配置し、担任が児童・保護者と共に、よりよい保育が出来る環境作りを努力している。</p>	<p>定期的に保護者会や親子対象の行事を行っているため、その時の議題に応じたアンケートを実施し、運営や保育に反映できるようにしていく。</p> <p>研修の機会を増やし、保育の充実を目指していく。</p>
	2 人事		
	3 情報		
	4 危機管理		
	5 個人情報保護		
II サービス提供のプロセス	1 利用希望者への対応	<p>利用希望者の方には、随時見学や相談の対応・説明を行っている。出来るだけ利用者のニーズに応えられるよう同法人の保育園や児童育成クラブと情報を共有しながら、保育の質を高められるよう努力している。また、子どもの人権を尊重し、一人ひとりの思いを受け止め、愛情を持った関わりを行っている。</p> <p>支援が必要な子どもや家庭環境が複雑で日々の生活に影響している子どもには、小学校と連携をとり、虐待等の早期発見や問題解決、心のケアに努めている。</p>	<p>記録やマニュアルに関しては、時代に即した物に見直し、職員に周知徹底を図る。</p> <p>地域行事や他学童との交流会の機会を増やしていく。</p>
	2 計画作成・見直し		
	3 サービスの標準化		
	4 苦情解決		
	5 利用者家族へのサポート		
	6 人権の尊重		
	7 地域との連携・交流		
III サービスの内容	1 基本原則	<p>子ども一人ひとりの自主性を尊重しながら、計画や見通しを持って遊びや行事、活動に取り組んでいる。気になる児童や支援児には、学校との連携を密にし、その子に添った対応をしている。おやつや行事は、子ども達が主体となってできるものも用意し、より楽しめるようにしている。</p>	<p>おやつや行事は現状で満足することなく、より子ども達が楽しめるようなものを提供していく。児童数が増加傾向にあるので、施設の環境整備や安全面に気をつけ、一人ひとりが快適に過ごせるようにしていく。</p>
	2 コミュニケーション		
	3 相談等の援助		
	4 健康管理		
	5 自傷他害への対応		
	6 活動		
	7 おやつ提供		
	8 施設環境		
	9 来所・帰宅		

運営事業者による自己評価結果

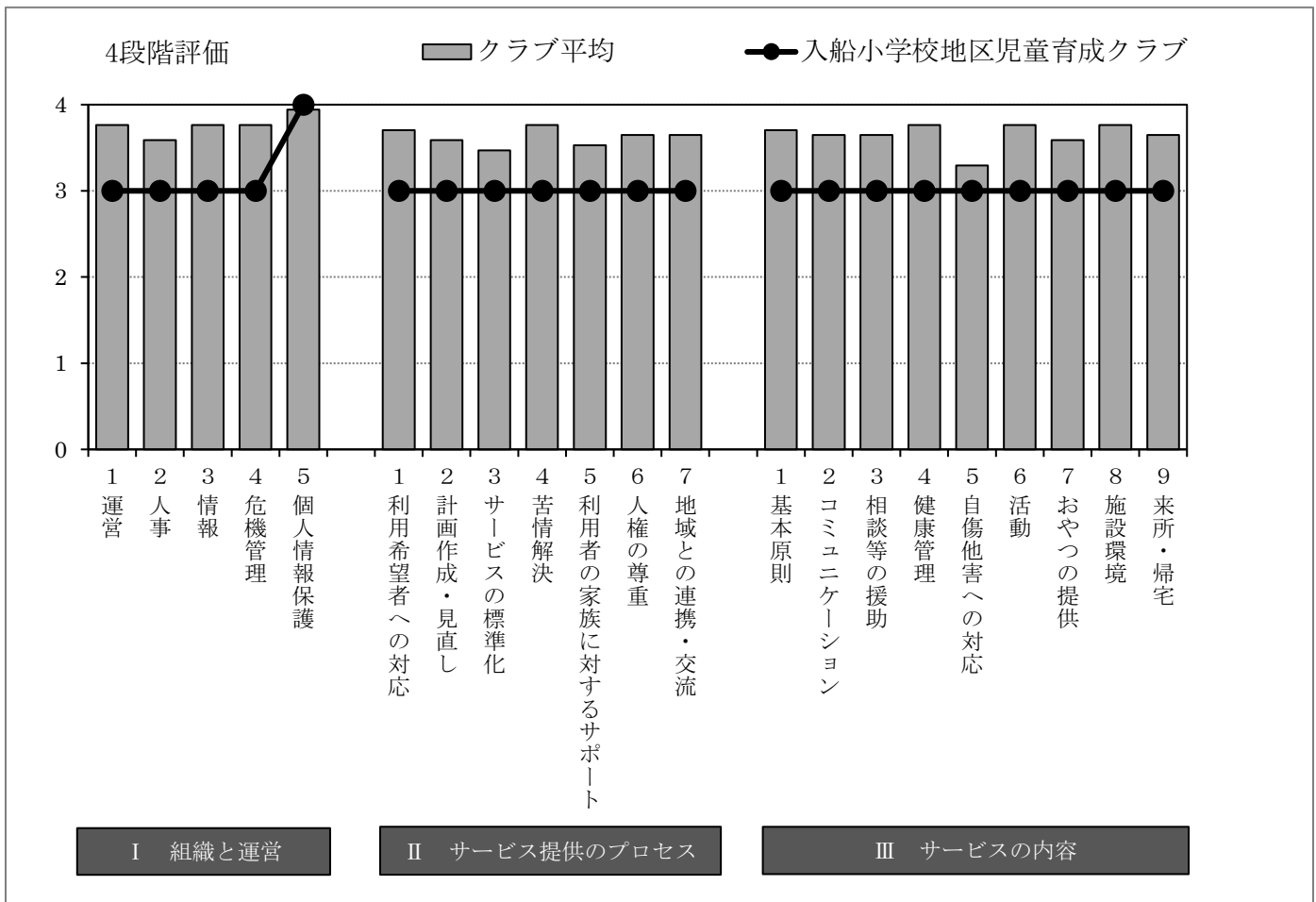
- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・自己評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。

【大項目評価】 ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

評価項目 (大項目)	平成 29 年度
	(平成 28 年度)
I. 組織と運営	B (A)
II. サービス提供の プロセス	B (B)
III. サービスの内容	B (A)



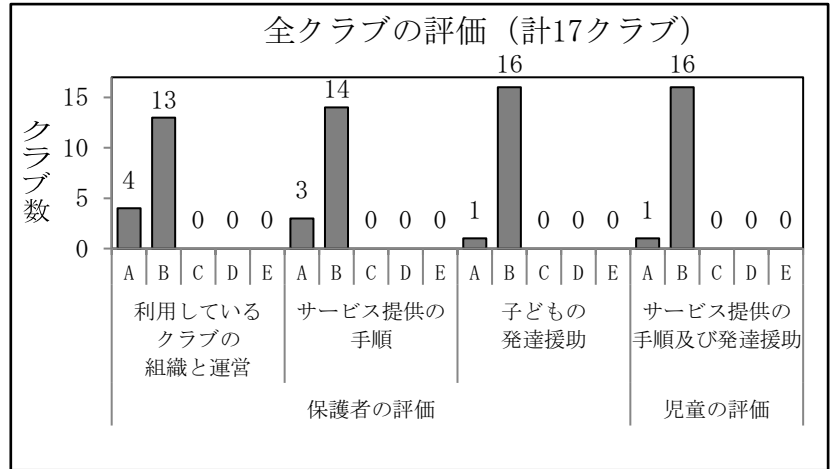
【中項目評価】 ・評価：4=優れた取組ができています、3=おおむねできています、2=あまりできていない、1=まったくできていない



利用者による評価結果

- ・全クラブの評価は、児童育成クラブの全体の傾向を表しています。
- ・当該クラブの評価結果を全クラブの評価と比較することにより、各クラブがどのような位置にあるかを示しています。
- ・評価：A=大変優れている、B=優れている、C=普通、D=やや不十分である、E=極めて不十分である

テーマ		平成 29 年度
		(平成 28 年度)
保護者	利用しているクラブの組織と運営について	A (A)
	サービス提供の手順について	B (B)
	子どもの発達援助について	B (A)
児童	サービス提供の手順及び発達援助について	B (B)



I 保護者の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
利用しているクラブの組織と運営について	① クラブの理念や方針に関する説明や情報共有	90.0%	0.0%	86.2%	0.5%	↑	86.9%	0.0%	△3.1%
	② 支援員の専門的知識や技術	78.3%	0.0%	66.2%	2.7%	↑	83.6%	0.0%	▼5.3%
	③ 来所時や帰宅時の安全確保	90.0%	1.7%	85.0%	2.1%	↑	96.7%	0.0%	▼6.7%
	④ クラブ内の清掃・整理	91.7%	0.0%	82.7%	1.2%	↑	93.4%	0.0%	▼1.8%
	⑤ 個人情報の保護・取扱	86.7%	1.7%	86.1%	0.8%	↑	83.6%	0.0%	△3.1%
	⑥ 学校との連携や情報交換	83.3%	1.7%	76.3%	2.8%	↑	83.6%	3.3%	▼0.3%
サービス提供の手順について	① 支援員からの十分な説明や情報提供	88.3%	0.0%	89.7%	0.7%		88.5%	0.0%	▼0.2%
	② 支援員同士の情報共有	80.0%	0.0%	71.5%	4.3%	↑	78.7%	0.0%	△1.3%
	③ 連絡帳やおたよりによる情報提供	71.7%	6.7%	71.1%	6.0%	↑	75.4%	4.9%	▼3.7%
	④ 支援員への相談のしやすさ	83.3%	1.7%	83.7%	2.9%		93.4%	1.6%	▼10.1%
	⑤ クラブに関する意見や要望への対応	88.3%	1.7%	83.0%	1.6%	↑	91.8%	0.0%	▼3.5%
子どもの発達援助について	① おやつへの工夫	91.7%	0.0%	80.8%	1.1%	↑	86.9%	0.0%	△4.8%
	② 遊びを通じた自主性や人間関係が育つような配慮	90.0%	0.0%	80.6%	1.7%	↑	88.5%	0.0%	△1.5%
	③ 学習活動を自主的に行える環境	78.3%	3.3%	69.0%	5.4%	↑	80.3%	1.6%	▼2.0%
	④ 生活習慣が身につくような配慮	73.3%	0.0%	70.6%	1.8%	↑	78.7%	0.0%	▼5.4%
	⑤ 季節の行事など楽しく過ごせる工夫	95.0%	0.0%	96.6%	0.0%		96.7%	0.0%	▼1.7%
	⑥ 体調変化や事故、ケガへの対応・連絡	88.3%	1.7%	88.0%	1.0%	↑	93.4%	3.3%	▼5.1%
	⑦ 子どもの人権尊重や個人差への配慮	88.3%	1.7%	82.8%	1.4%	↑	90.2%	0.0%	▼1.8%
	⑧ 特別な支援が必要なお子さんへの配慮	66.7%	3.3%	61.9%	1.4%	↑	78.7%	3.3%	▼12.0%

II 利用児童の回答

テーマ	設問	本クラブの回答		【全クラブ】との比較			【平成 28 年度】との比較		差
		はいの割合	いいえの割合	はいの割合	いいえの割合	平均より上=↑	はいの割合	いいえの割合	
サービス提供の手順及び発達援助について	① おやつのおいしさ	90.0%	0.0%	77.1%	2.3%	↑	85.2%	0.0%	△4.8%
	② へややといれのきもちよさ	73.3%	5.0%	73.6%	3.7%		82.0%	3.3%	▼8.6%
	③ クラブのたのしさ	91.7%	1.7%	81.8%	2.3%	↑	91.8%	0.0%	▼0.1%
	④ こまったことやいやなことがあったときの先生のたいおう	66.7%	0.0%	65.7%	2.4%	↑	68.9%	3.3%	▼2.2%
	⑤ 先生がきもちをわかってくれているか	65.0%	1.7%	63.3%	3.7%	↑	80.3%	0.0%	▼15.3%

資料

資料

1. 平成 29 年度 事業者自己評価シート

I. 組織と運営

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4 : 優れた取組ができている	3 : おおむねできている
2 : あまりできていない	1 : まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 運営	① 放課後児童クラブ運営指針が職員に周知され、すべての職員がそれを理解し、実現に向けて取り組んでいる。		
	② 重要な決定事項について、関係する職員や利用者等に説明する場があり、十分に伝えている。		
	③ 職員が意見を言ったり、提案を出しやすい雰囲気をつくるための工夫がある。		
	④ 利用者から出された意見については必ず検討し、その対応について利用者や保護者への説明や報告がなされている。		
	⑤ 利用者満足度調査等を実施し、結果をもとに改善策をつくり、事業計画に活かしている。		
	⑥ 全職員でサービス改善について取り組んでいる。		
	⑦ 市に対する活動報告を適切に行い、市との情報共有に努めている。		
	⑧ 学校との連携に積極的であり、適切な情報交換を行っている。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
2 人事	<p>① 子どもの発達の特徴や子どもとの関わり方、支援員の役割など、職員研修を行い、学んだ内容を職員間で共有している。</p>		
	<p>② 運営責任者等による職員との定期面接、職員からの申告書提出などにより、業務上の悩みやストレスを軽減・解消するための具体的な方策を把握する仕組みがある。また、日ごろの談話等により、職員の提案、要望、不満、目標等を把握する仕組みがある。</p>		
	<p>③ 職員の雇用は、書類審査・面接等により適正に行い、運営事業者の理念等を理解したうえで採用している。</p>		
3 情報	<p>① 職員会議や日常的な引継ぎなど、指示・連絡・報告・相談の体制が確立しており、機能している。</p>		
	<p>② 「おたより」の発行や連絡帳などを通じて、利用者の様子を保護者に定期的・具体的に伝えている。</p>		
	<p>③ サービス提供やクラブ運営の情報を、求めに応じて公開する仕組みがある。</p>		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
4 危機管理	① 災害や緊急時の対応についてマニュアルを整備し、職員に周知するとともに、定期的な避難訓練を実施している。		
	② 事故防止のため、施設や設備の安全性について点検を実施し、危険箇所に対し速やかに対処している。		
	③ クラブにおいて発生したケガや急病に対処するために、救護やAED操作に関する職員研修を行っている。		
	④ 子どもに対する手洗いの徹底や、嘔吐物の処理方法のルール化など、感染症の拡大防止に努めている。		
	⑤ 食品や調理器具の取り扱いに注意し、食中毒の防止に努めている。		
	⑥ ケガや事故の情報を記録し、再発防止のための対策を行っている。		
5 個人情報保護	① 職員への研修は、利用者および保護者の個人情報の取り扱い、守秘義務に関する内容を含めて行っている。		
	② 利用者の個人情報(名簿等)が流出しないよう、具体的な取り組みを行っている。		
	③ 個人情報の利用目的を、利用者や保護者に明示している。		
	④ 面談は個室で行うなど、プライバシーの保護に配慮している。		

II. サービス提供のプロセス

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4 : 優れた取組ができている	3 : おおむねできている
2 : あまりできていない	1 : まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 利用希望者への対応	① 入会説明会や見学は、なるべく意向に沿って受け入れ、見学者に対して、サービスの内容や規則について、正確に、わかりやすく説明するよう努めている。		
	② 重要事項に関して子どもやその保護者等に事前に説明し、書面による同意を得ている。		
	③ 重要事項説明書や入会のしおりは読みやすく、わかりやすいものを作成している。		
2 計画作成・見直し	① 年間の支援計画は、子どもや保護者の要望、関係者の意見を取り入れて作成している。		
	② 年間の支援計画は、子ども・保護者への説明を行い、同意を得ている。		
	③ 定期的に、支援計画の見直しについて検討している。		
3 サービスの標準化	① 個々のサービスについて、標準的な実施方法を定め、マニュアルなどを作成している。		
	② 新人職員に対し、業務内容を学ぶ研修を実施している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
4 苦情解決	① 苦情を受け付ける仕組みや書式が整備されており、職員や子ども・保護者に周知され、サービスの改善に活用されている。		
	② 苦情解決にあたっては、直ちに会議等で対応を検討し、迅速な解決を心掛けている。		
	③ 苦情の申し出から解決まで、一連の流れが記録され、情報として蓄積・共有化できる仕組みができており、機能している。		
5 家族利用者のサポート	① 自宅での生活を含め、子育ての不安や悩みなど、保護者からの相談や面談に応じる体制を整えている。		
6 人権の尊重	① 職員から子どもへの体罰防止マニュアルの作成や研修実施など、虐待防止のための具体的な仕組みがあり、機能している。		
	② 家庭等での虐待の兆候を感じ取るなど、子どもに対する虐待の早期発見やその後の見守りに努めている。		
7 地域との連携・交流	① 地域行事への参加など、子どもの施設外における活動の範囲を広げるための取り組みを行っている。		
	② ボランティア・実習生の受け入れにあたり、担当者を配置するとともに、ボランティア・実習生に対して必要な事前説明をしている。		
	③ それぞれの関係諸機関・団体とのかかわり方を明確にし、それぞれに応じた連携を図るための定期的・具体的な取り組みを行っている。		

Ⅲ. サービスの内容

■それぞれの「評価の視点」において、「自己評価」の欄に以下の4段階での記入をお願いします。

自己評価の定義	
4：優れた取組ができている	3：おおむねできている
2：あまりできていない	1：まったくできていない

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
1 基本原則	① 子どもの人格や意思を尊重し、主体的に活動できるよう援助している。		
	② 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、心身の状態に応じた支援方法を検討し、支援している。		
	③ 業務の実施状況に関する日誌(出欠記録や業務日誌等)等、サービスの記録を行っている。		
2 コミュニケーション	① 子どもの自己決定や意見の表明を促し、それを受け止めるように心がけている。		
	② 子どもの人格、価値観等を尊重したマナー、言葉づかいを心がけている。		
3 相談等の援助	① 子どもが相談したい時にはその方法や相手を選択して相談することができるなど、対応する方法が定められている。		
	② 日頃から子どもの行動特性や生活リズム、興味・嗜好、対人関係、服薬の状況などを観察・記録し、その結果を職員が共有し、支援に生かしている。		
4 健康管理	① 保護者との連携のもと、服薬管理が適切に行われている。		
	② 子どものケガや急病が発生した場合は速やかに対処し、保護者にも報告している。		
	③ アレルギー疾患のある子どもに対する食品への配慮や、アナフィラキシーショック発症時の対処法について、全職員が情報を共有し適切に対応している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
5 自傷他害への対応	① 自傷、他害、物損などの危険な行為に対して、子どもの心身を傷つけずに対応するための具体的な方法が定められている。		
	② 必要に応じて専門家の協力を得て、支援方法について工夫を行っている。		
6 活動	① 自然との触れ合いや社会体験など、多様な活動が用意されており、子どもが選んで参加することができるようになっている。		
	② 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。		
	③ 宿題や自習などの学習活動を自主的に行える環境を整えている。		
	④ 遊びや生活を通して、豊かな人間関係が育つような配慮を行っている。		
	⑤ 子どもが性差や国籍、障がいの有無、考え方の違いなどにとらわれず、互いに認め合い、尊重し合えるよう支援している。		
	⑥ 障がいのある子どもが遊びや活動に参加しやすいように支援している。		

評価項目	評価の視点(判断基準)	自己評価	工夫している点や課題があればご記入ください
7 おやつ の 提供	① 味、温度、盛り付け等の配慮、季節感を取り入れた献立など、質の高いおやつを提供している。		
	② 子どもの嗜好や成長に基づき、栄養面や活力面から必要とされるおやつを出している。		
	③ 行事や季節を織り込み、子どもがおやつの時間を楽しく過ごせるように工夫している。		
8 施設 環境	① 子どもが落ち着いて快適に過ごせるように、音や光、室温、換気、くつろげる場所の整備等に配慮している。		
	② 部屋やトイレ、手洗い場などについて、清掃・整理された状態を維持している。		
	③ 子どもが安全に活動できるように、設備・備品に配慮している。		
9 来所・ 帰宅	① 子どもひとりでの来所や帰宅にあたって、安全面での指導を行っている。		

総合評価と事業プロフィール

必ずご記入ください。空欄の場合には、再提出をお願いすることがあります。

評価項目(大項目)	事業者の強み、 アピールしたい取り組み (事業者のサービスとして「良いと思うこと」、「これ からも続けていきたいこと」など、具体的な取組 みの事実をあげながら記入してください。)	サービス改善に向けた取り組み、 今後の展望 (サービスを提供するにあたって「改善が必要だ」 と思うことを記入してください。また、改善に向けた 具体的な取り組みがあれば書き添えてください。)
I 組織と運営 P2～P4 の設問を参考にして 回答してください。		
II サービス提供のプロセス P5～P6 の設問を参考にして 回答してください。		
III サービスの内容 P7～P9 の設問を参考にして 回答してください。		

評価シート作成日	平成 年 月 日
評価シートの作成方法 (いずれか1つ○印をつけて ください。「3. その他」に○印を つけた事業者は具体的な方 法もご記入ください。)	1. 幹部職員および一般職員による評価チームをつくり、自己評価を行った 2. 通常の職員会議等の場を活用し、自己評価を行った 3. その他(具体的に:)

児童育成クラブの名称			
事業者の名称			
事業者の所在地			
事業者の連絡先		電話	FAX
		E-mail	
貴法人が当該クラブの運営を開始した日		昭和／平成 年 月 日	
開設場所(○印を付けてください)		小学校校舎内・小学校敷地内・小学校敷地外・その他()	
定員／現在の利用者数 (平成 28 年 12 月末現在)		定員 人、利用者数 人	
職員数 (平成 29 年 12 月末現在)	常勤	職員数	人 (うち、男性 人、女性 人)
		有資格者数	保育士…()人 幼稚園教諭…()人、 幼稚園以外の教諭…()人 その他()…()人 その他()…()人
	非常勤	職員数	人 (うち、男性 人、女性 人)
		有資格者数	保育士…()人 幼稚園教諭…()人、 幼稚園以外の教諭…()人 その他()…()人 その他()…()人
※常勤: 週5日勤務、 かつ、30 時間以上			
※非常勤: 常勤職員以外			
サービスの提供にあたって大切にしていること			

利用者調査票の配付数	
------------	--

○利用者調査票は、原則として全員に配付してください。

事業者調査票の記入者	氏名:
------------	-----

○記入内容等について、お問合せをさせていただくことがあります。

浦安市児童育成クラブ利用者調査 ご協力をお願い

日頃より、浦安市の児童健全育成に対するご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

浦安市では、児童育成クラブの質の向上を目的に、利用者の皆様への調査を行い、その結果を運営事業者と共有し、今後のサービスの向上を図っています。

つきましては、児童育成クラブをご利用のお子さまと保護者の方を対象に、アンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。お答えいただいた内容は統計的に処理し、お名前が表に出たり、ご迷惑をおかけすることは決してございません。また、今回の調査結果は、市役所等の公共施設や市のホームページ上でも公開いたします。何卒趣旨をご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 1 月

浦安市こども部 青少年課 児童育成係
連絡先：047-712-6453（直通）

＜ご記入にあたってのお願い＞

①回答は、選択肢に○印をつけるものや、自由に記述するものがあります。質問に沿ってご回答ください。

②黒色または青色の鉛筆、ボールペンなどでご記入ください。

③Q1～Q24は保護者の方がご回答ください。

Q25～Q29はお子様にご回答いただくものです。保護者の方には必要に応じてその手助けをお願いします。

④記入済みの調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

平成30年1月26日（金）までに投函してください。切手は不要です。

お子さんが利用しているサービスについておたずねします。

次の質問について、あなたの気持ちに近いものを1つ選び、番号に○をつけてください。

<利用しているクラブの組織と運営について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 1	クラブの理念や方針について、保護者に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 2	支援員は、育成支援に関する専門的知識や技術を有していると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 3	出席確認や不審者対応など、来所時や帰宅時の安全確保に向けた取組みがなされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 4	クラブ内の部屋について清掃・整頓が行き届いていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 5	支援員は、お子さんや保護者の個人情報の保護・取扱いに注意を払っていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 6	学校との連携や情報交換が適切に行われていると思いますか。	⇒ 1	2	3

<サービス提供の手順について>

質 問		はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 7	支援員からクラブに関する内容等について、事前に十分な説明や情報提供がありましたか。	⇒ 1	2	3
Q 8	あなたは、支援員同士の情報共有が十分になされていると思いますか。	⇒ 1	2	3
Q 9	連絡帳やおたよりを通じて、お子さんのクラブでの様子が伝わってきますか。	⇒ 1	2	3
Q 10	お子さんのクラブでの様子など、気になっていることを支援員に相談しやすいですか。	⇒ 1	2	3
Q 11	クラブに関する意見や要望に対して、クラブ側が誠実に対応していると感じますか。	⇒ 1	2	3

<子どもの発達援助について>

質 問			はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 12	支援員は、おやつを楽しく食べられるように、さまざまな工夫をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 13	支援員は、遊びや生活を通して自主性や人間関係が育つような配慮をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 14	支援員は、お子さんが宿題や自習等の学習活動を自主的に行える環境を整えていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 15	支援員は、お子さんの成長にあわせて、基本的な生活習慣が身につくよう、配慮をしていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 16	季節の行事など、お子さんが楽しく過ごせるような工夫が計画的に行われていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 17	クラブにおける発熱など体調変化があった場合や、事故やケガが発生した場合に、処置や保護者への連絡が、適切に行われていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 18	支援員は、子どもの人権を尊重し、個人差に配慮しながら、お子さんと接していると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 19	特別な支援が必要なお子さんが、他のお子さんと交流しやすいよう配慮されていると思いますか。	⇒	1	2	3

<放課後異年齢児交流促進事業について>

浦安市では、子どもたちの安全安心な活動場所を確保し自主的な「遊び」を通じた様々な体験・交流活動の機会を提供する「放課後異年齢児交流促進事業」を市内の全小学校で実施しています。

この事業は、学校施設等を活用してお子さんが自主的に活動する居場所を提供するもので、お子さんをお預かりするものではなく、自由に参加して自由に帰宅することとなります。

この事業についてお伺いします。

質 問			はい	どちらとも いえない	いいえ
Q 20	この事業を知っていますか。	⇒	1	2	3
Q 21	この事業を利用したことがありますか。	⇒	1	2	3
Q 22	この事業と児童育成クラブとの交流は十分に図られていると思いますか。	⇒	1	2	3
Q 23	今後この事業を利用したいと思いますか。	⇒	1	2	3

質 問		複数回答			
Q 24	Q23. で「どちらともいえない」「いいえ」とお答えした方にお聞きします。 この事業を利用する上で支障となることは何ですか。 (複数回答可) ① 「生活の場」ではなく、遊びを中心とした居場所であること。 ② 児童の出席・退所管理は行わず、自由に出入りできること。 ③ 開所時間が午後5時までであること。 ④ 学校からいったん帰宅してから利用すること ※一部例外あり。 ⑤ 土曜日や夏休みなどの長期休業期間中のお昼時間(12時から13時)が利用できないこと。 ※一部例外あり ⑥ その他 ()	⇒	1	2	3
			4	5	6

「放課後異年齢児交流促進事業」についてご意見があればご自由にお書きください。

ここからは、お子さんにご回答をお願いします。あてはまるものに○をつけてください。

質 問		1	2	3
Q 22	じどういくせいクラブのおやつはおいしいですか。	⇒ おいしい	どちらとも いえない	おいしく ない
Q 23	じどういくせいクラブのへややトイレはきもちよくつかうことができますか。	⇒ きもちよく つかえる	どちらとも いえない	きもちよく つかえない
Q 24	じどういくせいクラブはたのしいですか。	⇒ たのしい	どちらとも いえない	たのしく ない
Q 25	じどういくせいクラブで、こまったことやいやなことがあったとき、クラブの先生は、どうしたらよいか、いっしょにかんがえてくれましたか。	⇒ かんがえて くれた	どちらとも いえない	かんがえて くれなかった
Q 26	じどういくせいクラブの先生は、あなたのきもちをよくわかってくれますか。	⇒ わかって くれる	どちらとも いえない	わかって くれない

じどういくせいクラブについてかんじていることを、なんでもかいてください。

ご協力ありがとうございました。

平成 29 年度 浦安市児童育成クラブに係る評価事業 報告書

平成 30 年 3 月

浦安市こども部青少年課

〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目 1 番 1 号

電話 047-712-6453 (直通)